

ユウカと学ぼう日商簿記2級



—ストーリー形式だから理解がすすむ—
—弥生カレッジCMCのWEB講座テキスト—

本質は学びません！本質は学んだ先に
ある！そして本質は実務の先にある！



このテキストは**下町ロケット**のあらすじをサバなどで
確認したうえで読むと理解が深まります



弥生カレッジCMC出版

著者 横山 隆志・松坂優花

～あらすじ～

パソコンの魅力に魅せられ、若くして起業した頑張り娘の守里リカ

顧問の税理士事務所の若手スタッフ松坂ユウカとの出会いが、彼女の人生を劇的に変えます。この出会いがこの物語のすべての始まりです。



リカ



税理士事務所勤務
ユウカ



秋山税理士

松坂ユウカは、苦勞の末日商簿記1級を取得し税理士事務所に入りました。でも2年間も学んだ日商簿記1級の知識が仕事にはほとんど役に立たず悩んでいました。でも顧問先の社長や奥さん、従業員などとの触れ合いの中で、顧問先の役に立つには「簿記だけではダメ」「仕事に関係する様々な勉強をしないといけない」ということを学びました。現在は、税法1級の資格を取得し、財務分析の力をつけるためにビジネス会計検定2級にチャレンジ中です。将来は税理士になるべく、簿記論・財務諸表論も学習中です。

経営者として成長し続けるリカ！それを支える
人々！

この本は、簿記の学習を簿記の学習で終わらせないた
めに、あえて壮大なストーリーに臨みます。皆さんも、
簿記の学習を実学に結び付けて下さい！

本書でのワンポイント解説動画が確認できます
<http://www.kaikei-soft.net/sakura/support.html>

目次

P.1	株式会社の設立・増資
P.11	財務諸表を正しく理解しよう
P.26	配当と積立金
P.36	銀行勘定調整表
P.51	商品売買
P.73	手形と電子記録債権・債務
P.84	有形固定資産 1
P.104	有形固定資産 2
P.126	リース会計
P.139	研究開発費と無形固定資産
P.149	有価証券 1
P.162	有価証券 2
P.180	引当金
P.195	サービス業の処理
P.203	外貨建て取引
P.214	税金
P.230	税効果会計
P.245	決算・帳簿のべ切
P.265	株主資本等変動計算書・製造業会計
P.282	本支店会計
P.307	合併

CHAPTER01 株式会社の設立・増資



(1)株式会社の設立

守里リカは個人事業主としてパソコンの販売を行っていた。仕事は順調でスタッフも増えてきたので取引先のすすめで株式会社ドリームコンピュータを設立することにした。友人の秋山美奈子税理士に相談したところ、結構複雑な手続きであることがわかった。手続きは司法書士の坂瀬太郎に任せる事にした。

坂瀬「法人にするには、まず登記をしないとイケません。公証人役場で定款を認証してもらい、そのあと……」

リカ「先生・・・急にまくしたてられても、難しすぎてわかりません。とにかく資本金 1,000,000 円で会社をつくりたいんです」

坂瀬「すみませんでした。では手続きは私の方で実施しておきます。出資してくれる人に株式を渡さなければならぬので株券を印刷しておいて下さい」

リカ「わかりました」

<参考>

実際には個人事業主が会社を設立するときに出資してくれる人があるケースは少ないので代表者自身が出資するケースが多いです。簿記の学習では出資者がいる前提の方が説明しやすいので、上記のような設定にしています。

そして数日後、無事会社の登記も済み、資本金として銀行に保管されていたお金を、株式会社（法人）の預金として振り替えました。

リカ「秋山先生、弥生会計に入力しないといけないんですよね」

秋山「そうですね弥生会計にはこの仕訳を入力しておいて下さい」

リカ「はい」

リカはいつも優しい秋山税理士が大好きだった。将来はこんな女性になりたいといつも憧れていた。



<仕訳>

普通預金 1,000,000 / 資本金 1,000,000

秋山「リカさん、会社法って知ってる？」

リカ「聞いたことはあります」

秋山「会社法では、出資額のうち半分までは資本金にしないこともできるのよ」

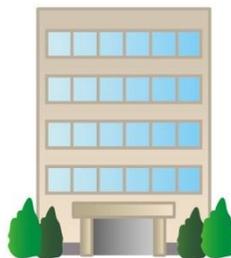
リカ「え？」

秋山「1,000,000 円のうち資本金を 500,000 円に押さえて、残りを資本準備金という科目で処理することができるの。その場合の仕訳はこんな感じね。」

<仕訳>

普通預金 1,000,000 / 資本金 500,000

資本準備金 500,000



<リカの素朴な疑問>

なんで資本金をわざわざ少なく設定するんだろう。

<秋山先生の回答>

簡単に言うと資本金の金額で税金が安くなったり、国から補助金を受けることができるからですね。例えば資本金 1 億円以下の中小企業者等（法人税法での呼び方）の場合は 300,000 円未満のパソコンなどを購入したときに経費で処理する（税法では損金と呼びます）ことができるから税金が安くなるの。

<参考：原則処理と容認処理>

簿記では容認処理という言葉がよく出てきます。イメージとしては例外処理と考えれば良いでしょう。出資額が 1,000,000 円のケースでは次のようになります。

・原則処理

普通預金 1,000,000 / 資本金 1,000,000

・容認処理

普通預金 1,000,000 / 資本金 500,000

資本準備金 500,000

普通預金 1,000,000 / 資本金 800,000

資本準備金 200,000

試験での問われ方

<株式会社の設立>

CMC株式会社の設立にあたり、発行可能株式総数10,000株のうち3,000株を1株当たり¥2,800の価額で発行し、その全額の引受けと払込金は当座貯金とした。なお、払込金の7割の金額を資本金とする。また発起人は諸費用30,000円を支払っていたので、現金で精算した。

当座預金	8,400,000	資本金	5,8800,000
		資本準備金	2,520,000
創立費	30,000	現金	30,000

気をつけよう→試験では容認処理が出題されることが多いので、「会社法の最低額を資本金とした」という指示がないときにも容認処理で答える人が多いです。指示がないときは原則処理を行うこととなります。問題はしっかりと読んでください。



発行可能株式総数：定款に記載した数
実際発行数：最低 1/4 である必要がある

(2 株式の発行費用

リカ「秋山先生、証券会社から株式発行手数料が 10,000 円引き落とされているんですが、どの科目で処理すればいいですか？」

秋山「ごめん、ごめん話していなかったわね。株式交付費という科目があるんだけど、会社の設立時には創立費という科目で処理をするのよ。株式交付費は増資の時に説明するわね」

リカ「わかりました。では弥生会計に次のように入力しておきます」

<仕訳>

創立費 10,000 / 普通預金 10,000



(3)増資の処理

リカ「先生、会社つくったばかりだけど、将来はもっと大きくしたい。でも自分1人の力では無理だから、誰かスポンサーになってくれないかな？」

秋山「リカさん、あきらめなければ夢はかなうのよ。私の主人が大好きな高橋尚子選手が金メダルをとったときの言葉よ。」

リカ「わかりました。あきらめずに夢を追いかけます」

秋山「ところで今の話だけど、会計や法律の世界ではスポンサーのことを出資者（株主）というのよ。そして今より規模を大きくするために増資という手続きをとることがあるの。でも手続きは設立のときとほとんど同じだから心配しないでね。今回お世話になった石川証券の石田遼くんが挨拶に伺いたいといってたので、その時に詳しく聞けばいいわ」

そして数日後

石田遼「こんちは。秋山先生から聞きました。増資に興味があるようですね。」

リカ「でも、まだまだ先の話ですよ」

石田遼「いいですね。夢を持つって。でも増資の仕組み

を先にしておくことは経営者としては大事なことだと思います。簡単に説明しますね」

石田さんの説明を要約すると・・・

- ①1株 1,000 円で 100 株を募集の広告をする
- ②120 株の申込が入った（120,000 円の証拠金＝新株式
申込証拠金）
- ③とりあえず引き出し禁止の預金にしておく（別段預金）
- ④抽選で当たった人に株券を、外れた人には返金をする
- ⑤引出禁止の預金が使えるようになった
- ⑥証券会社に手数料を 1,000 円支払った

これを仕訳にしてみましょう



①広告だけなので、仕訳はありません

(ここでは広告費は考えないことにします)

②③別段預金 120,000 / 新株式申込証拠金 120,000

④⑤

当たった人

普通預金 100,000 / 別段預金 100,000

新株式申込証拠金 100,000 / 資本金 100,000

外れた人

新株式申込証拠金 20,000 / 別段預金 20,000

⑥株式交付費 1,000 / 現金 1,000



試験での問われ方

<新株発行の処理>

株式の発行にさいして、払込期日までに振り込まれ、別段預金に預け入れられていた申込証拠金を払込期日に資本金に振替え、同時に別段預金を当座貯金に預け入れた。なお、発行する新株は1,500株で、払込金額(1株¥60,000)の全額が振り込まれていた。資本金には会社法で認められる最低限を組み入れる。

株式申込証拠金	90,000,000	資本金	45,000,000
		資本準備金	45,000,000
当座預金	90,000,000	別段預金	90,000,000

<参考>

単なる申込人から株主になるのはいつ？

→払込期日

問題文で払込期日を迎えたとあれば、その日が振り替える日です

CHAPTER02 財務諸表を正しく理解しよう

とある日の午後、秋山先生がモリタロウの担当者を決めてくれた。彼女の名前は松坂ユウカ。リカは、「なんて可愛い人、なんて可愛い名前」と思った。

ユウカ「はじめまして、松坂ユウカです。よろしくお願いいたします」



リカ「あっ、はじめまして」

秋山「彼女は日商簿記1級を取得して、全経税法の1級をすべて取得した努力家なの。弥生会計や弥生給与も使えるので、きっとドリームコンピュータの役に立つと思うわ」

リカ「へえー、日商簿記1級って難しいんでしょう。それと税法1級なんてすごいですね。あこがれます」

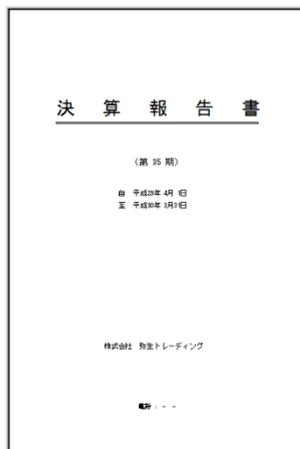
ユウカ「いえ、日商簿記1級は4回目でやっと合格したんです。でも実務と資格は全然違うので、毎日が勉強勉強です」

秋山「リカさん、経営者はしっかり売上げをあげることが大事。マーケティング戦略を練ることはもっとも大事だと思います。でもそれは攻めの部分ね。将来組織が大き

くなると守りの部分も必要になります。守りのためには財務諸表をみる能力も必要になるのよ。今日は、今ビジネス会計検定受験に向けて財務諸表の読み方を勉強しているユウカさんから財務諸表の見方を学んでね」
リカ「はい！」

ユウカ「リカさん、私はある講師から決算報告書の報告という文字の大事さを聞いたことがあります。本屋にいくと“決算書の見方”などの本がたくさん出ています。でもその講師は、決算書は誰かに報告するもの、その視点を常にもっておくことが大事とっていました。今色々な会社の決算報告書を見てその意味が本当の意味でわかってきたと思います。でも、とりあえず決算報告書のメインである財務諸表の学習からはじめましょう」
リカ「はい」

弥生会計で出力した
決算報告書の表紙



(1)財務会計と管理会計

ユウカの話を要約しよう

①会計とは

ひとくちに会計といっても色々な意味があります。

広辞苑によると

イ.企業の財政状態と経営成績を取引記録に基づいて

明らかにし、その結果を報告する一連の手続き

ロ.飲食店などで代金を勘定して支払うこと

とあります

簿記の学習をするうえでは、イ.の財政状態と経営成績が重要なのですが、実はロ.のイメージも大事です。

例えば回転寿司をイメージして頂くと、席に着いた時間が期首、精算が終わるまでが期末と考えると、その間の皿の枚数を数えるのが経理の仕事というイメージになります。我々が学習する会計は、財務会計と管理会計があります。その違いは何でしょうか？



②財務会計

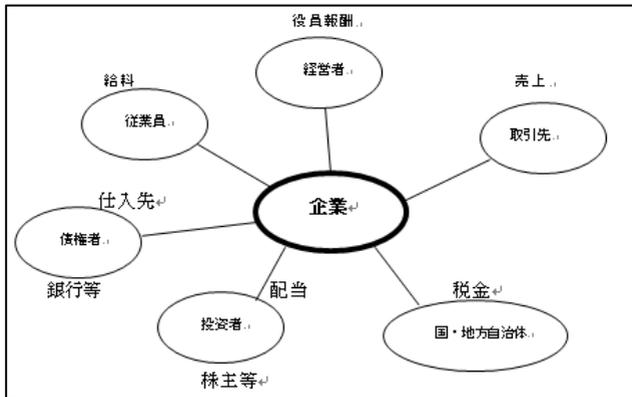
主に外部の利害関係者に財務情報を報告するための会計

★投資家（株主など）に「こんなに儲かっているからうちの会社の株主になって下さい」

★債権者（銀行など）に「儲かっているけれどお金が足りないのでお金を貸して下さい」

などのように外部の利害関係者（投資家や債権者など）に報告するのがメインの会計といえます。

このうち、法制度に基づいて財務諸表を作成するための会計を制度会計といいます。簿記で学ぶ範囲は制度会計になります。



③管理会計

主に内部管理者が意思決定を行うことに役立つ会計
経営者や部門長に、経営計画や意思決定（新規受注を受けるか否か？新規投資をするか否か）を行うための会計
情報を提供するための会計です。法制度には基づいてい
ませんが、原価計算基準というものがあります。

管理会計（標準原価計算・直接原価計算）の内容は工業
簿記で学びます。



④損益計算書を理解しよう

損益計算書

- I 売上高** …説明は不要ですね
- II 売上原価**
〈売上総利益〉 …取扱商品の収益力を示す。粗利益とも呼ばれる
- III 販売費及び一般管理費** …給料や減価償却費などです
〈営業利益〉…営業活動の成果である本業の収益力を示す
- IV 営業外収益** …受取利息等
- V 営業外費用** …支払利息等
〈経常利益〉 …利息等の財務損益もあわせた、日常的経営活動の成果を示す
- VI 特別利益** …固定資産売却益など
- VII 特別損失** …固定資産売却損など
〈税引前当期純利益〉 …法人税等の計算の元になる利益を示す
法人税、住民税および事業税
〈当期純利益〉 …配当原資の最終利益を示す

企業会計原則には、「損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、一会計期間に属するすべての収益と

これに対応するすべての費用を記載して経常利益を表示し、これに特別損益に属する項目を加減して当期純利益を表示しなければならない」とあります。

簡単にいうと、「いくらもうかっていますか？」を知るための書類ということになります。

損益計算書の理解のためには各種の利益をしっかりと押さえておく必要があります。営業利益とは何か？営業外とは？特別とは？

このあたりを意識すると、損益計算書の理解が深まります。



売上原価に関して補足しておきましょう。商業と製造業（メーカー）では商品勘定を使用するのか、製品勘定を使用するのかという違いがあります。また、計算過程が少し違いますので示しておきましょう。

< 商業 >

期首商品棚卸高	1,000
当期商品仕入高	15,000
合計	16,000
期末商品棚卸高	2,000
売上原価	14,000

< 製造業 >

期首製品棚卸高	1,000
当期製品製造原価	15,000
合計	16,000
期末製品棚卸高	2,000
売上原価	14,000

例えば、電卓を販売している会社を例にしましょう。電卓を製造している会社は製造業に該当しますので「製品」という科目を、電卓をメーカーから仕入れている会社では「商品」という勘定科目を使用します。



決算が3月末の会社を例にしてみましよう。上記の例では、4月1日に倉庫に1,000円分の電卓の在庫があり、当期に倉庫に15,000円分の電卓が入荷されました。全部売れていた場合は16,000円が売上原価（売上の元になった金額）になりますが、残念ながら2,000円分の在庫が残っていました。という事は売上原価は14,000円だったという訳ですね。

製造業の損益計算は工業簿記で詳しく学びます。

⑤貸借対照表を理解しよう

資産の部 流動資産 固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産 繰延資産	負債の部 流動負債 固定負債 純資産の部 株主資本 資本金 資本剰余金 利益剰余金 評価換算差額 新株予約権等
--	--

こちらも企業会計原則を確認してみましょう。

「貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、貸借対照表日におけるすべての資産、負債および資本を記載し、株主、債権者その他の利害関係者にこれを正しく表示するものでなければならない。(後略)」

簡単に言うと、「現金はいくらありますか？借金はいく

らありますか？」をあらわすための書類ということになります。

リカ：「松坂さん」

ユウカ：「ユウカでいいですよ」

リカ：「では遠慮なく・・・ユウカさん、流動・固定って何ですか？」

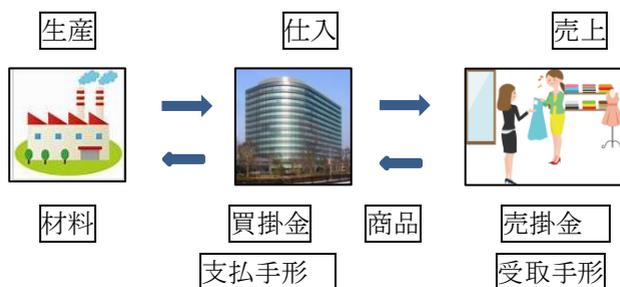
ユウカ：「私も最初は疑問でした。簡単に言うと、1年以内に現金化できるものと、現金化できる期間が1年超の勘定科目に分ける基準とってください。じゃあ、少し詳しく説明しましょう」



<流動項目と固定項目の区分>

正常営業循環基準と1年基準

★正常循環基準（正常な営業とは？）



この流れの中で使用する貸借対照表科目は流動区分とされます。買掛金・支払手形・材料・商品・製品・売掛金・受取手形などですね

★1年基準

正常営業循環でないものは、1年基準です。「貸借対照表日の翌日から起算して1年以内」に回収期限や支払期限のあるものは流動項目、超えるものは固定項目になります。短期借入金と長期借入金のような分け方になります。

⑥株主資本等変動計算書とキャッシュフロー計算書

リカ：「よくわかりました。ユウカさん、すごい！」

ユウカ：「日商簿記3級を学んだ方ならビジネス会計検定3級の学習をするといいですよ。ビジネス会計検定の学習をすると違った角度から損益計算書や貸借対照表をみれるので、簿記がより分かりやすくなります」

リカ：「へえー。一度ホームページで調べてみよう」

リカ：「ところで株主資本・・・キャッシュフローは聞いたことあるけれど難しそう」

ユウカ：「株主資本等変動計算書は貸借対照表の純資産の明細書みたいなものね。これは次回の配当と積立金のところで詳しく説明します。あとキャッシュフロー計算

書は日商簿記1級や全経簿記上級の範囲なので今は気にしなくていいですよ」

リカ：「いろいろな資格があるんだ。全経簿記というものもあるんですね」

ユウカ：「全経簿記は日商簿記と同じくらいの歴史のある団体で、この本の出版社が押している資格ね。日商簿記2級を学習すれば、2週間ほどの追加学習で合格圏内になります。全経簿記上級は日商簿記1級と同程度の評価があるけれど、日商簿記1級の合格率10%程度に対して、20%前後の合格率があります。しっかり学習した人を通そうという意識が全経のポリシーのようですね。ちなみに全経簿記1級のテキストが販売されているけれど特に購入の必要はありません。2級を学んだあとに過去問を繰り返せば充分合格できます。というか、日商2級と全経1級の並行学習が一番のおすすめね。より理解が深まって相乗効果があります。詳しくは弥生カレッジCMCのホームページを見るといいですよ」

リカ：「はい。見てみます」

全経簿記とは

全経簿記（検定）とは、公益社団法人全国経理教育協会(以下、全経) が文部科学省から後援を得て実施している簿記能力検定試験のことです。

日商簿記試験ほど有名ではありませんが、高校生や専門学校生、また大学・短大生のような学生・生徒の能力検定として利用されるばかりでなく、今では就職を目指す人から、幅広い知識を身に着けるためのスキルアップを目的とした人まで、自らの能力の証として広く利用されています。

努力が成果につながる 日商簿記に比べて **攻略しやすい!!**
全経簿記をCMCは応援します!

CHAPTER03 配当と積立金

ユウカ：「もしもし、今月の定期監査ですが、いつにしましょう？」

リカ：「そうね。今週の金曜日あたりでどうですか？その日なら夕方以降もあいているので一緒に食事でもいきませんか？」

ユウカ：「本当！私一度リカさんとゆっくり話したかったの」

リカ：「じゃあ決まりね、何が食べたい。もちろん経営者の私におごらせてね。最近調子いいの」

ユウカ：「では、遠慮なく。リカさん、京橋に新しいお好み焼き屋ができたの。そこでもいい？」

リカ：「私も粉もん大好き！」

そして金曜日の夜



リカ：「おいしい」

マスター：「ユウカさん、いらっしやい。こちらの方は？」

ユウカ：「あっ、マスター・・・久しぶりです。こちらはリカさん、顧問先の社長です」



マスター：「えっ、社長。こんなに若くてかわいい子が」

リカ：「はじめまして。ユウカさん、知り合いだったのね。すごい、お好み焼き屋の顧問先もあるのね」

ユウカ：「違うのよ。私昔ここでバイトしていたの。でも、今は無料で決算を手伝ってるの。」

マスター：「無料！！違うだろ！いつもお好み焼きを無料にしているだろう」

ユウカ：「そうだった。ところで話はかわるけれど今のリカさんは営業が中心で経理のことは私任せになっているでしょ」

リカ：「そう！まずは売上！」

ユウカ：「でも売上って多すぎても少なすぎても色々な問題があるの。だから今日は経営者の大先輩のマスターに色々経験談を話してもらおうと思っているの」

リカ：「本当、マスター！お願いします」

マスター：「OK！今日は少し暇だから・・・私の経験でよければ話をしよう」

マスターの経験談を要約しよう

①利益が多すぎると、税金をたくさん払わなければならない

②でも少なすぎると銀行などの信用力が落ちる。

③出資者が増えてくると、利益から配当をはらう必要がある

④企業にお金を出してくれるのは、債権者（銀行）と投資家（株主）。配当を払いすぎると、債権者がおこるだから準備金というのを積み立てておく必要がある。

（資本金の1/4までは配当の1/10を積み立てる）

だいたいこんな感じですね。では、類題でじっくり確認しましょう。・・・とその前に、貸借対照表の純資産の項目を確認しましょう。

資産の部 流動資産 固定資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他の資産 繰延資産	負債の部 流動負債 固定負債
	純資産の部 株主資本 資本金 資本剰余金 利益剰余金 評価換算差額 新株予約権等

前回の講座で??と思われたかもしれませんね。
繰延資産は日商 1 級の範囲なので、とりあえずいいで
しょう。

問題は純資産です。

この中で 2 級の範囲は株主資本と評価換算差額です。

今回は株主資本を説明します。



①株主資本

株主資本は株主に帰属する持ち分です。

難しいですね。

簡単にいうと、株主が出資した金額と、会社が儲けた金額（利益）のことです。

平成 30 年 11 月の執筆時点の日商簿記 3 級では株式会社（法人）は範囲外です。平成 31 年度（元号改正前）から日商簿記 3 級も法人会計が対象になります。その場合は復習も兼ねて読んでください。

<株主資本の部>

資本金

資本剰余金

資本準備金

その他資本剰余金

利益剰余金

利益準備金

その他利益剰余金

リカ：「うわー、難しそうですね。」

ユウカ：「本当・・・私も税理士試験の勉強で苦戦しているわ」

リカ：「えっ、ユウカさんでも苦労するんですか」

ユウカ：「でも、私の受験仲間も株主資本は難しいと言ってるから安心してね。特に日商簿記2級では、仕訳の考え方が理解できれば大丈夫よ。じゃあ簡単に説明するね」



ユウカの説明を要約しよう

- ①株主資本は、人からもらったもの（資本金・資本剰余金）と自分で稼いだもの（利益剰余金）に大きくわかれる。
- ②人からもらったものは「払込資本」と呼ばれ、債権者のために **KEEP** しておく必要がある
- ③自分で稼いだものは「留保利益」と呼ばれ、株主に配当したり、新規の投資のために積み立てたりできる。
- ④でも平成18年の会社法改正で、その他資本剰余金からも配当出来る様になった・・・とのこと。これは、どうも外圧に屈したとの噂も・・・外人投資家の「配当もっとヨコセ」・・・

簿記 2 級的に話をしよう。

3 月決算の会社で考えてみましょう。

①1 年のもうけを損益勘定から繰越利益剰余金勘定に振り替える

H30.3/31 損益 100,000 / 繰越利益剰余金 100,000

②株主総会で 20,000 円の配当が決まる（異議なし）

H30.5.25 繰越利益剰余金 20,000 / 未払配当金 20,000

こんな感じです。

では、過去間をみてみましょう。

試験での問われ方（株主資本等計算書より）

1、平成 29 年 6 月 26 日定時株主総会を開催し、剰余金の配当および処分を次のように決定した。

①株主の配当金について、その他資本剰余金を財源として ¥700,000、繰越利益剰余金を財源として ¥1,800,000、合計 2,500,000 の配当を行う。

②上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金（資本準備金および利益準備金）として積み立てる。

③繰越利益剰余金を処分し、別途積立金 ¥170,000 を積み立てる。

株主総会での残高は以下のとおり

資本金 10,000,000 円

資本準備金 1,800,000 円

利益準備金 500,000 円

（解答は P **）

資(4)本金の 1/4 2,500,000 円



資本準備金・利益準備金
2,300,000

<準備金>の貯金箱

あと、200,000 円で満杯

配当 (10) 金の 1/10 250,000 円

でも、200,000 円しか入らない

∴準備金は各 80%ずつ

純資産のなぞ！

① 繰越利益剰余金から任意積立金になぜ振替える？

→株主がうるさいから（配当よこせ）

∴使えない理由をつける

② 内部留保はケシカランという政治家のトークは

正しいのか？

内部留保といっても、本当に現金で残っているのか

→現金 3,000,000／資本金 3,000,000

車両 2,000,000／現金 2,000,000

売掛金 1,000,000／売上 1,000,000

給料 200,000／現金 200,000

減価償却費 400,000／車両 400,000

BSを作成してみよう

内部留保って使えるお金ですか？

稲盛和夫氏の「実学」は面白い

CHAPTER04 銀行勘定調整表

パソコン販売事業は順調でした。ある日、懇意にしている佃煮製作所（佃煮を作っている会社ではありません。下町でモーターを製作している佃煮さんの会社です）から、「明日PC 2台買うので小切手でもいい？」と聞かれました。

リカ：「小切手？（切手の小型版かしら）」

佃煮：「3日後には現金化できるよ」

リカ：「はいはい、わかりました。（あとでユウカさんに聞こう）」

リカ：「ユウカさん、阿部寛さんに似ている佃煮さんから小切手で商品を買いたいといってきたの。切手で買い物できるんですね」

ユウカ：「リカさん、小切手は切手じゃないの。現金のかわりに使うことができる便利なツールよ」

リカ：「商品券みたいなもの？」

ユウカ：「そうね。とりあえず商品券とっておけばいいわ。詳しくは明日話すわね」

そして翌日

ユウカ：「私の知り合いが社長をしている弥生カレッジから出ている弥生検定のテキストをコピーしてきたわ。ちゃんと著作権の確認済よ」

そこで見せてもらった資料を紹介しましょう。ユウカが少し手を加えています・・・

<弥生検定攻略テキスト&問題集より>

当座預金とは

銀行預金には色々な種類があります。皆さんは、どのような預金が思い浮かぶでしょうか。普通預金、定期預金、そして当座預金くらいでしょうか。

普通預金は、いつでも自由に引き出せる代わりに利息が安いですね。反対に、一定期間の引き出しができない等の制約があるかわりに利息が（チョットだけ）高いのが定期預金（または定期積金）。耳慣れない言葉ですが、通知預金（詳細はインターネット等でお調べ下さい）な

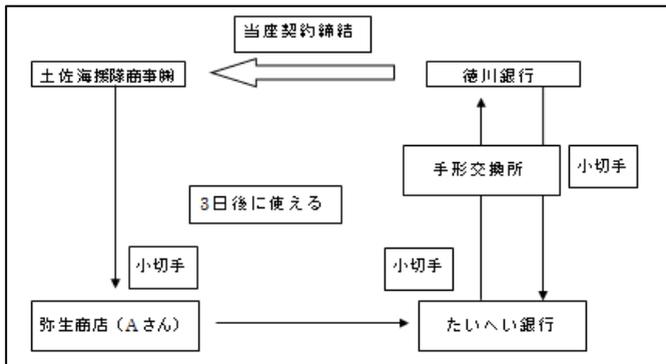


んでもものもあります。簿記の試験や経理実務で登場するのは当座預金です。当座預金は金利が一切つかない代わりに、小切手や手形を発行する事ができる預金のことをいいます。例えば、小切手を振り出した場合を想定してみましよう。

aa-00000		小 切 手		aa-00000	
20XX年3月12日		東京都神田区神田1丁目 株式会社 徳川銀行 二条支店			
金額	500,000円	金額		¥500,000*	
優先		記の金額をこの小切手と引替に持参人に お支払いくばさい 20XX年3月12日 振出地 東京都			
摘要					
残高	円				
		土佐海援隊商事株式会社		代表取締役 坂本竜馬	

次ページの図と合わせて確認してみましよう。

Aさんは、土佐海援隊商事株式会社から小切手を受け取りました。海援隊商事は現金のかわりに小切手で支払ってきたのです。Aさんは、会社に持ち帰り、経理担当者に渡します。経理担当者は自社の取引先である、松平銀行に持っていきます。そうすると銀行間で残高の照合等を行って、3日後には引き出すことが可能になります。小切手の裏に銀行印を押してもらえれば、即現金に換金は可能です。(海援隊の隊長から「Aさんの会社は苦しいのか?」と思われる可能性があります……)



銀行勘定調整表とは

上記のように小切手は、相手先が銀行に持っていきのが遅れたら、残高が減るのが遅くなります。ですから、振り出したら即記帳しておかないと、残高が沢山あると勘違いしてしまい、急に引き落とされて資金繰りに苦しむことがあります。そこで、当社は振り出したら引き落としとは関係なく記帳する必要があります。そうすると銀行の残高証明書と帳簿の残高がずれることがあります。そのズレの確認をするのが銀行勘定調整表です。

ズレの原因は他にもありますが、自社が正しい処理を行っている場合は、訂正を行う必要はありません。

では、ズレがおこるケース・・説明しましょう。当社の処理忘れなどが原因でズレがおこるのは下記の場合

だけです。その場合は当社の訂正仕訳が発生すると覚えておいてください（自分が間違っただけだから当然ですね）。

- ① 連絡未通知（入金や出金があったのに銀行から連絡がなかった）放っておくと永久にズレたままになるので仕訳と記帳が必要
- ② 未渡小切手（小切手を発行したのに、金庫に入れ忘れたままになっていた）
発行時に当座預金の減少仕訳をしているので、取り消しの仕訳と記帳が必要
- ③ 誤記入（間違ったら訂正するのは当たり前）

ちなみに、ズレの原因が銀行側の処理の遅れや間違いの場合は、当社では仕訳しません。当たり前ですね。銀行の間違いを直ちに銀行に忍び込んでコンピュータ操作したら捕まってしまいます。

銀行側の仕訳をするということは、銀行のカウンターを乗り越えて、銀行のPCを操作することですね。そんなことをしたら逮捕されてしまいます

これも代表的事例を記しておきます。



- ① 時間外預入(夜間金庫に入金して、当社は記帳済・・・銀行は未処理)
- ② 未取立小切手(当社がもらった小切手を銀行に持参し記帳したが、銀行が未処理)
- ③ 未取付小切手(当社が小切手を振り出し取引先に渡し記帳したが、取引先が銀行に未呈示のため、銀行が未処理)



では、練習問題を解いてみましょう

★当社は、決算にあたり、取引銀行から取り寄せた期末日の当座預金照合表と、弥生会計で確認した当座預金の残高が合わないので、確認したところ次の原因が判明しました。経理担当者のあなたが行うべき仕訳を選択しなさい。

取引先に振り出した広告宣伝費 100,000 円の小切手を取引先が銀行に提示していなかった。

- ① 当座預金 100,000 / 広告宣伝費 100,000
- ② 当座預金 100,000 / 未払金 100,000
- ③ 広告宣伝費 100,000 / 当座預金 100,000
- ④ 仕訳なし

未取付小切手に該当します。未取付という言葉は覚えなくても大丈夫です。

当社は振り出して、さらに取引先にも渡している訳ですから、この段階で仕訳処理はすんでいると推定します。銀行側の経理担当者は未だ処理は済んでいませんが、これは銀行の経理担当が引き落とされたタイミングで記帳を行います。

★当社は、決算にあたり、取引銀行から取り寄せた期末日の当座預金照合表と弥生会計で確認した当座預金の残高が合わないので確認したところ、次の原因が判明しました。経理担当者のあなたが行うべき仕訳を選択しなさい。

取引先に振り出した広告宣伝費 100,000 円の小切手が、会社の金庫に残ったままになっていた。決算日の店舗の現金売上 50,000 円を夜間金庫に預けたが、銀行側では翌日の入金扱いになっていた。

- ① 当座預金 100,000 / 広告宣伝費 100,000
- ② 当座預金 100,000 / 未払金 100,000
- ③ 当座預金 100,000 / 未払金 100,000
当座預金 50,000 / 現金 50,000
- ④ 広告宣伝費 100,000 / 当座預金 100,000
- ⑤ 仕訳なし

これは複合問題です。落ち着いて1つずつ処理していけば大丈夫です。

まず、広告宣伝費の仕訳ですが、これは小切手を取引先に渡した段階で仕訳処理は済んでいると推定します。で

も、その小切手は未だ取引先に渡されていなかった（未渡）訳です。従って、取り消しの仕訳が必要です。簿記では、仕訳の取り消しは逆仕訳を行います。普通に考えると、[当座預金 100,000 / 広告宣伝費 100,000] です。

ただ、広告会社に対する債務が残っていることは事実です。当座預金の減少を取り消すのは当然ですが、広告サービスの提供を受けたという事実はかわらないので、広告宣伝費は取り消しできません。債務をあらわす未払金を使用するのが適切といえます。

次に夜間金庫の仕訳です。当社は当座預金に入金したのだから

[当座預金 50,000 / 現金 50,000]（または売上 50,000）という仕訳処理は済んでいると推定します。銀行側の経理担当者は未だ処理は済んでいませんが、これは銀行の経理担当が当座預金への入金を確認した段階で記帳を行います。したがって「仕訳なし」となります。

試験の表現には暗黙の了解があります。推定といっても、試験では処理済で確定と判断して下さい。



リカ：「よくわかったわ。ユウカさんありがとう」

ユウカ：「そうそう、リカさん、日商簿記2級を受けるそうね。2級の試験では、ズレの調整が一覧できる銀行勘定調整表が良く出題されるの。次のような問題ね。思ったよりも簡単よ。自分の会社の弥生会計の残高と銀行のホストコンピュータの残高を上を書いて、そこからズレの原因をプラスマイナスするだけよ。一度チャレンジしてみてね。」

リカ「了解！」

決算（3月31日）にあたり、現金の実際有り高を調べたところ、通貨（紙幣および硬貨）¥2,321,200のほか、手許に次のものがあることが判明した。

他人振出し小切手¥500,000

収入印紙¥370,000

配当金領収書¥14,000

郵便切手¥8,600

送金小切手¥80,000



また、取引銀行から当座預金の残高証明書を取り寄せたところ、その残高は¥538,200であり、大阪商店の当座預金勘定とは一致していなかった。不一致の原因を調査した結果、次の事実が明らかとなった。

①仕入先に対して買掛金の支払いとして小切手¥370,000を振り出して渡したが、決算日現在、仕入先は小切手を銀行に呈示していなかった。

②売掛金の回収として得意先振出しの小切手¥500,000を受け取り、その時点で当座預金の増加としていたが、決算日現在、金庫に入れたままで、銀行への預け入れを行っていなかった。

③電子債権記録機関より発生記録の通知を受けていた電子記録債権の支払期日が到来し、当座預金口座に¥340,000が振り込まれていたが、決算日現在、この記帳はまだ行っていなかった。

④決算日に売上代金¥230,000を銀行の夜間金庫（当座預金）に預け入れたが、銀行では営業時間を過ぎていたため、当日の入金としては処理していなかった。

リカ：「電子記録債権って何？」

ユウカ：「ごめん、ごめん、まだ習っていなかったね。とりあえず受取手形のデジタル版だと考えてね。勘定科目は電子記録債権でOKよ」

まずは、仕訳を考えてみよう。

① 未取付小切手です

仕訳なし

② 誤記入なので訂正仕訳をします

現金 500,000 当座預金 500,000

③ 未処理は処理しよう

当座預金 340,000 電子記録債権 340,000

④ 夜間金庫

仕訳なし

では、銀行勘定調整表を作成してみましょう。



銀行勘定調整表（両区分調整法）

当座預金勘定の残高 (558,200)	銀行残高証明書の残高 538,200
(加算)	(加算)
③ 記帳 340,000	④ 時間外入金 230,000
(減算)	(減算)
② 誤記入 500,000	① 未取付小切手 370,000
398,200	398,200

必ず一致

リカ：「ズレを調整した後の数字が一致しているわ」
 ユウカ：「それはそうね。当座預金を開設した時の残高が1,000円なら当然一致しているはずね。そこからズレが少しずつ生じるのだから、ズレを直せば一致するのは当然ね。そしてそれが貸借対照表にのせる正しい数値ということね。じゃあ、リカさんBSに載せる現金の金額ってわかる？」

リカ：「硬貨 2,321,200 と小切手 2 枚と配当金領収書を加えて 2,915,200 円ね。仕訳に現金があるけれど、他人振出し小切手で計算済みだから加算してはダメね」

ユウカ：「OKよ。仕訳をチェックすることは大事ね。でも仕訳内容はすでに計算済の他人振出小切手ということにも気づいたのね。センスあり！」

リカ：「やったー！」

ユウカ：「最後に補足ね。銀行勘定調整表の書き方は3種類あるの。先ほどの表は両区分調整法というの。他には企業残高基準法と銀行残高基準法というのがあるの。下を書いておくね」

リカ：「ありがとう」

企業残高基準法

当座貯金勘定の残高		558,200	
加算	③未記帳	340,000	
	①未取付小切手	370,000	710,000
減算	②誤記入	500,000	
	④時間外入金	230,000	730,000
銀行の残高証明書残高		538,200	

銀行残高基準法

銀行の残高証明書残高		538,200	
加算	④時間外入金	230,000	
	②誤記入	500,000	730,000
減算	①未取付小切手	370,000	
	③未記帳	340,000	710,000
当座貯金勘定の残高			558,200

試験ではマイナス時に△などの指示があれば従ってください。



CHAPTER05 商品売買

当座預金の開設は後回し。当面はいつもニコニコ現金払いでいこうと考えたりカ・・・

ところで今日は月末。何かと忙しい。ユウカさんからは、「小売店は在庫の量で利益がかわるので要注意。税務調査でも突っ込まれるケースあるので在庫管理はしっかりね」

リカの店では、弥生販売というシステムで請求書発行や買掛管理をしている。ただ、在庫管理の機能はまだ使っていなかったなのでこの機会に使ってみることにしました。



リカ：「ユウカさん、弥生販売に在庫管理機能があるので使ってみることにしたの。導入時にとりあえずメーカーの人が繰越在庫を入れておいてくれたので、一応在庫数の管理はすぐにできるみたい」

ユウカ：「それはいいわね。他の顧問先でも弥生販売を使っている会社があるので、私も資料のみかたくらいならわかるかも・・・そうそう、私の母の店でも弥生販売使って在庫管理資料作ってるの。こんな感じよ」

在庫確認					
案件名		在庫問合せ			
商品コード	商品名	単位	現在庫数	発注残数 受注残数	予定在庫数 適正在庫数
CUP-SGT-0001	組		116	10	116
ソフトストロベリーティーカップ&ソーサー	組			10	170
CUP-TKS-0002	組		68	0	58
ターコイズティーカップ&ソーサー	組			10	120
CUP-XCB-0003	組		92	0	82
コロンビアティーカップ&ソーサー	組			10	180
CUP-XCB-0004	組		132	0	132
インディオティーカップ&ソーサー	組			0	180
CUP-XCB-0005	組		68	0	58
トゥッタンコーヒークップ&ソーサー	組			10	120

リカ：「へえー、現在庫だけでなく予定在庫までわかるのね。それは心強い！」

ユウカ：「でも在庫管理資料をみると実際の在庫と数字が合わない商品もあるのよ。その場合は簿記的には棚卸減耗費という科目で処理しないといけないの。他には、売れ残ってしまった在庫で価値が下がってしまった商品ってない？IT機器は陳腐化が早いというから少し心配していたの」

リカ：「Yパッドというタブレットの値段が下がっているわ」

ユウカ：「それは評価損という勘定科目で売上原価に組み込む必要があるわ」

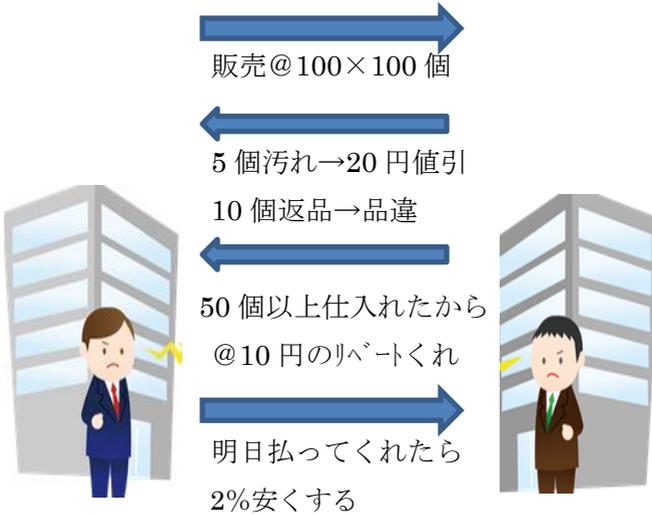
リカ：「大変そうね」

ユウカ：「でも、会計的にはその処理は決算の時点で処理してもいいの。日々の数値管理は弥生販売で確認してね」

ここで、ユウカの即席レッスンが始まった。商品販売と在庫の処理全般である。リカから「この機会に日商簿記2級を受験するつもり」という話があったからだ。



- ① 値引きと返品処理（3級の復習）
- ② 割戻・割引の処理（2級）



順番に仕訳を確認しよう。

<売手>

	科目	金額	科目	金額
販売	売掛金	10,000	売上	10,000
値引	売上	100	売掛金	100
返品	売上	1,000	売掛金	1,000
割戻	売上	900	売掛金	900
割引	現預金	7,840	売掛金	8,000
	売上割引	160		

<買手>

	科目	金額	科目	金額
仕入	仕入	10,000	買掛金	10,000
値引	買掛金	100	仕入	100
返品	買掛金	1,000	仕入	1,000
割戻	買掛金	900	仕入	900
割引	買掛金	8,000	現預金	7,840
			仕入割引	160

ユウカ：「どうですか。基本的には値引きも返品も割戻しも逆仕訳をするだけね。でも割引だけ処理が違うの」

リカ：「なぜ？」

ユウカ：「早く払うということは、預金をおろさないといけないよね。預金の利子をあきらめるかわりに取引先から利子をもらうという考え方ね。なので売上割引は営業外費用、仕入割引は営業外収益になるの」

リカ：「あと、汚れ以外でも値引きは発生すると思うわ。販売した後の入金時に強制的に端数值引されたり」

ユウカ：「簿記では、汚損などが値引き、品違いなどが返品、リベートなどが割戻となっているの。ここは覚えなきゃ仕方ないね」

リカ：「本当に！！どっちでもいいのにね」

<ポイント>

売上割引は営業外費用

仕入割引は営業外収益



③ クレジット売掛金

リカ：「ユウカさん、最近クレジット関係の売上が増えてきたの。これってクレジット売掛金という科目を使わないといけないと簿記のテキストにのっていたけど」

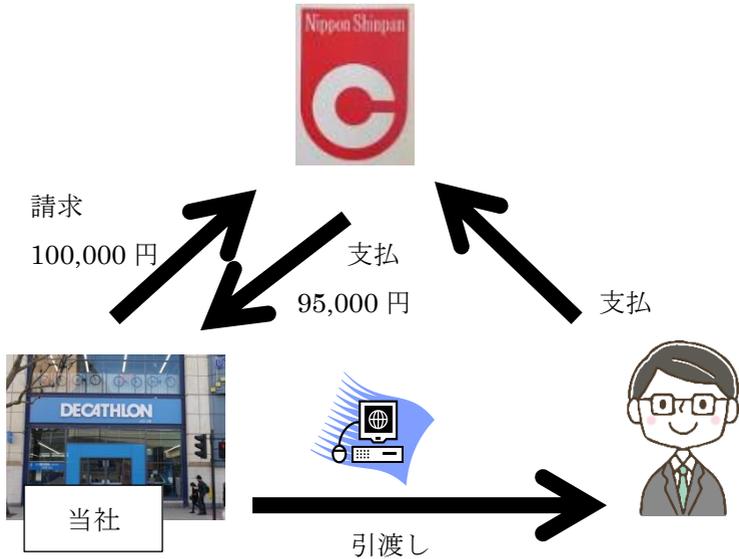
ユウカ：「うーん？ どうか・・ほとんどの顧問先では売掛金の補助科目（枝番みたいなもの）でJ C BとかV I S Aの残高を管理しているわ。こんな感じね」

借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額	
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額	借方税区分
売掛金	108,000	売上高	108,000	石川遠様ドライバー
JCB			(8,000)	
JCB		aichi		
VISA		atsugi		
文京食器店		bunkyou		
中央産業		chubu		

リカ：「なるほど」

ユウカ：「でも簿記では、指定された科目を使わないといけないから、通常はクレジット売掛金を使うと思うわ。これは難しくないわね。クレジット売掛金の論点は、科目よりもむしろ手数料ね。ここは、クレジット会社出身の弥生カレッジの社長に登場してもらいましょう」

<クレジット取引は3者間契約>



当社の処理

1. クレジット売掛金 100,000 / 売上 100,000
2. 現預金 95,000 円 / クレジット売掛金 100,000
支払手数料 5,000

または

1. クレジット売掛金 95,000 / 売上 100,000
支払手数料 5,000
2. 現預金 95,000 / クレジット売掛金 95,000

本試験では消費税がからんだ独特の言い回しで出題されます。日商にはもう少し考えて実務に即した問題を出してほしいものですね。試験ではわかりにくい出題は割り切って回答してください。

<本試験での問われ方>

商品を¥350,000 で顧客に販売し、このうち消費税込みで¥108,000 を現金で受け取り、残額をクレジット払いの条件とした。信販会社へのクレジット手数料(クレジット販売代金の5%)も販売時に計上した。なお、消費税の税率は8%とし、税抜方式で処理するが、クレジット手数料には消費税を含めない。

クレジット売掛金	257,500	売上	350,000
現金	108,000	仮受消費税	28,000
支払手数料	12,500		

※クレジット手数料は本体価格だけで計算という意味のようです。



<メモ>

④ 売上原価の算定（棚卸減耗費と商品評価損）

やっと、ここできましたね。3級で学んだ、「しーくりくりしー」です。この覚え方も実務からかけ離れています。

この内容を、簿記ではどのように処理するのでしょうか。次の設例をみてみましょう。



取引	仕訳
期首の繰越在庫は@100円×3	仕訳なし
@100円の商品を5個掛仕入れした	仕入 500 / 買掛金 500
4個を1,200円で掛販売した	売掛金 1,200 / 売上 1,200
上記販売分の1個が返品されてきた	売上 300 / 売掛金 300
50円の売上値引を計上した	売上 50 / 売掛金 50
商品在高帳で売上原価確定の仕訳をした	仕入 300 / 繰越商品 300 繰越商品 500 / 仕入 500
実地棚卸をした 在庫数量は4個だった	100円×1 棚卸減耗損 100 / 繰越商品 100
在庫品は他社では80円で販売されている	4つの価値が下がっている 20円×4 商品評価損 80 / 繰越商品 80

商品在高帳BOXで確認しよう
 すべて100円の単価と仮定します

3個 300円	払出原価
5個 500	
4個 400	実際の 売上 原価
1個 100	
100円×5	
80円×4	

売上原価の計算： $300+500+100-500=400$

期首の在庫に当期の仕入を足して、帳簿在庫の金額を引いて計算

でも、帳簿在庫に比べて、数は減り、販売可能価格正味
売却価額)も安くなったので、会社としては損が出た。
なので、原価に加算しないといけません。
ちなみに商品評価益はありません。気を付けて下さい。

棚卸減耗費	問題の指示で売上原価・営業外 費用・特別損失に算入
商品評価損	原則として売上原価に算入

リカ：社長ありがとう。あれ、もういなくなった。

ユウカ：彼は照れ屋ですからね。

リカ：あれだけニコ生に出てるのに・・・

ユウカ：ところで、イメージできたかな。

リカ：こうして説明聞くとイメージできるんだけど。本
試験ではいろいろな問われ方があるので、結構失点しま
す。

リカ：では、とっておきの対処法を

こんどは、ユウカの即席レッスンです



★売上原価を仕入の行で管理（計算）？売上原価を売上原価の行で管理（計算）？

これは単なるお題目！いつものBOXで売上原価を計算したら、精算表の仕入の行に書くか、売上原価の行に書くかの違いだけ。途中の修正記入の仕訳には何も記入しなくても大丈夫

<精算表と損益計算書の本試験イメージを確認しよう>

期末商品の棚卸高は次のとおりである。

	帳簿棚卸数量	実地棚卸数量	単価(原価)	正味売却価額
商品A	25	23	@60	@55
商品B	46	41	@40	@56

売上原価は「売上原価」の行で計算する。また、商品評価損と棚卸減耗損は、精算表上、独立の項目として示すこと。

精算表

科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	3,160		3,340	3,160				2,905
				320				
				115				
仕入	20,000			20,000				
売上原価			20,000	3,340	19,820			
			3,160					
商品評価損			115		115			
棚卸減耗損			320		320			

★太字は配点のくる場所

科目	金額	科目	金額
売上原価	20,000	仕入	20,000
売上原価	3,160	繰越商品	3,160
繰越商品	3,340	売上原価	3,340
棚卸減耗損	320	繰越商品	320
商品評価損	115	繰越商品	115

「仕入」の行で計算した場合

科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
繰越商品	3,160		3,340	3,160				2,905
				320				
				115				
仕入	20,000		3,160	3,340	19,820			
商品評価損			115		115			
棚卸減耗損			320		320			

★太字は配点のくる場所

科目	金額	科目	金額
仕入	3,160	繰越商品	3,160
繰越商品	3,340	仕入	3,340
棚卸減耗損	320	繰越商品	320
商品評価損	115	繰越商品	115

商品の期末棚卸高は次のとおりである。棚卸減耗損と商品評価損は売上原価の内訳科目として処理する。売上総利益を求めよ。

	数量	単価 (原価)
帳簿棚卸高	55	@80
実地棚卸高	52	@78

前T/B (抜粋)

繰越商品	3,300	売上	53,000
仕入	35,000		

損益計算書			
I	売上高		53,000
II	売上原価		
	1 期首商品棚卸高	3,300	
	2 当期商品仕入高	35,000	
	合計	38,300	
	3 期末商品棚卸高	4,400	
	差引	33,900	
	4 棚卸減耗損	240	
	5 商品評価損	104	34,244
	売上総利益		18,756

<メモ>

★最近の傾向（未処理？処理済み？）

B/S 作成問題



<前 T/B>

→繰越商品 1,000,000、仕入 10,000,000

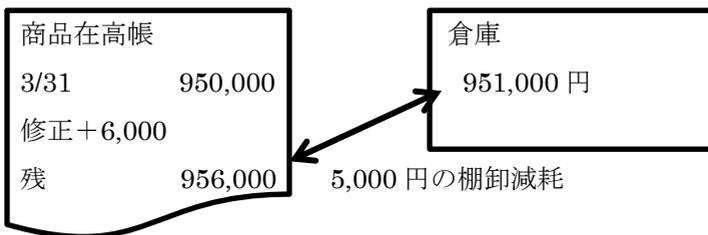
<資料 1>

掛売りした商品¥10,000（原価¥6,000）が返品されていたが、その受入れが未処理。

<資料 2>

商品の期末帳簿棚卸高は¥950,000 だったが、実地棚卸高は 951,000 円だった

倉庫と帳簿をイメージしよう



ユウカ：「リカさん、簿記の試験での未処理は何をあらわしていると思いますか？」

リカ：「えーと・・・」

ユウカ：「簿記は帳簿記入の略ね。なので商品在高帳や仕訳帳への記入が未処理ということなの」

リカ：「でも問題文には“受入が未処理”と書いてるので、倉庫にも入ってないのかと思っちゃうわ」

ユウカ：「そうね。この辺が出題者の意地悪なところね。でお、“返品されていたが”に注目すると、倉庫に戻っていたから“返品”の事実が判明したわけね。だから倉庫の金額は正しい金額ということになるの。せめて受入の記帳が未処理と書いてほしいわね」

リカ：「わかったわ。これからはイメージで勝負するわ」

<解答は次の通り>

売上 10,000 / 売掛金 10,000 (この仕訳も忘れないように)

仕入 1,000,000 / 繰越商品 1,000,000

繰越商品 956,000 / 仕入 956,000

棚卸減耗損 5,000 / 繰越商品 5,000

ちなみに弥生会計では、こんな感じですね

振替伝票					
日付(D): 03/31		伝票No.(N): 1		決算仕訳(Y): 決算	
借方勘定科目	借方金額	貸方勘定科目	貸方金額		
借方補助科目	消費税額	貸方補助科目	消費税額		
期首商品棚卸高	1,000,000	商品	1,000,000		
商品	956,000	期末商品棚卸高	956,000		
棚卸減耗損	5,000	商品	5,000		

実務では、仕入勘定は外部からの購入をあらわします。
売上原価の算定では、期首商品棚卸高、期末商品棚卸高
を使用します。



CHAPTER06 手形と電子記録債権・債務

商品売買のことを学んだリカ。

これからは在庫管理もしっかりして、売上・利益のUPを固く誓いました。

そんなとき、佃煮鉄工所の佃煮社長から「また、パソコンがほしいんだ。下町の工場は最近調子いいんだぜ」とのこと。

リカ：「今回も小切手ですか？」

佃煮寛：「それが、今は苦しいんだ」

リカ：「えっ、調子いいんじゃないんですか？」

佃煮寛：「突っ込むなよ・・・今回は3か月手形にしてほしいんだ」

リカ（心の声）「手形って、簿記3級で学んだわ。3か月あと・・・でも銀行で割引もできるから、少し高めで売ればいいんだわ」

リカ：「わかりました。期日が3か月なので、少し高くなってもいいですか？」

佃煮寛：「合点だ！！！」

というわけで、いつものようにユウカさんからレクチャ

一を受けることになりました。

ユウカ：「佃煮さん、強がっているけど大変なのね。」

リカ：「そうみたい。あの人のキャラだから。でも何とか協力したいの」

ユウカ：「わかったわ。じゃあ、手形取引の会計処理を中心にまとめてみましょうね。」

リカ：「はい、会計知識だけでなく一般的なことも教えてください」

ユウカ：「わかりました」

手形に関する基礎知識

簿記で学ぶ手形には約束手形と為替手形があります。為替手形に関しては実務上の重要性が低いので約束手形の割り引き、裏書きなどの処理を理解しましょう。

<約束手形>

収入 印紙	No.123 約束手形 AA143678	支払期日 20XX年6月30日
	亀山社中株式会社殿	支払地 東京都
金額	¥800,000*	支払場所
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引替えにお支払いいたします。		
20XX年3月12日		
振出地	東京都神田区	土佐海援隊商事株式会社
振出人	代表取締役	坂本竜馬

aa-00000		小 切 手		aa-00000			
20XX年3月12日		東京都神田桶町1丁目 株式会社 徳川銀行 二条支店					
金額	500,000円	金額 ¥500,000*		銀行渡り			
優先		記の金額をこの小切手と引替に持参人に お支払ください					
摘要						土佐海援隊商事株式会社	
残高	円					20XX年3月12日	
						振出地 東京都	
				振出人 代表取締役 坂本竜馬			

小切手と比べてみましょう。手形には収入印紙が必要ですが小切手には必要ありません。後から説明する電子記録債権はデジタル手形と考えればよいのですが、電子記録債権も印紙は必要ありません。経理事務に就いたらこのような知識も必要になります。

また、当座預金口座を開けないと（厳密には、当座勘定取引契約を結ばないと）、金融機関が取り扱う手形や小切手は発行できませんが、受け取った手形や小切手の現金化には当座預金は必ずしも必要ではありません。

手形に関する会計処理

基本的な内容は3級で学んだことと思います。復習からはじめましょう。

<メモ>

- ① 手形の振出（3級）
- ② 手形の裏書（3級）
- ③ 手形の割引（3級）
- ④ 手形の更改（2級）
- ⑤ 手形の不渡り（2級）



①500,000 円の手形振出 ④200,000 円の期日更改
 （金利 1,000 円追加）

②買掛金 100,000 円を
 裏書で支払

③200,000 円を
 銀行で割引
 （割引料 2,000 円）



⑤全額不渡り
 （請求費用 1,000 円）



裏書・割引分は償還請求を受け
 諸費用と合わせて 301,000 円を現金で支払った
 順番に仕訳を確認しよう。

<手形をもらった会社>

	科目	金額	科目	金額
振出	受取手形	500,000	売掛金	10,000
裏書	買掛金	100,000	受取手形	100,000
割引	預金	198,000	受取手形	200,000
	手形売却損	2,000		
更改	受取手形	201,000	受取手形	200,000
			受取利息	1,000
不渡	不渡手形	201,000	受取手形	201,000
	不渡手形	301,000	現金	301,000

<手形を振出した会社>

	科目	金額	科目	金額
振出	買掛金	500,000	支払手形	500,000
裏書	仕訳なし			
割引	仕訳なし			
更改	支払手形	200,000	支払手形	201,000
	支払利息	1,000		

不渡	現在調べ中です・・・(試験には出ません) 基本的には倒産の手続きに移行すると思われ ます
----	--

(参考：手形の裏書) こんな感じです

表記金額を下記被裏書人またはその指図人へお支払ください	
20XX年 5月 12日	拒絶証書不要
住所	長崎県長崎市伊良林 3-3 亀山社中株式会社 代表取締役 桂小五郎
(目的)	
被裏書人	株式会社グラバー商事 殿

表記金額を下記被裏書人またはその指図人へお支払ください	
20XX年 5月 30日	拒絶証書不要
住所	長崎県長崎市南町 2-2 株式会社グラバー商事 代表取締役 小曾根英四郎
(目的)	
被裏書人	殿



連続していないと無効

被裏書人欄の空白はOK

でも実務は銀行等に確認してください

<メモ>

＜電子記録債権・債務＞

「でんさい」でスッキリ解決!

支払企業では・・・

ペーパーレスだから手続がラクラク!
搬送代もかかりません!
「でんさい」を使えば、手形の発行、
振込の準備など、支払に関する面倒な
事務負担が軽減されます。
手形の搬送コストも削減できます。

印刷税は課税されません!
手形と異なり、
印刷税は課税されません。

節税

支払手段の一化で効率的!
手形、振込一括決済など、複数の支払手段を
一化すれば、効率化が図れます。

「でんさい」でスッキリ解決!

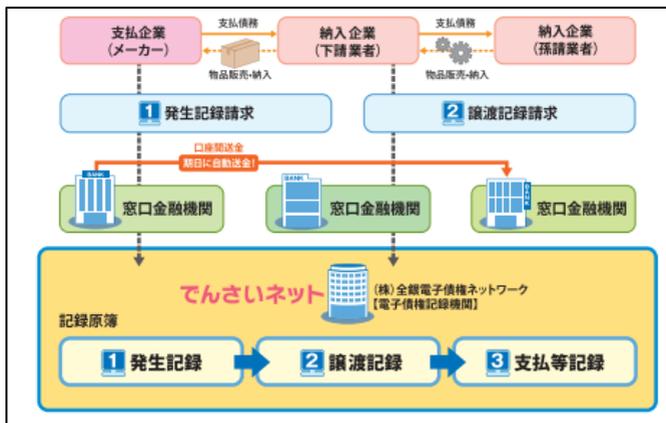
納入企業では・・・

ペーパーレスだから
安心・安全! 保管も不要です!
ペーパーレス化により、
紛失や盗難の心配はなくなります。
厳重に保管、管理する必要がなくなりますので、
無駄な管理コストを削減することができます。

分割できます!
必要な分だけ分割して譲渡や割引をすることができます。
手形にはない、「でんさい」特有の大きなメリットです。

期日になると自動入金!
支払期日になると窓口金融機関の口座に
自動的に入金されますので、面倒な取立手続は
不要です。

債権を有効活用!
これまで資金繰りのために利用できなかった
売掛金等の債権について、
決済手段を申込から「でんさい」
にすれば、支払期日であっても
簡単に譲渡や割引ができるので、
資金調達に活用しやすくなります。



リカ：「電子記録債権・・・何か難しそうですね」

ユウカ：「手形の電子版だと思えば簡単よ」

リカ：「そうなんですか」

ユウカ：「じゃあ、そのつもりで問題を解いてみましょう。

簡単なことがわかると思います」

3 問 - [資料Ⅱ] - 4 決算にあたっての修正事項
買掛金のうち取引銀行を通じて債務の発生記録を行った電子記録債務¥170,000の振替処理がもれていることが判明した。

買掛金 170,000 電子記録債務 170,000

京橋商店は、本町商店に対する買掛金¥700,000の支払いを電子債権記録機関で行うため、取引銀行を通じて債務の発生記録を行った。また、本町商店は取引銀行よりその通知を受けた。(1)京橋商店および(2)本町商店の仕訳を示しなさい。

(1) 買掛金 700,000 電子記録債務 700,000

(2) 電子記録債権 700,000 売掛金 700,000

サンプル問題

福岡商店は、電子記録債権のうち¥250,000 を銀行で割引引き、割引料¥4,000 が差し引かれた残額が当座預金口座へ振り込まれた。

当座預金	246,000	電子記録債権	250,000
電子記録債権売却損	4,000		

リカ：「本当、手形と同じね」

ユウカ：「よかった」



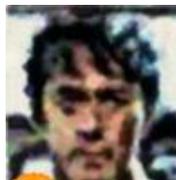
CHAPTER07 有形固定資産 1

佃煮寛のおかげで、経理や経営の勉強ができたリカ。売上もあがって、勉強もできる。リカにとって、佃煮は特別な存在になってきたようである。

そんな時に、突然あの濃い顔が目の前にあらわれた。佃煮：「リカさん、この間買ったパソコンだけど経費にできるの？」

リカ：「経費？節税できるっていうこと？その件なら、もうすぐユウカさんが来るから、一緒に教えてもらいましょう。」

佃煮：「OK！！」



しばらくして、ユウカが現れた。

リカ：「ユウカさん、佃煮さんから、前回買ったパソコン3台が経費にできるかどうか教えてほしいって」

ユウカ：「実務では100,000円基準というのがあるのよ。100,000円未満のパソコンは経費（税法で損金といいます）で落とせるわよ」

佃煮：「じゃあ、最初の2台は両方とも90,000円だったから大丈夫だな。前回手形で購入したサーバーは

300,000 円だから経費にできないんだ」

ユウカ：「そうです。これは備品という科目で処理をして、減価償却という手続きで費用にするの」

リカ：「減価償却なら3級で習ったわ。」

佃煮：「月賦で買ったなら経費にならないのか？」

リカ（心の声）：「えらそうね！それにしても月賦？」

ユウカ：「割賦購入の場合でも減価償却はできるわよ。でも割賦の場合は利息の計算が必要になるわね」

佃煮：「おっと！時間だ。大国重工の財後さんとボーリングの約束していたんだ。じゃあ、また」

ユウカ：「あいかわらずね。でも憎めない人ね。ところでリカさん、せっかくなので有形固定資産の論点をまとめてみようか」

リカ：「お願いします」

①購入（付随費用）

付随費用は加算しよう（据付代、工事費用、運賃、試運転費用、取得税 Etc）

ソフトウェアの場合はデータコンバートや研修費用は含みません

手形での購入は営業外支払手形になります（売却時の受取手形も営業外受取手形になります）

②割賦購入

分割払いの場合は購入価格に金利が含まれています。

銀行借入をして購入した場合には金利は営業外費用になります。投資家が企業間の比較をするために、割賦購入の場合も金利は除外するべきですね。

銀行
借入金 1,000,000
金利 50,000
1,000,000 円で購入
BS 固定資産 1,000,000

販売店
1,050,000 円で割賦購入
BS 固定資産 1,000,000
であるべき
差額は支払利息 or 前払利息

では、割賦購入の仕訳を確認しよう

上例の購入が備品で 12 月 1 日、105,000 円 10 枚の手形を発行、決算が 3 月末と仮定しましょう。利息は定額法とします。



<購入時に前払利息>

備品 1,000,000／営業外支払手形 1,050,000

前払利息 50,000

(手形でない場合は未払金)

支払時 (3月末まで4回)

営業外支払手形 105,000／現金預金 105,000

支払利息 5,000／前払利息 5,000

決算時

仕訳なし

<購入時に支払利息>

備品 1,000,000／営業外支払手形 1,050,000

支払利息 50,000

(手形でない場合は未払金)

支払時 (3月末まで4回)

営業外支払手形 105,000／現金預金 105,000

決算時

前払利息 30,000／支払利息 30,000

<本試験での問われ方>

全従業員に支給するため、事務用のパソコン（現金購入価格@¥115,000）70台を割賦で購入した。代金は、来月末より月末ごとに支払期限が順次到来する額面¥705,000の約束手形12枚を振り出して相手先に交付した。なお、利息相当額については、資産の勘定（前払利息）を用いて処理することとする。

備品 8,050,000 / 営業外支払手形 8,460,000

前払利息 410,000

アドバイス：仕訳の問題を解く場合は必ず科目一覧を確認し、注意すべき科目に○をつけておきましょう。ケアレスミスを防げます

こんな感じです

第1問 (20点)

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選び、正確に記入すること。

現金	当座預金	電子記録債権	売買目的有価証券
備品	その他資本剰余金	のれん	S社株式
建物	構築物	非支配株主持分当期首残高	固定資産除却損
貯蔵品	広告宣伝費	仮払消費税	有価証券利息
建設仮勘定	売掛金	仮払消費税	営業外支払手形
返品調整引当	資本金当期首残高	本店	買掛金

③減価償却

<全経上級深堀ゼミテキストより>

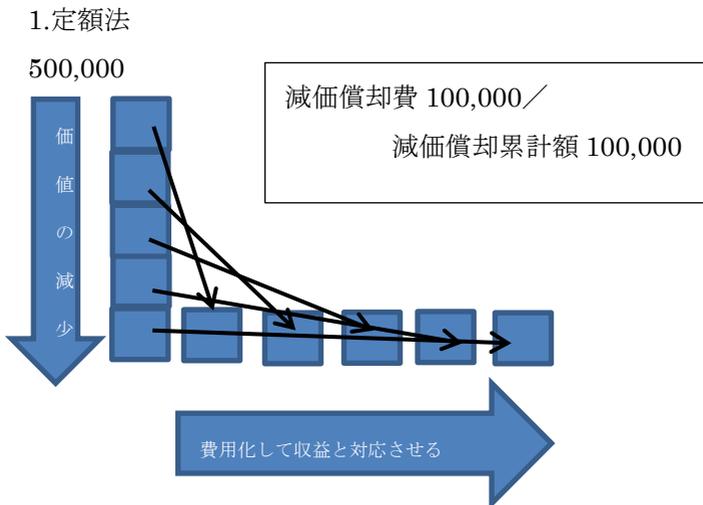
★意義（意味）

→減価償却は取得原価を費用配分すること

<減価→価値の減少>+<償却→資産を費用化すること>

減価償却は棚卸資産と違い「モノ」はなくなる（価値が減少する）

3 級では定額法を学びました。念のために復習しましょう



残存価額が指定されている場合は、残存価額をマイナスしてから確認しよう！

<本試験での問われ方>

平成 26 年 9 月 1 日に取得した業務用パソコン（取得原価 ¥260,000、残存価額 10%、耐用年数 4 年、減価償却費の計算は定額法、間接法で記帳）を平成 29 年 1 月 1 日に ¥60,000 で売却し、売却代金は現金で受け取った。なお、当店の決算日は 12 月 31 日であり、取得年度の減価償却費については月割計算による。

備品減価償却累計額 136,500 備品 260,000

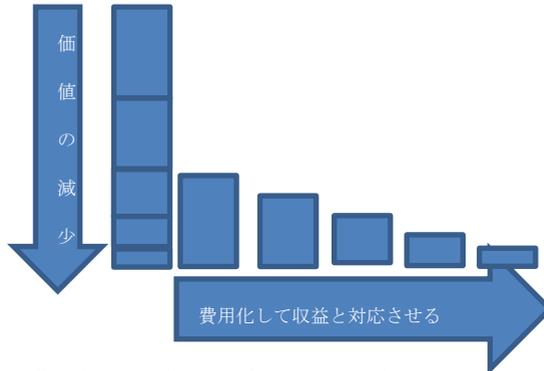
現金 60,000

固定資産売却損 63,500



<メモ>

2.定率法



<購入初期に費用を多めにとる方法です>

<計算式>

期首帳簿価額 × (一定の) 償却率 = 減価償却費

(注意：残存価額の指示があっても残存価額は引かないように)

(期首帳簿価額に一定の率を乗じるので定率法と呼ばれています)

<設例>

取得原価 500,000 円、償却率 0.4 の場合の計算

1 年目 → $500,000 \text{ 円} \times 0.4 = 200,000$

2 年目 → $(500,000 - 200,000) \times 0.4 = 120,000$

※期首帳簿価額 = $500,000 - 200,000$

以下この計算を繰り返します。

<ここで全経法人税法3級のレジユメを確認しましょう
詳しくは動画で説明します

<法人税3級レジユメより>

(減価)償却限度額の計算

減価償却に関する会計基準は存在せず、企業会計原則で「行う事」が規定されているくらいです。税法では、そのような曖昧な規定は許されず、詳細な限度額が決められています。また、税法では減価償却を行うか否かについては法人の意思に委ねられているという事も注意して下さい、実務では益出しのために減価償却費を計上しない事もありますが、その場合は翌年以降に期間がシフトするだけで翌年に2年分を計上する事はできません。



<平成 19 年 4 月改正、24 年法人税法改正について>
<減価償却に関する改正>

← 平成 19.4.1 →

① 19.4.1 以降購入資産

・定額法：残存価額 0 で均等償却（備忘価額 1 円
残す）

（例：100,000 円が取得原価の場合）

$100,000 \times 0.2 = 20,000$ （最終年のみ 1 円残す）

・定率法：定額法の償却率の 250%（2.5 倍）を定率
法の償却率とする（平成 24 年 4 月 1 日から 200%）

定額法の償却率とは

100,000 円の資産を 5 年定額法で計算すると

$100,000 \text{ 円} \div 5$

$100,000 \text{ 円} \times 1/5$

$100,000 \text{ 円} \times 0.2$

0.2 が定額法の償却率です

5 年定率法の償却率は 0.2×2.5 （250%）= 0.5 となります

残存価額は 0 ですが、最終年度は償却額から 1 円（備忘
価額といいます）を引いた金額を償却額とします。

※構築物と建物付属設備は H28 年より定額法のみになりました。

****法人税法 3 級のレジユメ抜粋終了****

<設例>

100,000 円の車両を 2 年 4 月 1 日に購入した。

残存価額 10%、耐用年数 5 年、200%定率法での 5 年間の償却費の計算を行いなさい。

なお決算は 3 月 31 日である。

償却率は自身で計算する→ $1 \div 5 \times 2 = 0.4$ (40%)

年月日	期首帳簿価額	減価償却費
3.3.31	100,000	40,000
4.3.31	60,000	24,000
5.3.31	36,000	14,400
6.3.31	21,600	10,800
7.3.31	10,800	10,799

6.3.31 日に 40%の償却率で計算すると、その年度の償却費は $21,600 \times 0.4 = 8,640$ 円となり 5 年目に償却が終了しません。この場合は、あと 2 年で償却終了するよう償却率を 0.5 に改定します。

この考え方を表にまとめましょう。

耐用年数	償却率	改定償却率	保証率
3	0.667	1.000	0.11089
4	0.500	1.000	0.12499
5	0.400	0.500	0.10800

耐用年数 5 年の場合で表の見方を説明します

取得価額 100,000 × 保証率 0.10800 = 保証額 10,800 円

(これは年間の減価償却費は最低でも 10,800 円は必要
ということです)

もう少し噛み砕いてお話しすると、

「通常の減価償却計算で 10,800 円を下回った場合 (先の例の 6.3.31 のケースです) は、期首帳簿価額 (先の例では 21,600 円) に改定償却率 (上の表の 0.500) を当期以降の減価償却費として下さい」という意味になります。そんなに難しい概念ではないので押さえておきましょう。



- 3.生産高比例法（耐用年数・月割計算という概念なし）
車・航空機など距離などの基準で減価を認識する
計算は一番簡単

<設例>

100,000 円の車両を 10 月 1 日に購入
残存価額 10%、総走行可能距離 100,000km
当期の走行距離 10,000Km
決算は 3 月 31 日

減価償却費 9,000 / 車両減価償却累計額 9,000 円
($100,000 \times 0.9 \times 10,000 \div 100,000$)

(本試験での問われ方)

和歌山運送会社（決算日 12 月 31 日）は、前期 4 月 1 日に 4 t トラックを ¥5,800,000 で購入し、直ちに営業の用に供している。当該トラックの耐用年数は 6 年、残存価額は取得原価の 10%、総走行距離数は 250,000 km、前期の走行距離数は 40,000 km であった。よって(1)定額法(当期)、(2)定率法(定率 0.319)(前期・当期)および(3)生産高比例法(前期)による場合の減価償却費をそれぞれ求めなさい。なお、解答に際して 1 円未満は四捨五入しなさい。

(1)	定額法（当期）	870,000
(2)	定率法（前期）	1,387,650
	定率法（当期）	1,407,540
(3)	生産高比例法（前期）	835,200

<まとめ>

	残存価額	前期までの償却累計額
定額法	引く	引かない
定率法	引かない	引く
生産高比例法	引く	引かない

④資本的支出

ここで、またまた佃煮氏が登場。

佃煮：「リカちゃん、大変だ！」

リカ：「一体どうしたんですか？（この人いつも声でかいな）」

佃煮：「CADソフトインストールしたら異常に遅いんだ」

リカ：「えっ、CAD入れたんですか？あのパソコンは事務用のスペックですよ。」

佃煮：「でも、CAD使いたいんだ」

リカ：「本来なら最初からメモリを多めにしておけばよかつたんだけど・・・じゃあ増設しましょう」

佃煮：「それって、最初から高い価値のPC買うのと同じなのか？」

リカ：「そうよ。でも50,000円の追加投資が必要よ」

佃煮：「50,000円！そんなにぼったくるのか。まあ、いいや！早速やってくれ」

（注）ぼったくる→関西弁（だと思う）で本来の価格以上で販売すること

リカ：「ぼったくり呼ばわりすると、やってあげないわ

よ！」

佃煮：「ごめんごめん、俺とお前の仲じゃないか」

リカ：「リカちゃんからお前に変わっちゃったわね、どんな仲よ！でもわかったわ。うちは徹底サポートがモットーだから」

佃煮：「サンキュー！今度経理の方法も教えてくれよ」

と佃煮は上機嫌で帰って行った。

リカ：「もしもし、ユウカさん。佃煮さんから、かくかくしかじか・・・の相談があったんだけど」

ユウカ：「資本的支出の論点ね。日商簿記では 2 級から出てくる論点ね。じゃあ、説明するね」

賢明な読者諸氏なら、もう大丈夫でしょう。

例えば、メモリ 2GB の P C が 100,000 円、メモリ 8GB の P C が 150,000 円とします。

佃煮氏は最初に購入した時は、次のような仕訳をきっていました。

<備品 100,000 / 現金 100,000 >

でも 8GB が必要なので 50,000 円で増設した
この場合に
<消耗品費 50,000/現金 50,000 円>と仕訳していいだ
ろうか？
佃氏が最初から 8GB PC 購入していたら、
備品 150,000/現金 150,000
ですね。

備品という資産が増えます。資産が増えた結果資本も増
えるので資本的支出といいます。
佃煮氏の心の声：「それなら資産的支出と言えよ！」

会計報告は他社や自社の前年比較を含んでいるので、同
じ行為には同じ結果にしないといけません。
従って 50,000 円の追加メモリは
備品 50,000/現金 50,000
となるのです。

では皆さんに佃煮氏から質問です。

「俺が 2 年前に買った PC は事務用で 2GB で十分だった。でも動きが遅いのでリカに連絡した。おっと、リカさんだな。リカさんは、メモリ不良なので交換が必要とのことだった。値段は 10,000 円だ。この場合も備品で処理するのだろうか？ 考えてくれ」



佃煮：「読者の方に偉そうにいつて申し訳ありませんでした。では、解答を記します」

これは、価値を高める投資ではなく、ある意味現状をKEEPする投資ですね。この場合は修繕費で処理します。収益に対応させる費用なので収益的支出ともいいません。

佃煮の心の声：「それなら費用的支出といえよ」

試験では収益的支出と資本的支出という言葉はあまり出ませんが、出る可能性はあります。

では、過去問の問われ方、みてみましょう。

既存の工場の増設工事について、契約金額の5,000,000円を当座預金から振り込んだ。建設工事代金のうち、160,000円は現状維持の支出だった。

建物 4,840,000 / 当座預金 5,000,000

修繕費 160,000

CHAPTER08 有形固定資産 2

佃煮製作所の増設も一段落し、ようやく落ち着いたリカ。佃煮寛の紹介で大国重工の財後部長を紹介してもらうことになり、佃煮寛と一緒に梅田のレストランで会うことになった。

ピタッと分けた髪型にスーツが決まった財後部長があらわれた。

佃煮：「財後部長、先日は有難うございました」

財後：「いや、こちらこそ。ところでこちらがリカさんですか。佃煮さんからあなたの仕事ぶりを聞いています。」

リカ：「あっ、はじめまして。やっぱり大企業の部長さんですね。きまっています。」

佃煮：「俺もきまっているだろう」



佃煮のスーツ姿をみて、馬子にも衣装と思ったが、「はい、佃煮さんも」と言ってしまった。

佃煮：「はは、でも俺のスーツ姿に見とれてばかりいると財後さんに失礼だぞ」

リカ：「そんなことは絶対にありません」

財後：「いやあ、佃煮さんにも負けていない。素晴らしいお嬢さん、いや失礼、経営者だ」

リカ：「すみません。ところで今日はお仕事の話かどうかだったんですが」

財後：「そうなんです。今当社では佃煮さんの会社と共同で YUMEBUTAI という空飛ぶ自動車の開発を行っているのですが、今回シミュレーション用の PC を大幅に入れ替えることになったんです。前回頼んだ会社は、口ばかり達者で仕事がなかなか進まなかったので、佃煮さんに話したところ、リカさんのことをお聞きし今日に至った次第です。」

リカ：「へえー、YUMEBUTAI、素敵ですね。佃煮さんがそんな仕事をしていたなんて、見直しました」

佃煮：「そうか、でも‘夢見るブタ’じゃないぞ！面白いだろ」（YUMEBUTAI と夢見るブタをかけているつもり）

リカ：「前言撤回」

財後：「はは、では仕事の話を見せて頂いていいでしょうか」

財後部長の話では、今ある PC（サーバーも含めたシミュレーションシステム）を刷新するとのこと。同時に、シミュレーションルームの建て替えも行うとのこと

で総予算はなんと 14,000,000 円。シミュレーションルームは佃煮製作所の担当ではあるが、それでもリカにとっては大手企業との大口契約の舞台。それこそ夢舞台、ビッグチャンスである。ではシステム刷新の内容をみてみよう。



<現行システム>

	取得原価 (単価)	備考	
サーバ ー	5,000,000	3年前に購 入	耐用年数5年 残存価額0で昨 年度末までに3 年間償却済み。当 期も半年使用済。
クライ アント	200,000	3年前に5 台購入	耐用年数4年 残存価額0で昨 年度末までに3 年間償却済み。当 期も半年使用済。 今回、除却する予 定。評価額は @20,000円
シミュ レーシ ョンル ーム	10,000,000		耐用年数20年 10年間使用 今回は取り壊し て廃棄する

※大国重工の決算は3月末である

<新システム>

	取得原価 (単価)	備考
サーバ	3,000,000	設置費用 500,000 円 支払は半年後の手形
クライアント	200,000 ×5 台	リースで購入
シミュレーションルーム	10,000,000	

そして、打合せ、見積もりを経て正式に契約の運びになったのである。リカの喜びようは半端ではなかった。

リカ：「財後部長、こんな大きな仕事を頂けるなんて夢みたいです。本当にありがとうございます」

財後：「いえいえ、あなたの仕事ぶりが当社の担当者に認められたんです。こちらこそ有難うございます。あとはシステムの刷新がうまくいくことを期待しています。」

リカ：「はい！」

ここで、ユウカさんに登場してもらおう。このテキストは小説ではなく簿記のテキストだった。筆者の私も忘れるところだった。

佃煮：「横山！しっかりしろよ」

横山：「はい！」



ということで、大国重工側のシステム刷新のかかわる処理を会計的に確認してみよう。

① 現行システムのサーバーの廃棄

期首償却累計額： $5,000,000 \div 5 \times 3 = 3,000,000$

当期減価償却費： $5,000,000 \div 5 \times 6/12 = 500,000$

1,500,000 円の価値が残っているが、これを廃棄するので廃棄損を計上します。

備品減価償却累計額 3,000,000 / 備品 5,000,000

減価償却費 500,000

固定資産廃棄損 1,500,000

② 5台のPCの除却

除却というのは、文字通り「取り除くこと」です。

「もしかしたら使えるかも？売れるかも」ということで、生産ラインや事務用途から外すけれど、期待をこめて置いとく（貯蔵する）のです。

除却時は写真を撮っておいたほうがいいそうです（ユウカさんからの情報）。



まとめて5台を処理しましょう

期首償却累計額： $1,000,000 \div 4 \times 3 = 750,000$

当期減価償却費： $1,000,000 \div 4 \times 6/12 = 125,000$

125,000 円の価値が残っているが、何とか 100,000 円で売れそうなので、次のようになります。

備品減価償却累計額 750,000 / 備品 1,000,000

減価償却費 125,000

貯蔵品 100,000

固定資産除却損 25,000

<試験での問われ方>

備品（取得原価 ¥ 1,300,000、減価償却累計額 ¥ 960,000、記帳方法：間接法）を本日除却した。なお、この備品の処分価値は ¥ 90,000 と見積もられた。

備品減価償却累計額 960,000 備品1,300,000

貯蔵品 90,000

固定資産除却損 250,000



③ シミュレーションルームの建築

これは佃煮製作所に依頼した。ドリームコンピュータとの共同作業である。

佃煮：「コーポレーションってやつか」

リカ：「?????」

佃煮：「共同作業のことだよ。そんなことも知らないのか？これからの時代に英語は絶対必要だぞ」

リカ：「それってコラボレーションじゃないの？」

佃煮：「最近かわったのか。まあいい。俺は日本人だからな」

リカの心の声（意地っ張りね、でもかわいい）

リカは粗野ではあるが優しい佃煮に惹かれていつているようである。

大国工業の決算は3月31日であるが、この段階ではまだ完成していなかった。佃煮製作所には手付金や中間金で2,000,000円支払っている。

ユウカ：「これはまだ完成していないから建設仮勘定という科目で処理しないとね」

リカ：「ユウカさん、いつの間に？」

ユウカ：「私も主人公だからたまには登場させてね」

リカ：「建設仮勘定って有形固定資産の科目ですよ
ね。ということは決算が来たら減価償却するんですか？」

ユウカ：「いい質問ね。減価償却費というのは収益
に対応させる費用のことなの。完成していない建
物は収益に貢献する？」

リカ：「そうか。収益に貢献しないから減価償却費
も計上しないんだ」

ユウカ：「そのとおり。じゃあ、最後に完成した時
のことも含めて先に説明しておくね。」

< 大国重工→佃煮製作所：支払時 >

建設仮勘定 2,000,000 / 現預金 2,000,000

< 完成時 >

建物 10,000,000 / 建設仮勘定 2,000,000

現預金 8,000,000

要は自社建設（会計用語では自家建設という）の
場合の仮払金と考えればいいでしょう。

<本試験での問われ方>

既存の工場の増設工事について、3回に分けて各12,000,000を分割支払いする建設工事契約を締結しそれぞれ建設仮勘定に計上している。これが完成して最終回の支払いを当座預金から行い、また、建設工事代金の総額¥36,000,000を、建物と既存の工場の修繕費¥160,000に振り替えた。

建物仮勘定 12,000,000	当座預金 12,000,000
建物 35,840,000	建設仮勘定 36,000,000
修繕費 160,000	

実際の試験では、相殺可かどうか大きな論争がまきおこりました。

結果的には相殺は×だったようです。



④ 固定資産の買換え

同時に事務用のPCも最新OSのPCに入れ替えることにした。現行PCはリカの会社で下取ることにした。内容は以下のとおり。

	現行PC	新PC
取得日	5年4月1日	7年6月30日
取得価額	300,000円	200,000円
残存価額	20,000円	0円
下取価格	120,000円	
耐用年数	4年	4年
償却方法(率)	定額法	200%定率法

※支払は3か月手形

新しいPCに
いれかえよう！



<買換時の仕訳>

- ・まずは7年3月末までの減価償却累計額を計算

$$(300,000-20,000) \div 4 \times 2 = 140,000$$

- ・次に当期の償却費を計算

$$(300,000-20,000) \div 4 \times 3/12 = 17,500$$

- ・下取り価格と7年6月30日の簿価との差額で損益を計算

$$(300,000 - 140,000 - 17,500) - 120,000 = 22,500$$

売却損 22,500 円

- ・あとは新PC購入とあわせて仕訳
- ・支払は新PC 200,000 - 下取 120,000 = 80,000

備品減価償却累計額 140,000 / 備品 300,000

減価償却費 17,500 / 営業外支払手形 80,000

固定資産売却損 22,500

備品 200,000

佃煮製作所もドリームコンピュータも順風満帆、といたいところだが、それではドラマにならない。

ここで、古狸一郎が登場！古狸は以前に佃煮との競合に敗れた古狸鉄工所の社長。今は廃業して年金生活である（でも貯金は2,000万ほどあるという噂である）。

何と、佃煮製作所の倉庫に放火をしたのである。

まるでテレビドラマ、いやテレビドラマ以上の無茶な展開である。

この倉庫は、3年前の期首（4/1）に5,000,000円（残存価額0、耐用年数20年）で購入したものである。放火されたのは6月20日。でもこの倉庫には5,000,000円の火災保険がかけられていた（放火で保険がおりるかどうかは、すみません保険会社にお問合わせください）ので一安心。でも、6月20日には倉庫はなくなったので貸借対照表から消さないといけない。どう仕訳すればいいのだろうか。

リカ：「もしもしユウカさん、大変。寛さんの倉庫が放火されたの」

ユウカ：「えっ、（寛さん？いつのまに？）・・・それで誰か

怪我したの？」

リカ：「それは大丈夫。保険にも入ってたみたい。でも寛さんが、こんな時はどう仕訳するんだ！とどなっていたわ」

ユウカ：「寛さん・・・そんな仲になってたんだ・・・」

リカ：「えっ・・・」

ユウカ：「応援するわよ。ところで仕訳の回答するわね」

ユウカの説明はこうである。

- ・ 今年の3月末の減価償却累計額を計算する
 $5,000,000 \div 20 \times 3 = 750,000$
- ・ 今年の4/1～6/20までの減価償却費の計算をする
20日でも1か月とみなします
 $5,000,000 \div 20 \times 3/12 = 62,500$
- ・ 保険会社から保険金額の通知がくるまで未決算勘定を使用する（仮勘定です。未確定ととらえておけばいいでしょう）
- ・ では仕訳です。間接法で記帳しているとします。
減価償却累計額 750,000 / 建物 5,000,000
減価償却費 62,500
火災未決算 4,187,500

※もしも直接法で問われたら・・・

こんな感じです

「取得価額 5,000,000、減価償却累計額 750,000、直接法で記帳している。」

えっ、直接法なのに累計額??

ここでの累計額は勘定科目ではなく事実としての金額を記しているだけです。あわてないで下さいね。

では、直接法の仕訳です

減価償却費 62,500／建物 4,250,000

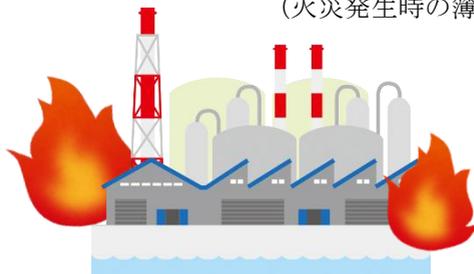
火災未決算 4,187,500

仕訳を分割した方がイメージしやすいかもしれませんね

減価償却費 62,500／建物 62,500（当期の減価分）

火災未決算 4,187,500／建物 4,187,500

（火災発生時の簿価）



そして数日後

佃煮：「おーい、リカ！朗報だ！」

リカ：「馴れ馴れしいわね」

佃煮：「すまんすまん。でもなリカ、保険会社から
4,500,000 円も入金されることになったんだ。来月末だ
がな。ところで・・・」

リカ：「仕訳でしょ。最近仕訳好きね」

佃煮：「もったいぶらずに教えてくれよ」

そして、リカは丁寧にも、もしも 4,000,000 円の評価だ
った場合の解説もはじめた。

★4,500,000 円の場合

未収入金 4,500,000／火災未決算 4,187,500

保険差益 312,500

★4,000,000 円の場合

未収入金 4,000,000／火災未決算 4,187,500

火災損失 187,500

保険差益は特別利益、火災損失も特別損失である

佃煮：「リカさん、本当にありがとう」

リカ：「呼び方をコロコロ変えないで」

佃煮：「ついでにもう一つ教えてくれ。もしも保険に入っ
てなかったら、どうなっていたんだ」

リカ：「簡単よ」

★未確定ではなく損失確定である

減価償却累計額 750,000／建物 5,000,000

減価償却費 62,500

火災損失 4,187,500

佃煮：「保険に入ってよかった！」



⑤ 圧縮記帳

佃煮製作所では、保険で倉庫を買い換えた。

さらに IOT 機能を搭載した物流管理機能も搭載した新倉庫も購入することにした。

AI や IOT には国からの補助金が出るので、早速申請し、運よく採択され 5,000,000 円が入金された。

普通預金 5,000,000 / 国庫補助金受贈益 5,000,000

物流倉庫は 7,000,000 円（残存価額 0、耐用年数 20 年）である。

建物 7,000,000 / 現金 7,000,000

佃煮は喜んだ。

今日はユウカとリカにディナーのごちそうをした。

佃煮の正装姿は久しぶりである。なかなか格好いい。

佃煮：「災い転じて福となす、だな」

ユウカ：「佃煮さん、でも 5,000,000 円の収益があったのなら税金増えるわよ」

佃煮：「えっ、何でや」

リカ：「何で大阪弁なの」

佃煮：「ごめん、昨日のテレビの影響や・・・あれ」

佃煮：「でも経済産業省がくれた 5,000,000 円で 30%の税金 1,500,000 円とられたら、財務省のボロ儲けやないか・・・あれ、まだ大阪弁」

ユウカ：「大丈夫よ、圧縮記帳の手続きをすれば税金は後払いにできるわよ」

佃煮：「方法を教えてくれ」

ユウカ：「かくかくしかじか・・・で仕訳はこうよ」

固定資産圧縮損 5,000,000 / 建物 5,000,000

ユウカ：「これで収益 5,000,000 円と費用 5,000,000 円が相殺できるので、税金はかからないわ」

佃煮：「やった！税金分得した」

リカ：「ちょっと待って、佃煮さん。ユウカさんは後払いついていったのよ」

佃煮：「後払い・・・どういう意味だ」

ユウカ：「じゃあ、表を使って説明するわね。3年の耐用年数の車 900,000 円を補助金 600,000 円で買ってタクシー会社をはじめたケースでいくわね。毎年の売上は 500,000 円という仮定で計算するね」

<圧縮の手続きをした場合>

	1年目	2年目	3年目	合計
売上	500,000	500,000	500,000	1,500,000
受贈益	600,000			600,000
圧縮損	600,000			600,000
減価償却費	100,000	100,000	100,000	300,000
前利益	400,000	400,000	400,000	1,200,000
法人税	120,000	120,000	120,000	360,000
後利益	280,000	280,000	280,000	840,000
車	900,000 → 300,000			



<圧縮の手続きをしなかった場合>

	1年目	2年目	3年目	合計
売上	500,000	500,000	500,000	1,500,000
受贈益	600,000			600,000
圧縮損				
減価償却費	300,000	300,000	300,000	900,000
前利益	800,000	200,000	200,000	1,200,000
法人税	240,000	60,000	60,000	360,000
後利益	560,000	140,000	140,000	840,000
車	900,000			

佃煮：「なんだ、結局一緒か」

ユウカ：「でも、初年度に払う税金に大きな差が出るでしょ。大きな金額だったら金利もばかにならないわ」

佃煮：「なるほど、じゃあ早速手続きを頼む」

ユウカ：「はい、手数料は 30,000 円ね」

佃煮：「厳しい！」

リカ：「ユウカさん、さすが！」



CHAPTER09 リース会計

大国重工のシステム入れ替えにリース契約物件がありました。

ここでは、企業取引に必須のリース会計の処理を確認しましょう。

リカ：「財後部長、リース契約は大国リースということで良かったですか」

財後：「そうですね。当社では製造は完全内製化、金融取引は子会社との取引という原則があるので、それでお願いします。ただ大国リースはいわゆる大企業で営業的に問題あるケースもあります。何かあったら私に話してください」

リカは、「どんな問題があるのだろうか？」と少し不安になったが、財後部長がいればと不安を打ち消した。

ここで、リース物件の内容を確認しておこう。

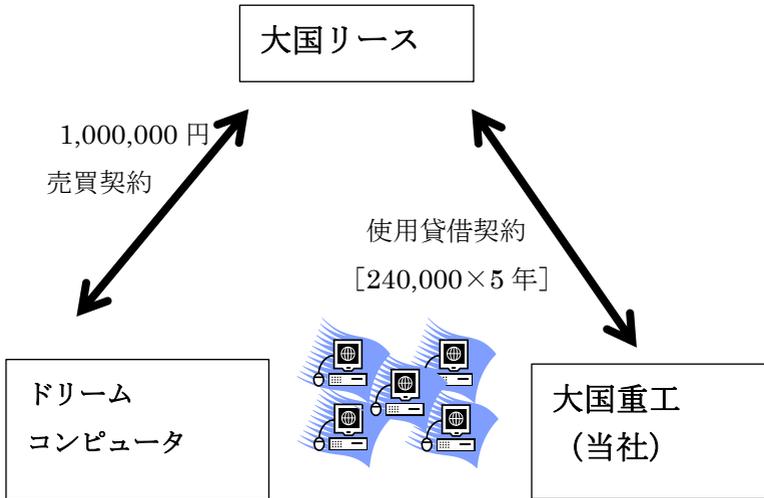
	取得原価 (単価)	備考
クライアント	200,000 ×5 台	リースで購入

ここで弥生カレッジの社長に登場してもらおう。彼は大学を卒業後に日本信販の子会社に入社しクレジットカード営業を担当した。翌年には親会社へ出向しオートローン・事務機リースなどを担当した。

リース取引のイメージを語ってもらおう。



<リース取引はクレジットと同じ！3者間契約>



当社（大国重工）の処理

- ① ファイナンスリースとオペレーティングリース
（金融取引） （レンタル取引≒通常は短期）

ファイナンスリース→解約不能&フルペイアウトの2要件

※フルペイアウト→収益も費用も自社に帰属
ならば売買契約と同じ→会計処理は固定資産の割賦
購入に準ずる

2 要件を書かせる問題はたぶん出ません。出るとしたら
穴埋めか問題文の指示くらいでしょう。

② オペレーティングリース（レンタル的なイメージ）

<例>21,600 円のリース料金を支払った。なお、当社は
仕訳の都度消費税を計上している。

支払リース料 20,000 / 現預金 21,600

仮払消費税 1,600

※支払リース料は販売管理費

財後：「リカさん、うちの経理の速田さんを紹介します。
これから P C 関連の経理処理の方法を教えてあげてく
ださい」

速田：「はじめまして。よろしくお願ひします」

リカ：「速田さんですか。こちらこそよろしくお願ひしま
す」

速田：「早速ですが、今回は利子抜き、利子込どちらで処理すればいいんでしょうか」

リカ：「今回は契約書をみると解約時に残金を一括精算するようになってます。会計的にはこの内容は解約不能扱いになります。またこのPCに関する費用は貴社がすべて負担することになり、シミュレーションの結果収益が増加した場合も全額貴社が受け取る形になるので売買契約と同じになります」

速田：「わかりました。じゃあ、いつも割賦で購入している場合と同じ処理をすればいいんですね。えーと、備品 1,000,000 / 未払金 1,000,000 でしょうか？」

リカ：「たぶんそれでいいと思います。でも念のため当社の顧問税理士に確認しておきます」

速田：「お願いします。当社の顧問税理士は偉い先生らしくて、正直質問しにくいんです」

リカ：「よく聞く話ですね。わかりました、私が確認しておきます。」

というわけで、リカはユウカに連絡した。そして後日。

ユウカ：「ファイナンスリースの処理ね。わかった。じゃあ、説明するね」

備品(固定資産)1,000,000／未払金(流動負債)1,000,000
でもいいが、5年間にわたるのであれば、固定負債になります。そこで貸方はリース債務を使います。

また、通常の購入資産と区別するために備品ではなくリース資産(固定資産)を使用します(指示があれば備品を使うこともあります)。

リース資産 1,000,000／リース債務 1,000,000

ユウカ:「実務では月払いが多いけど、簿記の試験では年払いになるわね。月払いだと計算が大変だからね」

タイムテーブルで確認しよう

(5年リース：後払い：年額 240,000)

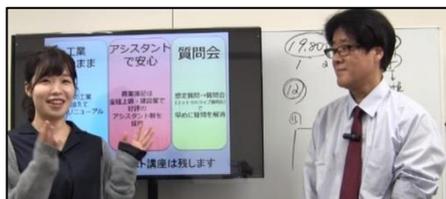
	1年	2年	3年	4年	5年
契約	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000

<1,000,000>

支払総額は 1,200,000 (240,000×5=1,200,000)

差額の 200,000 円は利息と考えることができます。

では契約時から支払時の会計処理を確認しましょう。日商簿記2級では利子込法と利子抜き法があります。試験では利子抜き法が中心になると思われます。まずは利子抜き法から参りましょう。



<利子抜き法>

元金 200,000 + 金利 40,000

40,000
200,000
40,000
200,000
40,000
200,000
40,000
200,000
40,000
200,000

<契約日の仕訳>		
リース資産	／	リース債務
1,000,000		1,000,000



40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
200,000	200,00	200,00	200,00	200,00

<支払時の仕訳>

リース債務 200,000 / 現預金 240,000

支払利息 40,000

<決算時の仕訳>

残存価額 0、(リース期間での) 定額法とする

減価償却費 200,000/リース資産減価償却累計額 200,000

佃煮：「ちょっと失礼するよ」

リカ：「何？急に」

佃煮：「都合よく 4 月 1 日（期首）に契約するとは限ら
んだらう。簿記のテキストは都合のいいケースが多すぎ
る。現実はそんなに甘くないんだ。下町の工場を甘く見
るな！」

リカ：「何おこってるの」

佃煮：「いや・・・昨日注文がキャンセルになったんだ。
自分の都合ばかり言うので、ちょっと・・・」

リカ：「ふーん、まあいいや。でも確かに、7 月 1 日に
契約したらどうなるんだらう」

ユウカ：「あまり難しく考えないでね。銀行から借りて P
C を買ったと考えればいいの。じゃあ、説明するね」



ユウカ：「利子抜き法はこれで終わり。次は利子込法ね」

リカ：「まだあるの？難しそうね」

ユウカ：「実は簡単よ。支払利息は一切出てこないから、本当に簡単よ。じゃあ確認してみましょう」

1. 契約時 (7/1)

リース資産 1,200,000 / リース債務 1,200,000

2. 決算時 (3/31)

減価償却費 180,000 / リース資産減価償却累計額
180,000

※減価償却の月割計算に注意

※利子込なので未払利息の計上もありません

3. 支払時 (6/30)

リース債務 240,000 / 現金預金 240,000

リカ：「本当ですね。支払利息の計算や再振替がない分楽ですね」

ユウカ：「じゃあ、日商簿記2級の本試験での問われ方に行きましょう」

(1) CMC 商事株式会社は当期首に下記の条件によって大阪リース株式会社とコピー機のリース契約を結んだ。なお、このリース取引は解約不能かつフルペイアウトの取引である。リース期間 5 年間
 リース料 年額 ¥55,000 (毎年 3 月末日払い) リース資産の見積現金購入価額 ¥245,000 (2) 3 月 31 日、CMC 商事株式会社は 1 回目のリース料を契約どおりに小切手を振り出して支払った。また、本日決算日にあたり、コピー機は耐用年数 5 年、残存価額ゼロとして定額法で減価償却を行う。なお、リース料に含まれている利息は每期均等額を費用として処理する。

	科目	金額	科目	金額
(1)	リース資産	245,000	リース債務	245,000
(2)	リース債務	49,000	当座預金	55,000
	支払利息	6,000		
	減価償却費	49,000	リース減価償却累計額	49,000

※見積現金購入価額が問題分にある場合は、それを使用します

<メモ>

CHAPTER10 研究開発費と無形固定資産

佃煮製作所と大国重工の「空飛ぶ自動車」YUMEBUTAIプロジェクトは、佃煮寛にとって人生をかけたチャレンジである。

彼は学生時代にみたドラマで愛野喜一郎の研究者としての生き様に感銘し、「自分でも世の中の役に立つモノ造りをしたい」と決心し、大学では機械工学科、最初に入社した会社は愛野自動車であった。しかしリーマンショックの余波を受け業績は大きく低迷。当時企画部長を務めていた佃煮は責任を取って退社したのであった。

佃煮：「どうだ、俺の人生もなかなかのものだろう」

リカ：「佃煮さんに、そんな歴史があったなんて。見直したわ」

佃煮：「当たり前だ、見直させるためにこの話をしたんだからな・・・ハッハッハ」

リカ：「話はわかるけど、YUMEBUTAIはどうなの」

佃煮：「それが、限られた予算の中で他の車と接触しない技術、要は安全性の問題だな。ここに苦心しているんだ。あー、研究開発の予算がもう少しあればなあ」

リカ：「仕訳好きの佃煮さん、研究開発のために買った

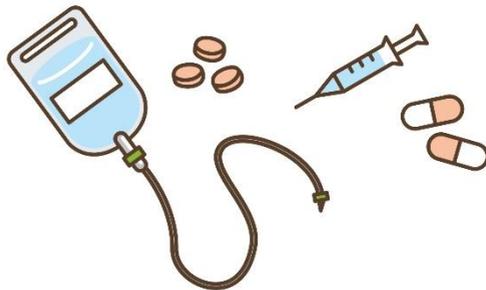
1,000,000 円の固定資産って経費になると思う」

佃煮：「当然だろ。減価償却も習ったんだ。バカにするなよ・購入時に固定資産で処理して耐用年数で減価償却費に計上するに決まっているよ」

リカ：「佃煮さんの関わった研究って、全部ものになった？」

佃煮：「いやなことを聞く女だな！ものになってれば、こんなに苦しい生活していないよ」

リカ：「でしょ、研究開発って成果が確実なるかどうかわからないものが多いよね。たとえば製薬メーカーの治療薬の基礎研究とか・・・」



佃煮：「そうだな」

リカ：「資産に計上できるものは、将来の収益に計上できることが、ほぼ確実なものなの」

佃煮：「そうなのか、じゃあ研究開発段階でかかった費用は全部経費になるのか」

リカ：「細かいことは公認会計士に確認する必要があるけれど、日商簿記2級ではそう考えて問題ないわ。」

佃煮：「じゃあ、節税できるな！」

リカ：「税法では、固定資産に計上して減価償却するようよ。だから節税にはならないの」

佃煮：「えっ、じゃあ研究開発で1,000万の経費を使って赤字になっても、節税にならないってのか！
OhMyGod!」

リカ：「あいかわらず大げさね。でも会計と税法では目的が違うので仕方がないわね」

ここでユウカに登場してもらおう

ユウカ：「じゃあ研究開発費の講座！いきます」



① 研究開発費

これは試験での問われ方を参考にしてもらいましょう。そのほうがわかりやすいと思います。

研究開発部門を拡張することになったため、実験専用の機器を追加購入し、代金¥800,000は小切手を振り出して支払った。また、研究開発のみの目的で使用するために備品¥500,000も購入し、代金は翌月末払いとした。さらに、研究開発部門で働く研究員への今月分の給料及び諸手当¥550,000を現金で支払った。

科目	金額	科目	金額
研究開発費	1,850,000	当座預金	800,000
		未払金	500,000
		現金	550,000



研究開発に従事している従業員の給料¥450,000 および特定の研究開発にのみ使用する目的で購入した機械装置の代金¥6,000,000 を当座預金口座から振り込んで支払った。

科目	金額	科目	金額
研究開発費	6,450,000	当座預金	6,450,000

佃煮：「とにかく研究開発とあったら研究開発費にすればいいんだな。簡単だ！OK！でも税金も安くしてくれ！」



② 無形固定資産

研究開発の結果、製品化が実現。でも競合他社にまねされないようにする必要があります。知財戦略です。特許権・商標権・意匠権など、形はないけれど収益に貢献することは間違いありません。これを無形固定資産といい、収益に貢献する年数（有形固定資産の耐用年数と同じようなもの）で償却していきます。

ただ、償却の方法は決まっています。

・残存価額0

権利期間が法律などで決まっているので、経過後は価値がなくなります

・直接法

間接法は取得価額がBSに計上されます。あれは、買換え時の価額を投資家に示すためらしいです（本当かな・・・とも思うのですが）

無形固定資産は買換えという概念がないので直接法で処理をします。

・定額法

これは何ででしょうね？よくわかりませんが・・・
修繕費という概念がないからかもしれません。

リカ：「ねえ、ねえ寛さん。定額法と定率法はどちらが定額かわかる？」

佃煮：「俺は理系だぞ。ばかにするな」

リカ：「定額法だと思うでしょ。それが違うんだな」

佃煮：「どういうことだ」

リカは次の表を示した。

100,000 円（残存 10%）定率法償却率 53.6%

<定額法>

償却費	30,000	30,000	30,000
修繕費	0	20,000	40,000
合計	30,000	50,000	70,000

<定率法>

償却費	53,600	24,870	11,540
修繕費	0	20,000	40,000
合計	53,600	44,870	51,540

リカ：「普通は、長く使えば修繕にかかる費用も増えるよね」

佃煮：「なるほど、固定資産全体にかかる経費は定率法の法が平準化されるんだな。よくわかった。」

リカ：「でも、長く使っても修繕費のかからないようなものは定額法の方がいいわよね。無形固定資産はその代表例ね」

③ ソフトウェア

弥生会計・勘定奉行・Excel・・・最近はどここの会社もソフトウェアを使用しています。ソフトウェアも無形固定資産に該当します。

有形固定資産で自社社屋を建設（業者に建ててもらう）する場合完成するまでは建設仮勘定で処理しました。



建設仮勘定！
覚えているか？

では、無形固定資産の償却とソフトウェアの問題を続けて解いてみましょう。

社内利用目的のソフトウェアの開発を外部に依頼し、4回均等分割支払いの条件で契約総額¥50,000,000の全額を未払計上し、3回分をすでに支払っていた。本日、このソフトウェアの制作が完成し使用を開始したため、ソフトウェアの勘定に振り替えるとともに、最終回（第4回目）の支払いを普通預金から行った。

科目	金額	科目	金額
ソフトウェア	50,000,000	ソフトウェア 仮勘定	50,000,000
未払金	12,500,000	普通預金	12,500,000

決算整理前残高試算表における商標権の残高は400,000円である。

商標権は平成20年4月1日に取得したものであり、定額法により10年間で償却している。

平成23年3月末の決算仕訳を行いなさい。

科目	金額	科目	金額
商標権償却	50,000	商標権	50,000

※直接法なので、決算整理前残高試算表（前T／B）の残高は過去の償却後の残高である。

従って、残りの年数（8年）で400,000円を0（残存価額）円にするためには $400,000 \div 8 = 50,000$ 円とすることが必要である。

間違っても、 $400,000 \div 10 = 40,000$ 円としないように！



CHAPTER11 有価証券 1

佃煮寛は研究開発の予算に頭を悩ませていた。そんな折の平成 31 年正月にTVで「下町ロケット」の特別SPをみた。そして、「やはり最後には正義が勝つんだ。神様はやっぱり見ているんだな」と思った。

そして、「神様がいるのなら、俺の研究は成功するはずだ。ということは、予算をギャンブルで捻出しても大丈夫。確かプロゴルファーの青木功さんも、競輪でプロテストの受験代を稼いだとってたな」と自分勝手な解釈をしたのであった。

そしてリカに相談したのである。

リカ：「ちょっと待って。株ってこわいのよ。リーマンショックのように1企業が原因で一気に財産をなくすこともあるのよ」

佃煮：「大丈夫だ。何ととっても俺には神様がついているからな」

リカ：「思い込んだら、引かない人ね。わかった。でも無理しないようにしてね。結婚資金の貯金は取り崩したくないから」

ユウカ：「えっ、いつの間に」

リカ：「エッ、ユウカさん、いつから覗き見を・・・」

佃煮：「キャラかわってきたな」

ユウカ：「そんなことはありません」（キッパリ）

リカ：「でも丁度よかったわ。ユウカさん、株式投資のコツを教えてあげてほしいの」

ユウカ：「じゃあ、ひさしぶりに石川証券の石田遼君に話をきけば」

そして、いつもさわやかな石田遼君が説明にやってきた。

石田：「佃煮さん、法人が株式や社債に投資するのは何らかの目的があつてのことなんです」

佃煮：「わかっているよ。俺はてっとり早くお金を増やしたいんだ。俺の夢がかかっているからな」

石田：「ということは短期投資が目的ですね。これは会計的には売買目的有価証券といいます。簿記の試験では、売買が目的と指示してくれますよ」

佃煮：「君、簿記の勉強しているのか」

石田：「証券会社の営業マンですからね。一応日商簿記1級の勉強しています」

リカ：「本当、じゃあ、私も一緒に聞かせて」

石田：「わかりました。じゃあ、今日は短期利益を目的とした株式や社債の会計処理の勉強を、次回はそれ以外の目的の説明をしましょう」

佃煮は、「投資の勉強が簿記の勉強にかわってしまった・・・」と思いつつ、リカと一緒に勉強できるのなら、と思いつくことにした。ああ、佃煮の予算にかける思いはこの程度だったのか・・・

では、石田君のレクチャーをまとめてみよう。

① 有価証券の種類

株式・社債・国債など
試験では株式か社債でしょう



石田君です

② 会計上の分類（目的別）

目的	勘定科目
短期的利益の獲得	売買目的有価証券
満期まで保有が目的	満期保有目的債権
支配などが目的	関係会社株式
上記以外の目的	その他有価証券

※株式に満期はありません

※支配目的は株式のみです

※売買目的・その他の目的は株式も社債もあり
では、今回は売買目的有価証券を確認しましょう。
社債の利息受取以外は、有形固定資産と同じ処理です

① 購入時の処理（付随費用）

★大国重工の株を売買目的で 10,000 円で買った。
なお証券会社への手数料 500 円と同時に小切手で
支払った。

売買目的有価証券 10,500 / 当座預金 10,500

★大国重工の社債（一口）100 円を 100 口で購入
し、手数料 500 円とともに他人振出の小切手で支
払った。

売買目的有価証券 10,500 / 現金 10,500

※手数料は有価証券の購入代価に含めます

② 売却時の処理

単純な売却処理は簡単です

差額を売却損益にするだけです

ここでは、2回に分けて買った場合を解説しましょう。

大国重工の株式 500 株を 1,000 円で売却し、代金を来月末に受け取ることにした。証券会社への手数料 1,000 円は現金で支払った。なお、この株式は当期中に 2 回に分けて下記の金額で購入している。当社では有価証券の売却単価は平均原価法で計算している。

1 回目：300 株 360,000 円

2 回目：500 株 520,000 円

平均単価 = $880,000 / 800 = 1,100$

売却時の帳簿価額 @ $1,100 \times 500 = 550,000$

未収入金 500,000 / 売買目的有価証券 550,000

有価証券売却損 50,000

支払手数料 1,000 / 現金 1,000

※支払手数料を有価証券売却損に含めることもできます。

※1,200 円で売却したときの仕訳で、科目の選択肢に支払手数料がなかった場合を考えてみよう。

未収入金 600,000 / 売買目的有価証券 550,000
有価証券売却益 49,000
現金 1,000

有価証券売却益 50,000 円と支払手数料 1,000 円を相殺する形になります。



③ 配当を受け取った時の処理（株式のみ）

配当は株主が利益の分配としてうけとるものです（CHAPTER03 参照）従って、社債の問題で配当はありえません。

配当金領収書が株主総会后に送られてきます。覚えているでしょうか。配当金領収書は銀行に持参すれば換金できるので通貨代用証券でしたね。

では、例題です。

<例題>

大国重工で株主総会が行われ、1株につき30円の配当が支払われることになり、本日配当金領収書を受領した。なお、当社は大国重工の株式を100株保持している。

現金 3,000 / 受取配当金 3,000

④ 利息を受け取った時の処理（社債のみ）

では、社債を持っている人から「俺たちには配当はないのか？」と文句が出たら・・・

「いえいえ大丈夫です。社債は発行会社にとっては借金ですから金利をはらってもらうことができます」

では、例題です。

<例題>

当社は大国重工株式会社が発行した社債（額面総額：¥1,000,000、期間：5年、利率：1.825%、利払日：毎年3月および9月末）を持っており、本日9月末の利払日を迎えた。なお、利息は日割り計算とし、当社はこの社債を1年前から保有している。

利息の計算（ $30+31+30+31+31+30=183$ 日）

$1,000,000 \times 1.825\% \times 183 / 365 = 9,150$

現金 9,150 / 有価証券利息 9,150

※社債にはあらかじめ利札がついており、利払い

日以降に銀行に持参すれば換金可能である。期限到来後の社債利札があれば、上記の仕訳が必要になります。

<p style="text-align: center;">株式会社弥生トレーディング 無担保社債券</p> <p style="text-align: center;">¥1,000,000 金壹百万円 壹百万円</p> <p style="text-align: center;">利率 3%</p> <p style="text-align: center;">償還期間 2018年3月31日 利払日 3月末日</p> <p style="text-align: center;">東京都城西市弥生町1-8-15 株式会社弥生トレーディング 代表取締役 横山八重</p>		
<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券</p>	<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金 30,000円 2018年3月31日 5回</p>	<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金 30,000円 2017年3月31日 4回</p>
<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金 30,000円 2016年3月31日 3回</p>	<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金 30,000円 2015年3月31日 2回</p>	<p>株式会社弥生トレーディング 無担保社債券 金壹百万円利札 金 30,000円 2014年3月31日 1回</p>

こんなイメージです

⑤ 端数利息の処理

では、社債の処理で一番難しいとされている端数利息の処理に入りましょう。

今日は6月30日

佃煮：「財後部長から話を聞いてさあ、結構いい金利らしいんで・・大国重工の社債を購入することにしたんだよ。」

リカ：「へえー、金利は何%？」

佃煮：「1.825%、金利はそんなに高くないけど1,000,000円の社債を980,000円で購入できるので結果的には高い金利と同じ扱いになるんだよ。すでに発行済みの分だから証券会社に頼んで売手がみつかったから今日手続きするんだ。石田・・・それで・・・お願いがあるんだけど・・・例の結婚資金の貯金からお金貸してくんない」

リカ：「えっ、それをあてにしていたの。でもお金が増えるのならOKね。じゃあ980,000円でいいの」

佃煮：「いや、もともと他の人がもっていた社債なんで、今日までのその人の金利もあわせて払う必要があるらしいんだ」

リカ：「そうか、利息は9月末に寛さんが全額受け取るから立替払いするわけね。じゃあ、その金額も計算しておいてね」

佃煮：「合点だ！」



金利の計算をしてみよう。金利は額面金額をもとに計算します。従って

$$1,000,000 \times 1.825\% \times 91/365 = 4,550 \text{ 円}$$

(4,5,6月で91日分)

仕訳もしてみよう。現金で払ったという前提でいきます。

売買目的有価証券 980,000 / 現金 984,550
有価証券利息 4,550

佃煮：「みんな、わかったか！じゃあ、追加の問題だ。この社債を売った人の仕訳も考えてみてくれ」

佃煮のえらそうな問いかけはお詫びします。でも、確かに鋭い指摘ですね。では、売った人の有価証券勘定の簿価が 990,000 円だったという前提で考えてみましょう。

現金 984,550 / 売買目的有価証券 990,000
有価証券売却損 10,000 / 有価証券利息 4,550

では、本試験の問われ方！やってみましょう。

佃煮商事株式会社が発行した社債（額面総額：
¥100,000,000、期間：5年、利率：1.825%、利払日：
毎年3月および9月末）を5月31日に額面@¥100
につき¥98で取得した。代金は端数利息とともに当
座預金から証券会社の指定する口座に振り込んだ。
当社はこの社債を満期日に償還されるまで保有する
予定である。なお、端数利息は1年を365日とする
日割計算によることとするが、購入日は含めない。

金額	科目	金額	科目
満期保有目的債券	98,000,000	当座預金	98,300,000
有価証券利息	300,000		



金利計算
購入日
含めるなよ！

<メモ>

CHAPTER12 有価証券 2

佃煮：「石田君、今日もレクチャーの続きか。ありがたい。ギャンブルよりも確実に増やすという目的もありかもしれんな」

石田：「それなら社債がおすすめです。満期まで保有するのなら元本割れはなく、銀行よりも金利はいいですから。低金利でも1億円あずければそこそこ儲かりますよ」

佃煮：「1億!!!無理に決まってるやろ」

石田：「すみません。でも儲かったら是非当社から買ってください。ところで、簿記の話しの続きです。売買目的、満期保有目的・・・他にも目的ありましたね」

佃煮：「支配目的か、これは子会社のことか」

石田：「そうです。株式には議決権という権利があります。全議決権の過半数を保有すると株主総会を多数決で勝てますね。これが支配です。この場合の株式のことを子会社株式といいます」

佃煮：「以前にライトドアがセカイ放送の株を買い占めた時に20%保有とかいってたけど」

石田：「よく知ってますね」

佃煮：「俺の友人がライトドアの株を買ってたからな」

石田：「ある会社の20%以上の議決権をもつと関連会社

になるんですね。20%の株式をもつと関連会社の利益のうちの20%を自分の会社の利益にできるんです。でもこれは1級の論点だからここでは触れません」

佃煮：「あとその他の目的っていうのもあったな」

石田：「佃煮さん、銀行から借入するときに株を買ってくれといわれたことないですか？」

佃煮：「あるあるだ。付き合いで買ってくれといわれたよ」

石田：「これって、満期保有目的でも、支配目的でもないですよね」

佃煮：「そうだな、あえていうと借入目的だな」

石田：「ということは、そう簡単には売れませんね」

佃煮：「そうだな」

石田：「OKです。ここまでの会話で売買目的有価証券以外の日商2級の論点は理解できます。」

ということで、レクチャー内容をまとめてみよう。



★有価証券の期末評価

ユウカとリカの久しぶりの会話

ユウカ：「でも本当に驚いたわ。佃煮さんといつの間に」

リカ：「私も驚いているわ。最初はなんて熱いオヤジ・・・
とっていたけど・・・」

ユウカ：「そうね、そこがあの人のいいところね。ところで、佃煮さんも簿記の勉強しているのね」

リカ：「私と一緒にいたいから・・・って」

ユウカ：「はいはい。でもリカさんは日商 2 級の勉強の進捗具合はどう？」

リカ：「今のところ個別の問題は大丈夫。でも本試験のタイプになると難しく感じるわ」

ユウカ：「本試験の問題を個別にみるとダメよ。試験はトータル 70 点取ればいいのよ。たとえば 150 回の試験で第 2 問だけみると難しく感じると思うわ。でも第 3 問と第 5 問は短時間で 90%は解ける問題ね。だから難しい問題にあったら、その回の他の問題を確認するといいわ。そうすれば自身喪失にはならないでしょう。要は合計で 70 点取ればいいんだから：

リカ：「そうね、有難う。寛さんにも伝えようっと」

ユウカ：「ふー、お熱いことで。じゃあ、ここから有価証券で最も大事な期末評価の説明をするわね」

ということで、ユウカの説明のポイントをまとめてみよう。

① 会計の目的はB/S・P/Lの作成

これは大丈夫ですね。貸借対照表は期末(決算日)の財政状態、損益計算書は当期の経営成績を表す書類でしたね。有価証券は資産です。今売ればいくらになれるのか？そもそもすぐに売れるのか？このような観点で資産の価値を算定し貸借対照表に載せる必要があります。評価が変わると、もちろん差額は利益か損失ですね。では、この観点で順番にみていきましょう。

② 売買目的有価証券の期末評価

売買目的有価証券は、証券会社を通じて「買いたいときに買える、売りたいときに売れる」株や社債のことです。

したがって、期末の金額を時価(≒当日の売買価格)で評価(金額を修正)します。

例題でイメージしてみましよう。

<例題>

決算において、売買目的有価証券の時価は 1,300 円であった。帳簿価額は 1,000 円である。

売買目的有価証券 300 / 有価証券評価益 300

時価が 900 円だった場合はどうなるでしょうか。

有価証券評価損 100 / 売買目的有価証券 100

③ 満期保有目的債券の期末評価

満期保有目的債券は満期まで売らない決心をしている社債（株式は含まれません）です。

売らない決心をしているのだから、時価の変動に一喜一憂しませんね。

従って、原則として購入時の金額のまま据え置きます（評価替えをしない）。

満期まで社債を持つ人の目的は何でしょうか？

佃煮：「金利に決まっているだろう！」



OK 佃煮さん、正解です。

少し考えてみましょう。佃煮製作所が社債を発行することにしました。会議の現場です。

殿丸：「経理部長の立場で話します。今のままでは3か月後に資金不足を生じます」

谷田：「殿丸さん、それを何とかするのが銀行出身の経理部長の仕事じゃないのか」

殿丸：「無理だ。銀行のことわかつちやいない」

佃煮：「もうやめろ！ 仲間で争って何になるんだ。銀行が貸さないのなら自分たちで何とかするしかないだろ！」

谷田：「自分たちって・・・どうするんですか」

殿丸：「ひとつ方法があります」

佃煮：「社債だな・・・」

殿丸：「社長！ 気づいたんですか」

佃煮：「だてに簿記の勉強しちやいないよ」

谷田：「リカさんと会うのが目的だと思っていた」

佃煮：「ばかやろう！ 俺はいつも会社のことだけを考えているんだ（いや嘘かもしれん・・・フフまあ

いいだろう・・俺の青春)」

殿丸：「10,000,000 円を調達しましょう。金利は2%つけましょう」

谷田：「銀行が1%だから買ってくれそうだな」

佃煮：「よし決定だ。殿丸頼む！」

そして2か月、準備万端だったが、日銀の異次元緩和が終了し、金利が上がりだした。

佃煮：「殿丸、銀行金利が3%になったな。佃ブランドをもってしても、2%のままでは誰も社債買ってくれないな。」

殿丸：「社長、割引発行という手があります。9,800,000 円で発行し10,000,000 円満期で支払えば結果的に200,000 円の金利をつけたことになります」

佃煮：「トノ！お前は天才だ！」

この社債の10%をリカの会社も購入しました。佃煮製作所の将来に自分たちの将来もかけたのです。

リカ：「私って健気・・・」



社債の発行は日商簿記1級の範囲です。ここではドリームコンピュータ側の経理処理を確認しましょう。貸借対照表には有価証券の価値を、損益計算書には金利を記載しないとけません。

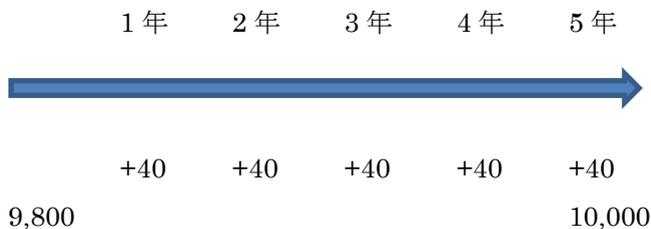
9,800,000 円で購入した満期保有目的債権が 5 年で 10,000,000 円になる。毎年利息をもらう権利はあるが満期日にまとめて+200,000 円で回収できるのだ。差額の 200,000 円を毎年 40,000 円ずつ金利として処理をし、元金に上乗せすればいいだけだ。

仕訳はこうなる。

満期保有目的債券 40,000 / 有価証券利息 40,000

これを 5 年間繰り返すと、満期保有目的債権の帳簿価額は 10,000,000 円になる。OK ですね。

[イメージ]



このイメージは期首に購入したイメージです。
今回の例題では期首購入ではないので、さらに計算が必要です。金利計算なので9か月分の計算が必要です。

7月1日に購入したことから、経過月数は9か月である
ので

$$40 \times 9/12 = 30$$

($200 \times 9 \text{ か月} / 60 \text{ か月} = 30$ という計算でもOKです)

解答です

満期保有目的債券 30 / 有価証券利息 30

いかがでしょうか。少し複雑に感じるかもしれませんが、
結果的には金利計算と同じなんです。

④ 関係会社株式の期末評価

関係会社とは子会社と関連会社の総称です。

いずれも目的は、支配・影響力の行使です。

ということは、「時価があがったから売る」という訳ではないですね。

従って、評価替えはしません（実務では減損という評価替えはありえますが、日商1級の範囲になります）

⑤ その他有価証券の期末評価

では、最後に「その他の目的の有価証券」の話です。

満期保有目的債券は満期まで持ち続けるから、時価があがったからといっても売ることはしません。

同様に関係会社株式も、支配などが目的なので、よほどの理由がなければ売ることはしません。

だから時価での評価替えはしないのですね。

でも、取引先から「今後の取引のためにお互いの株を持ち合おう」といわれた場合の株は、満期保

有や支配目的ではないので、売る可能性は高くなります。でも、めったには売れない。

そこで会計基準を考える偉い人たち（企業会計基準委員会-ASBJ）は考えました。

「すぐに売る可能性は低いから損益計算書には載せられない。でも売るかもしれないから時価評価したい。ならば相手科目を純資産にしよう。」

次ページで売買目的有価証券と比べて説明します。



< 売買目的有価証券の場合 >

簿価 1,000 円の有価証券が期末に 1,200 円になった。

売買目的有価証券 200 / 有価証券評価益 200

その他有価証券では、「有価証券評価益」を損益計算書にのせるわけにはいきません。

その他有価証券 200

／その他有価証券評価差額金 200

その他有価証券評価差額金は純資産の科目です。

後日話をしますが、利益が出たら税金を払う必要があります。売買目的有価証券は時価があがったら利益が出るので税金を支払う必要があります。その他有価証券も、時価があがった場合は税金を支払うのでしょうか。

今払う必要はありません。その他有価証券はすぐに売る可能性は低いのですね。ということは現金

が入ってこないのに税金を払うと、借金をしないと
いけないかもしれません。というわけでその他
有価証券評価差額金には課税されないのです。

資産が 200 円増えるから、そのまま純資産が 200
円増えると考えていいのでしょうか。売れた場合
を想定して 200 円資産が増える。これはいいでし
ょう。

でも売れたら、税金かかる訳だから、例えば税率
30%なら 60 円は税金になります。そこで実際
には下記のような仕訳になります。

その他有価証券 200

／その他有価証券評価差額金 140
未払税金 60

佃煮:「ちょっと待った！未払というのは払うこと
が決まっている場合に使うんだろ。3 級で習っ
たぞ」



そうなんです。さすがに佃煮寛！

まだ利益が確定していないので未払税金は使えません。本当に利益が確定するまで繰り延べるわけです。そこで繰延税金負債という勘定科目を使います。未払い税金を繰り延べておくということです。これは税効果会計で詳しく説明します。イメージだけしておいてください。

佃煮：「著者の横山さんよ、ひとつ質問いいか」

横山：「(えらそうやな) はい」

佃煮：「売らない可能性高いのに時価にするのは違和感ある」

横山：「そうですね。実はとりあえず決算書には売った場合を想定して1,000円を1,200円にしたのですが、可能性としては低いので、翌期にはもとに戻します。これは洗い替えといいます」



<翌期首の処理>

その他有価証券評価差額金 200

／その他有価証券 200

では、その他有価証券の例題を示しておきましょう



<例題>

- ① 決算において CMC 株式会社（その他有価証券）の帳簿価額 3,200 円を時価 3,500 に評価替えする。なお、評価差額は全部純資産直入法によって処理する。

その他有価証券 300

／その他有価証券評価差額金 300

- ② 翌期首の処理を行いなさい

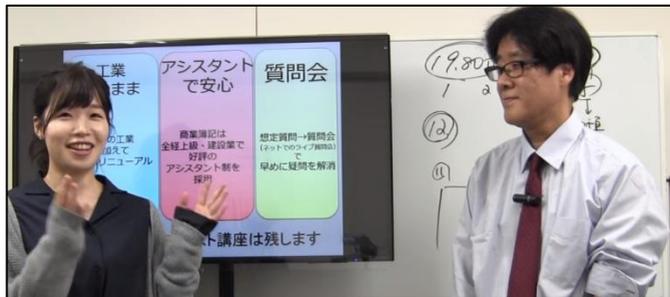
その他有価証券評価差額金 300

／その他有価証券 300

<本試験での問われ方>

今回はありません。もしよかったら 141 回第 2 問をみておいてください。

すごく難問にみえます。でも仕訳だけなら何とかなる可能性があります。一度チャレンジしてください。わからない点は「そこまで質問されて委員会」にぜひお越しくください。



CHAPTER13 引当金

佃煮：「大変だあー！！」

リカ：「どうしたの？」

佃煮：「一難去って、百難だ！ドラマの下町ロケットよりも大変だ」

リカ：「だからどうしたの」

佃煮：「取引先が倒産して売掛金 500,000 円が回収できなくなった。下請先も倒産して貸付金 200,000 円が回収できなくなった。去年販売した保証期間経過直前に壊れて 10 社から修理依頼があり阿部製作所に修理を頼んだら 500,000 円の請求をされたよ。ふんだりけったりだ！この調子だと毎年定期修繕していた機械だけど去年は忙しくて定期修繕できなかったから調子悪くなりそうな予感がする。遅ればせながら修理会社に頼もう。」

リカ：「本当にふんだりけったりね。でも事前にある程度わかっていたんじゃないの？」

佃煮：「なんとなく危なそうだったけど・・・結構樂觀的なんだな、俺・・・ハッハッハ」

リカ：「(こんな人と結婚して大丈夫かしら???)」

佃煮：「お金も大変だけど、今年の決算で一氣に赤字になりそうだよ。去年は黒字だったのに・・・銀行の信用もあ

るしどうしよう」

リカ：「えっ、引当金は設定してなかったの」

佃煮：「だから、俺は楽観的だといっただろう」

リカ：「あきれた。何のために簿記の勉強しているのよ」

佃煮：「おこるなよ。引当金ってどんな時に使うんだっけ」

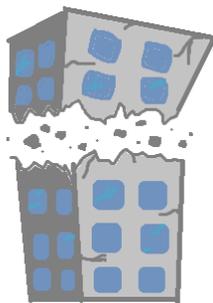
ユウカ：「またまた登場よ。覗いていた訳じゃないわよ。

佃煮さんの大きな声が聞こえたので、で引当金の質問ね？じゃあ、いくわよ」

佃煮：「(やっぱりキャラ変わってきたな) ユウカさん、俺それどころじゃないんだ」

ユウカ：「だめです。この際しっかり勉強しておかなくちゃ、また同じことを繰り返すわよ」

ということで、またまたレクチャーが始まった。確かにレクチャー受けている場合ではないような気がするが・・・



<引当金とは？>

理論的背景を少しだけ説明します。

読み飛ばしてもらっても大丈夫ですが・・・できれば読んでください。

企業会計原則（注解）には、次のように書いています。

企業会計原則注解とは→企業会計原則の特定の項目に関する補足説明や具体的な内容を示しているもの。

将来の特定の費用又は損失であって、その発生が当期以前の事象に起因し、発生の可能性が高く、かつ、その金額を合理的に見積ることができる場合には、当期の負担に属する金額を**当期の費用又は損失として引当金に繰入れ、当該引当金の残高を貸借対照表の負債の部又は資産の部に記載するものとする**。製品保証引当金、売上割戻引当金、返品調整引当金、賞与引当金、工事補償引当金、退職給与引当金、修繕引当金、特別修繕引当金、債務保証損失引当金、損害補償損失引当金、貸倒引当金等がこれに該当する。発生の可能性の低い偶発事象に係る費用又は損失については、引当金を計上することはできない。

注解 18 は強制規定：費用じゃないのに費用
簡単にいうと、引当金とは「当期に帰属する費用または損失の見積もり計上による貸方項目」
P L側からの要請（適正な期間損益計算）なんですね

ちなみに

< 発生の可能性が高い（50%以上）・・・引当金
< 発生した（確定）・・・・・・・・・・未払金

4 つの要件はイメージしておくとう便利かも？

- ① 将来の特定の費用又は損失であること（経済的価値の費消は将来）
- ② その発生が当期以前の事象に起因していること（原因の発生も含む）
- ③ 発生の可能額が高いこと（低いものは偶発債務）
- ④ 金額を合理的に見積もることができること

< 分類 >

評価性引当金（貸倒引当金）
負債性引当金（商品保証引当金・退職給付引当金・賞与引当金・売上割戻引当金・返品調整引当金・修繕引当金）

では、順番に確認してみましょう。

引当金は

- ① 前期の処理
- ② 当期の処理

にわけて考えると理解が深まります

貸倒引当金でイメージすると、他の引当金もおなじであることがわかります。

★貸倒引当金（3級で学び済みですね）

- ① 前期の処理

A社・B社・C社に 500,000 円で販売、300,000 円は手形で受取り、残額は掛けとした。

売掛金 200,000 / 売上 500,000

受取手形 300,000

過去の傾向から 5%は貸倒れる可能性があるのであらかじめ費用（損失）を計上しておく。要は当期の売上に対応する費用として貸倒をあらかじめ

費用として処理しておくのですね。

貸倒引当金繰入額 25,000／貸倒引当金 25,000

② 当期の処理

<例 1>引当金の範囲内で貸倒れた場合

A社の 10,000 円の手形が不渡りとなり回収不能になった。

貸倒引当金 10,000／受取手形 10,000

<例 2>引当金の範囲を超えて貸倒れた場合

B社の 60,000 円の手形が不渡りとなり回収不能になった。

貸倒引当金 10,000／受取手形 60,000

貸倒損失 50,000

引当（見込み）が甘かったんですね。なので、前期の売上に対する費用（損失）ですが、当期の損失で処理するしかありませんね。

佃煮：「売掛金の件はわかった。じゃあ、下請けに貸していた貸付金の分はどうするんだ」

いい質問です



佃煮：「いや、ほめられると照れるな・・・」

なるほど、偉そうな佃煮攻略法はこれですね・・・

※原則として、売上債権（売掛金・受取手形）の場合の貸倒引当金繰入額は販売管理費に、その他の債権の場合の繰入額は営業外費用に記入します。第5問で損益計算書の問題が出題された場合は注意してください。

ちなみに3級で学んだ「償却債権取立益」営業外収益になります。

★賞与引当金

前期の話をしましよう

決算 (3月末)

7月支給



1月から6月の査定で7月に支給予定

3月末段階では10人の社員の査定は2,000,000円

ということは、当期（今期からみれば前期ですが）の分
は $2,000,000 \times 3/6 = 1,000,000$

① 前期の処理

賞与引当金繰入 1,000,000 / 賞与引当金 1,000,000

② 当期の処理

実際にはさらに頑張って 2,200,000円だった

賞与引当金 2,000,000 / 現金 2,200,000

賞与 1,200,000

考え方は貸倒引当金と同じですね

★修繕引当金

佃煮製作所では、忙しかったので毎年定期修繕していた機械の修繕を翌期にまわしていた。

① 前期の処理

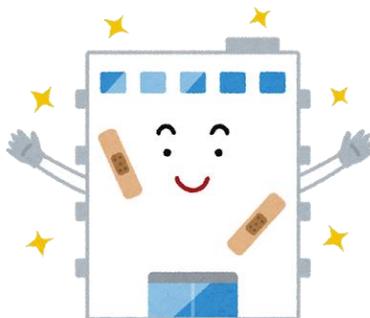
修繕引当金繰入 100,000 / 修繕引当金 100,000

② 当期の処理

実際には 120,000 円かかった

修繕引当金 100,000 / 現金 120,000

修繕費 20,000



★商品（製品）保証引当金

佃煮製作所では「アットいうまに佃煮」という画期的製品を出荷している。保証期間は1年で、毎年平均的に100台出荷すると2台くらいは1年以内に不具合が出る。



佃煮さん、目標は0台だ！



わかっているよ！来年は達成するぜ！

① 前期の処理

販売した100台分の10,000,000円の3%の無償保証を見込んで引当金を設定する

製品保証引当金繰入 300,000

／製品保証引当金 300,000

② 当期の処理

10 台の不具合が発生し、阿部製作所に依頼修理してもらい、500,000 円の請求書がきた。



製品保証引当金 300,000

製品保証費 200,000 / 買掛金 500,000

※150 回の試験では、営業取引の後払いとして未払金ではなく買掛金で答える問題が出た。今後も注意が必要ですね。

引当金は本試験タイプの例題を解けば、十分に得点源になります。特に貸倒引当金や修繕引当金は少し難易度をあげてきます。以下の例題を解けるようにしておいてください。

<例題>貸倒引当金

決算において、売掛金の期末残高 9,800 円に対し、下記のように貸倒引当金を設定する。

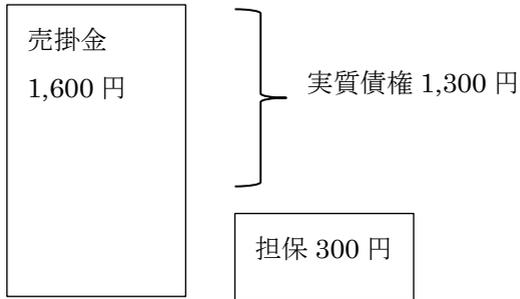
なお、貸倒引当金の期末残高は 114 円である。

①X社に対する売掛金 1,600 円については、債権額から担保処分見込額 300 円を控除した残高に対して 50%を貸倒引当金として設定する。

②Y社に対する売掛金 2,000 円については、債権額の 3%貸倒引当金として設定する。

③ その他の売掛金に対しては、貸倒実績率 2%として貸倒引当金を設定する。

< X社の考え方 >



① $(1,600 - 300) \times 50\% = 650$

② $2,000 \times 3\% = 60$

③ $(9,800 - 1,600 - 2,000) \times 2\% = 124$

貸倒引当金合計 $650 + 60 + 124 = 834$

貸倒引当金繰入 $834 - 114$ (前期残) $= 720$

貸倒引当金繰入 720 / 貸倒引当金 720

<例題>修繕引当金

建物の定期修繕と改良を行い、4,500 円を現金で支払った。このうち、2,500 円の支出は耐用年数を延長する効果があった。なお、修繕引当金の残高は 1,200 である。

建物	2,500	現金	4,500
修繕引当金	1,200		
修繕費	800		

※資本的支出でよく使われる言葉は
改良・増築などです。注意してください。



そうか、繰入を
しておくと節税
にもなるんだな

ユウカ：「佃煮さん、引当金は会社で見積もるものだから税法では貸倒引当金と返品調整引当金の 2 種類しか認められていないんです。」

佃煮：「なんじゃあ、そりゃあー」

CHAPTER14 サービス業の処理

佃煮を襲った数々の引当金試練、しかし購入した株で短期資金を獲得し何とか乗り越えたようである。

「ふふっ、俺ってギャンブル強い」とご満悦の様子。仕事に対するモチベーションもUP中である。



引当不足になんか負けないぜ！

そして、全従業員に号令した。

「俺はこの3日間、考えに考え抜いた。モノヅクリは大事だ。でもそれだけでは限界もある。これからの佃煮製作所はサービスの有料化に取り組む」

営業部長の谷田は驚いた！「社長、他社はサービスを無料で行っているんです。そんなことしたら逆風が吹きます」

佃煮：「最初からあきらめたらダメだ。Ｑちゃん（注：シドニー五輪で金メダルを取った高橋尚子選手）もいってるだろう」



あきらめなければ夢はかなう！

谷田：「しかし社長、販売数が落ち込んだらどうするんですか？」

佃煮：「大丈夫だ、3日間 Excel と格闘して最適な売値を突き止めた。ひとり A I だけ！ライバルの佃煮万歳（嫌な名前だな）は 95,000 円だが原価はきっと 30,000 円代のはず。貢献利益は 65,000 円だ。市場の規模を考えると 1,000 台は売っているだろう。すると 6,500 万円。固定費は 2,000 万円くらいだろう。ということは 4,500 万円利益だ。このうち 2,000 万をサービスにあてているに違いない」

谷田：「社長！感動しました。さすがにリケダンです」

佃煮：「おだてるなよ。でもなあ、みんな。これっておかしくないか？だったら 75,000 円で売れよ！サービスの必要のない顧客にまでサービス代金を負担させている

んだぜ。保険の世界でも無事故割引ってあるんだ。製造業もその考えを持つことが必要なんだ」

社長！社長！

佃煮と社員が一体になった瞬間だった。

この話をリカとユウカにすると

リカ：「感動的ね。まるでテレビドラマだわ。」

ユウカ：「でも、佃煮さんの話も一理あるわね。これからは低価格で販売した商品に、サービスメニューを細分化して顧客の望むレベルのサービス体系にした方がいいかもしれないわ。例えば弥生カレッジの業務システムのサポートサービスのようにすればいいと思うわ。横山社長は、いつも価格に説得力を！といってるわ」

佃煮：「そうか、そんな人がいるんだ。一度会いたいものだな」

リカ：「でもサービスを有料化にすると、経理処理はどうなるの」

ユウカ：「ある程度の規模になると通常の売上と分けて管理する必要があるわね。今から説明するけど2人とも

時間は大丈夫？」

佃煮・リカ：「OK！」



では、ユウカの説明を聞いてみよう

★日商簿記試験では論点は2点だけ

① 継続的なサービスをイメージしよう

日商簿記では、「決算時に計上できる収益の金額と、原価の金額」が問われます。そのためには継続的なサービスでなければ問題が作れません。

そこだけ押さえればいいでしょう。

<例題>

2月1日、CMCは佃煮商事に2月1日日商簿記パーフェクトセットを12,000円で販売した。受講期間（サービス提供期間）は6か月である。

現金 12,000 / 前受金 12,000

講師担当の松坂優花に6,000円を支払した

前払金 6,000 / 現金 6,000



ちょっと待った！
簿記の本では仕掛
品になってるぞ！

えーっ！ 仕掛品！

ユウカ：「そうなんです。このケースの前払いを仕掛品で処理しているケースなんて見たことないんですけどね。でも試験は試験・・仕方ないわね。実務に近づける努力をしている日商さん、頑張っ
てね」

最近、皮肉もいうようになってきたユウカである・

弥生カレッジ横山：「日商さん、これは俺がいつてるのではないよ。ユウカの独走です」

ユウカ：「横山社長！セコイ」

では、再度仕訳を

仕掛品 6,000／現金 6,000



② 収益と費用を対応させる必要あり

商品販売でも、シークリクリシーで収益と費用を対応させました。サービス収益（役務収益といいます）とサービス原価（役務原価）も対応させる必要があります。

3.31日、CMCでは決算に当たり役務収益と役務原価を計上した。

前受金 4,000／役務収益 4,000

役務原価 2,000／仕掛品 2,000

これだけわかれば十分です。

では、本試験での問われ方いきましょう

顧客に対するサービス提供が完了したため、契約額 ¥500,000（支払は翌月末）を収益に計上した。これに伴い、それまでに仕掛品に計上されていた諸費用 ¥170,000 と追加で発注した外注費 ¥80,000（支払は翌月 25 日）との合計額を原価に計上した。

科目	金額	科目	金額
売掛金	500,000	役務収益	500,000
役務原価	250,000	仕掛品	170,000
		買掛金	80,000

この後は、サンプル問題を解いていただきます。
問題は日商のホームページからダウンロードしてください。

動画は切り替えて、サンプル問題解説をみて頂きます。



横山！
手抜くなよ！

いやいや
難しい言い回しは2回ほどした
方がいいんです。



CHAPTER15 外貨建て取引

佃煮：「おーい、リカさん」

リカ：「(何かしら、さんづけの時は絶対に魂胆あるんだから) なに？」

佃煮：「英語できる？」(ニコニコして)

リカ：「読み書きくらいなら」

佃煮：「さすがだな！いやすぐという訳ではないんだが、最近の日本食ブームで(あつという間に佃煮)が海外のスーパーから注文入りそうなんだ。大国重工だけに頼っていると、いざという時に困るからな。」

リカ：「へえースゴイ。で、なんていうスーパーなの」

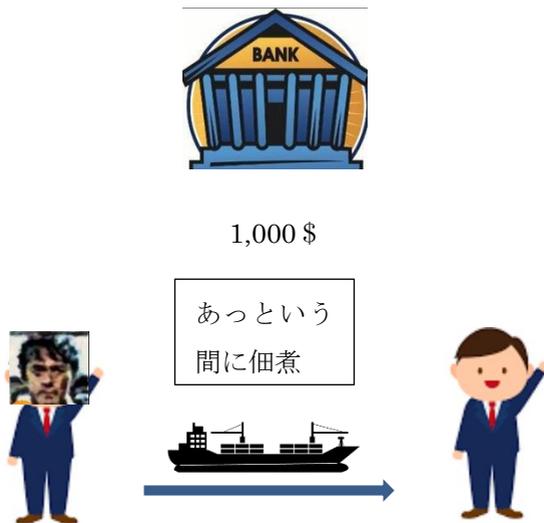
佃煮：「おいらのマート、だったかな？」

リカ：「ウィルマートじゃないの」

佃煮：「そうそう、そんな名前だった」

という訳で、話はトントン拍子にすすみ、あつという間に注文が入った。では、外貨建ての取引の場合、どのような処理が必要かみてみよう。

「イメージは銀行での両替」、この1本です。



- ① 佃煮製作所は「あつという間に佃煮」を 1,000 \$ で販売した。代金は翌月末の入金予定である。

売掛金 1,000 \$ / 売上 1,000 \$ でいいだろうか？

ユウカ：「弥生会計には円しか入力できないわよ」

ということは円に換算しないとイケない。もしも今日 1,000 \$ もらったら銀行にもっていくと、いくら

になるのだろうか？

ユウカ：「レートがわからないと答えられないわね。
今日のレート（じきもの直物レートといいます）は1 \$ 100 円
よ」

会計処理では、当日のレートが決済日にもっとも近いレートになるので、当日のレートで換算するのです。

売掛金 100,000 / 売上 100,000

簡単ですね。でも試験では、決算日や決済日（入金日や支払日のこと）の仕訳が問われることが多いので、そのあたりをみてみましょう。

- ② 決算日を迎えた。今日のレートは 90 円である。
いわゆる円高ですね。

1\$の購入に 100 円かかっていたのが、90 円で
買える訳だから、円の価値が上がったわけで
す

佃煮：「円が高くなったから、当然得するんだろうな」

ユウカ：「どうかしら。仕訳で考えるとわかると思うわ」

佃煮：「本当か？簿記に円高損得計算の機能があるのか？今日が決済日に一番近いから、再計算が必要だな。1,000\$を銀行にもっていくと・・・えーっ、損するやんけ！」

リカ：「また変な大阪弁」

仕訳を確認してみよう

ユウカ：「販売した日より、決算日の方が決済日に近いわね。だから会計では決算日に換算替えの処理が必要なの。売掛金の今日の価値は 90,000 円ね。ということは売掛金を 10,000 円減らして、損した分を為替差損という科目で処理するの」



為替差損 10,000 / 売掛金 10,000

(※為替差損益で処理するケースもあります。問題の指示に従って下さい)

佃煮：「そうか。だから円高になると輸出企業は赤字になるんだな。決済日に円安になることを祈るしかないな。俺は運が強いから大丈夫だろう」

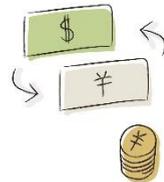
③ そして決済日、少しだけ回復し 1 \$ 95 円になった。

ユウカ：「前回の決算日に売掛金の価値は 90,000 円になってるわね。ということは今日は 95,000 円だから前回の損が少しは取り戻せるわね」

佃煮：「よーし、1,000 \$ 回収したらすぐに銀行に持って行って円に両替しよう。95,000 円だな。とりあえずトータル 5,000 円の損ですんだな」

現金 95,000 / 売掛金 90,000

為替差益 5,000



佃煮：「ユウカさん、新規取引で信用状態に不安がある場合は一部入金を頼むケースがあるんだが、この場合はどうなるんだろう。今回は300\$の内金をもらう予定なんだ」

ユウカ：「300\$はすぐに銀行に持参すれば、将来レートかわっても問題ないわね。そのように考えればいいの」

☆本日のレート 110 円とする

現金 33,000 / 前受金 33,000

☆販売時（納品時）のレート 100 円とする

この場合、前受金は 33,000 円で確定しているからそのままOKです。残りの 700\$ だけを換算します。売り上げはその合計額ね。

前受金 33,000 / 売上 103,000
売掛金 70,000



①まずは、こちらを計算

②合計額を売上にする

物作りも、仕訳も
順序が大切だな



そして、数日後

佃煮：「ユウカさん、海外取引が増えてきた。レートが変わるたびに胃が痛むんだ。レートを固定化できれば楽になるのに」

ユウカ：「じゃあ、為替予約ね」

佃煮：「え、そんなのあるのか？」

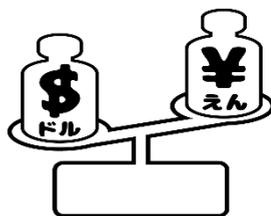
ユウカ：「今売掛金はいくらあるの？」

佃煮：「1社だけだけど100,000\$ある。3月末が決済日なんだ。販売した日は95円だったけど、今は93円で、ニュースでこの後も円高になりそうと言っていた」

ユウカはネットの画面をみながら

ユウカ：「3月末決済の予約レートは今日の段階で90円ね。損はするけど80円台になっても90円で固定できるわよ」

佃煮：「OK。じゃあ俺はモノヅクリに専念できるな」



為替予約（仕訳で考えてみよう）

☆取引時

売掛金 9,500,000 / 売上 9,500,000

☆予約時

為替差損 500,000 / 売掛金 500,000

☆決済時

現金 9,000,000 / 売掛金 9,000,000

※予約時に決済額と為替差損益が確定するので、予約と決済の間に決算日がきても仕訳は必要ありません

佃煮：「ありがとう、でも 500,000 円損したんだよな。最初から予約できれば楽なんだがな」

ユウカ：「売ったときか、それ以前に銀行と契約すれば」

佃煮：「そうか、円と \$ の交換は銀行との取り決めだから有利と思ったら先に銀行と契約すればいいのか？」

では、取引の流れを見てみよう。

☆為替予約（銀行との契約）と販売（取引先との契約）が同じ日という前提で考えてみましょう。

「3 月末決済の契約で 100,000 \$ 販売した。本日のレートは 100 円だが、同日銀行と 3 月末に 98 円で決済する為替予約契約を締結した」

実は簡単です。販売から回収まで全部 98 円で換算すればいいだけです。間に決算日があっても関係ありません。

☆販売時

売掛金 9,800,000 / 売上 9,800,000

☆決算時

仕訳なし

3 月末の予約 レートのことを 先物レートとい います

☆決済時

現金 9,800,000 / 売掛金 9,800,000

ユウカ：「今回は売上取引で考えたけど、仕入取引でも考え方は同じよ。前受金のところは前払金になるだけね。」
では、本試験の問われ方をみてみましょう。

米国の取引先ウィルマートに対して、製品 120,000 ドルを 3 か月後に決済の条件で輸出した。輸出時の為替相場は 1 ドル¥117 であったが、470,000 ドルを 3 ヶ月後に 1 ドル¥105 で売却する為替予約が輸出の 1 週間前に結ばれていたため、この為替予約により振当処理を行う。

※為替予約には独立処理と振当処理がありますが、独立処理は 1 級の範囲なので気にしないでください。振当処理の指示は、あってもなくても 2 級では同じ解答になります。

科目	金額	科目	金額
売掛金	12,600,000	売上	12,600,000

銀行との契約は他の会社との取引も想定して 470,000 \$ の契約をしていたようです。今回のウィルマート社との取引はそのうちの 120,000 \$ 分を使ったわけです。



先日、商品を 300,000 ドルにて米国の顧客アパゾン社に掛けで売り渡し、適切に処理していたが（取引時の為替相場 1 ドル＝¥110）、今後円の為替相場が上昇するリスクに備えて、全額 1 ドル＝¥105 にてドルを円に売却する為替予約を締結した。ただし、当該売掛金の円換算額と、為替予約による円換算額との差額はすべて当期の損益として振当処理を行う。

科目	金額	科目	金額
為替差損益	1,500,000	売掛金	1,500,000

※販売時の仕訳をイメージしよう

売掛金 33,000,000 / 売上 33,000,000

予約によって以下のようになります

売掛金 31,500,000 / 売上 31,500,000

売掛金を 1,500,000 円減らし、為替差損を計上することになりますね

CHAPTER16 税金

経理部長の殿丸は忙しい時期を迎えていた。佃煮製作所の決算である。

支店からは、毎月の Excel のシートを送ってもらっているが、そろそろ支店でもパソコン会計への直接入力をしてもらう必要がある、と考えていた。

本社の経理部の負担が大きいのである。

佃煮：「トノ、今年はなんとか利益出そうだな」

殿丸：「そうですね。」

佃煮：「今年も色々あったな。でも必死でやってれば、必ず結果は出る。俺は、ずっとそういう経験を積んできた。役所のメ切を超えても粘って入札に間に合ったこと、小河首相の行政改革で予算が半分になり売上が一気に減ったこと。でもその都度、スタッフが努力をしてくれて、結果的に乗り越えてきた。頑張ればなんとかなる、あきらめなければ夢は叶う！だな」

殿丸：「そうですね。社長これからもがんばりましょう」

深夜に熱く語り合う二人だった。

そして佃煮が突然

佃煮：「トノ、ところで税金はどうなっている」

殿丸：「おっ、そうですね。先日シミュレーションした結果が出ています。えー、法人税等が 2,000 万円、消費税が 4,000 万円ですね」

佃煮：「何だって！俺はその半分くらいだと思っていた」

殿丸：「すみません、実際の支払いは法人税等が 1,200 万円、消費税が 2,200 万ですね。中間納付をしていましたから」

佃煮：「良かった。殿丸驚かすなよ。」

ここで殿丸さんが中間納付の説明をしたのだった。

前期決算(3.31)

11.30



前期納税額

中間納付

200 万

100 万円

< 中間納付 >

仮払法人税 80 万 / 現金 200 万

仮払消費税 120 万

※試験では、利息や配当受取の仮払法人税がよく出題されます。これは最後の本試験での問われ方で解説します。

※実務では、仮払法人税勘定は使用しますが、仮払消費税勘定は仮払金の補助科目で対応するケースが多いです。

佃煮：「なるほど、前年の納税額の半分を納付すればいいんだな」

殿丸：「そうですね。前期の納付税額が 20 万以上の場合には必ず支払う必要があったと思います」

佃煮：「OKわかった。有難う。じゃあ、ついでに今年の税金のシミュレーションもしてみよう」

殿丸：「わかりました。その前に社長に、法人税の仕組みを説明しておきます。昨年から日商簿記 2 級でも範囲に入った課税所得の算定方法というやつです」

佃煮：「有難う。じゃあ教えてくれ」

という訳で、殿丸教授の深夜講座がはじまりました。

殿丸：「これは弥生カレッジが行っている税法対策講座の受け売りです。」

佃煮：「弥生カレッジってよく聞く名前だな」

殿丸：「あそこはいいですよ。普通の簿記学校ではなく社長自身が営業出身で 50 歳を過ぎてから本格的に簿記や税法の勉強をし、その勢いで一気に会計関連の講座のTOPを窺っているようです。今でも現場の仕事も頑張っているようですよ。確か全経のホームページでも税法講座が推薦されていたはずですよ。・・・あっ、これだ」



佃煮：「へえー、凄いな。50 歳からか・・・現場一筋っていうのもいいぞ。何か親近感がわくな。えっ、この女性リカに似ていないか」

殿丸：「そういわれれば・・・」

では、そろそろ税法講座の要約を

<弥生カレッジの税法講座より>

★会計と税務の違い

【会計】		【法人税法】	
売上	100,000	売上	100,000
仕入	40,000	仕入	40,000
交通費	30,000	交通費	30,000
減価償却費	20,000	減価償却費	10,000
利益	10,000	所得	20,000
法人税	6,000	法人税	6,000
当期純利益	4,000		

※税率を30%とします

$$\text{法人税額} = \text{所得 } 20,000 \times \text{実効税率 } 30\% = 6,000$$

会計の目的は、適正な利益を投資家に報告することです。従って100,000円の設備を3交代制で5年で使い切りそうだったら20,000円の減価償却費を計上するのは当然なんです。

ところが、本当は10年使うつもりなのに、「いや当社では5年で使い切る」ということが税法で全て認められ

たら、いくらでも税金を安くできます。それでは正直に納税する人がバカをみます。税法というのは、平等な課税というのが大原則なんですね。

ということは、損益計算書の利益と税法の所得（税法では利益のことを所得と呼ぶと考えてください）がずれてきます。そこに課税所得の算定の意味があるのですね。

★法人税法では会計と少し名前の使い方が違います。確認しておきましょう。

【会計】利益＝収益－費用

【法人税法】所得＝益金－損金

所得＝利益

＋（損金不算入＋益金算入）＜税務上の加算＞

－（損金算入＋益金不算入）＜税務上の減算＞

さきほどの事例では、

所得＝10,000＋減価償却超過額 10,000＝20,000

となります。要はこの式で利益から所得を算出するので、この式は難しく感じます。でも、ほとんどのケースは損金不算入です。他では受取配当金の益金不算入が出

題されるくらいでしょう。また、損金不算入とか益金不算入という指示が入るケースもありますので、指示に従えば簡単に計算できます。試験で出そうな代表例を記しておきましょう。あくまでも参考ですよ。

<代表的事例>

- 損金不算入：減価償却超過額・引当金の繰入
限度超過額など
- 益金算入：売上計上漏れなど
- 損金算入：貸倒損失認定損など
- 益金不算入：受取配当金など



佃煮は法人税申告書の別表 4 をしばらくみていた。

佃煮：「だから利益が 4,000 万円なのに税金が 50%の 2,000 万円もあるのか」

殿丸：「社長そのとおりです。これは取引先の倒産が続いて貸倒引当金を多めに設定したこと、フル稼働で設備の耐用年数を短く見積もった結果なんです。」

佃煮：「なるほど、勉強になったよ」

殿丸：「さっきの説明にもあったんですが、税法では貸倒引当金の繰入限度額、減価償却の限度額というのが決まっているので、全額を経費・・・実は税法では損金というんですが・・・として認めてくれないんです」

佃煮：「そうなのか？はじめて聞いたな」

殿丸：「いや、前にも説明したんですが・・・その時はリカさんと食事に行くとかで・・・うわのそらでした」

佃煮：「そうか、バカな俺だな。トノ、じゃあ今から消費税のことなどもいろいろ教えてくれ」

殿丸：「わかりました。」

といいながら殿丸は、「これが社長のいいところだ。どんなことにも貪欲に吸収しようとする」と思って社長を見つめた。すると・・・

佃煮：「トノ、夜中にそんなに見つめるなよ。俺はそんな趣味はないぞ」

殿丸：「えっ、嫌ですよ」

佃煮：「話し方まで変だぞ」

殿丸は真っ赤になり、佃煮に余計に突っ込まれる始末であった。平和な会社である。

殿丸：「じゃあ社長、消費税の説明をします。」

消費税の仕組みを簡単に記しましょう。

当社がドリームコンピュータから 100,000 円で仕入れたパソコンを 150,000 円で販売するケースを想定します。

税率 8% とすると、108,000 円で仕入れたものを、162,000 円で販売することになります。

ドリームコンピュータ \longrightarrow 当社 \longrightarrow 大国重工
100,000+8,000 150,000+12,000

消費税の会計処理には税込処理方式と税抜処理方式があります。いずれにしても納税額の計算は簡単にいうと、もらった税金（仮受消費税）から払った税金（仮払消費税）を控除して求めます。

【税抜処理方式】

☆仕入時

仕入 100,000 買掛金 108,000

仮払消費税 8,000

<販売時>

売掛金 162,000 / 売上 150,000

仮受消費税 12,000

<決算時>

仮受消費税 12,000 / 仮払消費税 8,000

未払消費税 4,000

もしも在庫処分で 80,000 円で販売すると仮受消費税は
6,400 円ですね。その場合の決算時の仕訳は

仮受消費税 6,400 / 仮払消費税 8,000

未払消費税 1,600

還付が受けられるわけです。

【税込処理方式】

☆仕入時

仕入 108,000 買掛金 108,000

<販売時>

売掛金 162,000 / 売上 162,000

<決算時>

租税公課 4,000 / 未払消費税 4,000

もしも在庫処分で 80,000 円で販売すると仮受消費税は 6,400 円ですね。その場合の決算時の仕訳は

未収消費税 1,600 / 雑益 1,600

になります



ここで、両方式の最終的なP Lを示しておきます

<税抜方式>		<税込方式>	
売上高	150,000	売上高	162,000
売上原価	100,000	売上原価	108,000
利益	50,000	租税公課	4,000
		利益	50,000

どちらの方式でも利益は同じになりますね。

最終利益を同じにするために税込方式の場合は租税公課を使っていると考えれば理解しやすいと思います。



佃煮：「殿丸！消費税ってこんなに簡単に計算できるのか？なんで税理士事務所に消費税の計算の顧問料払っているんだ？」

殿丸：「社長、簿記の勉強と実務はかなり違うんです。消費税の納税額を計算するには、端数処理や課税売上割合というのがあって単なる引き算で納税額は計算できな

いんです」

佃煮：「ちょっと待て、えーと、他の簿記の本をみてもそんなことは書いていないぞ。それどころか、日商2級の資格取得で実務は万全、なんて書いているのもあるぞ」

殿丸：「そうなんです。ハローワークの方でもうちが求人出すと、この人は日商簿記2級もってるから大丈夫だと思えます、っていってくるんです。」

佃煮：「そうか、さっきの誰だっけ・・・弥生なんとか」

殿丸：「あっ、そうです。あそこの社長は違います。何といても弥生会計や勘定奉行などを2,000社以上に導入していますから実務のことはメッチャ詳しいです。あの社長は<簿記だけではダメ>みたいな本も出しています。

佃煮：「そうか、その本読んでみたいものだな」

殿丸：「ありますよ。これです。」



P 3 7でも紹介済みですが
再度

殿丸：「あと1冊、こんな本もありますよ」



佃煮：「へえー、いろいろな本出しているんだな。このオヤジ。どれどれ、このコラムって面白いじゃないか。おーい、横山さんよ、聞こえるかい！このコラムこっちにも掲載してくれよ」

横山：「うん？何か声が聞こえたような・・・コラムか・・・ぜひ入れよう。」

コラムは時間のあるときに読んでくださいね・・・
あと、消費税の資格は実務に役立ちます。ぜひ、**全経消費税法3級**も検討してみてください。





●強運

私は運が強い方だと思います。母親のお腹の上に兄が飛び乗り8か月で登場。息をしていなかったようだが、産婆さんの強烈な往復ビンタで蘇生。小学校4年まで交通事故にあうこと十数回。そのうち2回は新聞に「坊や！奇跡的に助かる」と掲載されたようです（なぜか、その新聞は残っていない）。ただ単に、「どんくさい」少年だったという声も……

大学入試。父親から2浪はダメ！といわれ、4大学6学部を受験。一番自信があったのが関西大学（社会学部）、最も自信がなかったのが第一志望の立命館大学（法学部）。立命の試験の前日にみた旺文社のラジオ講座の録音カセットから1本抜いた古文の問題が「そのまま」出て、さらに休憩時間に開いた世界史の参考書、一番記点の多い記述式にその問題が出た。そしてその年の最低点での合格（後から学校が教えてくれた）。この年、通ったのは第一志望のみ。もしも、どちらか外れていたら今頃は日本のスピルバーグといわれていたはず（映画の専門学校に行く予定だった）……

極め付けは独立最初の仕事。前職の退職時に取引先が開いてくれた送別野球大会。当時は阪神タイガースの亀山選手のヘッドスライディングが流行っており、私も調子によって……アキレス腱と肩の筋肉の断裂。このお蔭で送別ゴルフはキャンセル。時間があいたので、前職の担当者からの 세미나講師依頼を引き受け、そこで出会ったお客さんから大口受注。借金だらけで独立し、1か月で倒産？の危機を回避でき、その後は順調に業績UP！！

これこそ、まさに人間万事塞翁が馬！

という訳で、職業訓練の受講生には「最後の1分まであきらめないでください」と話しています。

リカ：「今日初めての登場ね。最近は出番が少なくなっ
たわ。本試験の問われ方、忘れたわけじゃないわよ」

定期預金（1年未満、利率1%）¥2,000,000を銀行に預け入れていたが、この定期預金が満期となった。この満期額に、源泉所得税（20%）控除後の受取利息手取り額を加えた金額を、さらに1年満期の定期預金として継続した。

科目	金額	科目	金額
定期預金	2,016,000	定期預金	2,000,000
仮払法人税等	4,000	受取利息	20,000

当座預金口座に、坂本海援商会の株式に対する期末配当金¥280,000（源泉所得税20%控除後）の入金があった旨の連絡があった。

科目	金額	科目	金額
当座預金	280,000	受取配当金	350,000
仮払法人税等	70,000		

※どちらのケースも仮払法人税等で処理します。

CHAPTER17 税効果会計

とある日の午後、佃煮と殿丸は佃煮定食を食べながら先日の税金の話をしていた。

佃煮：「なあ、トノ。P219の表はやはり納得できないなあ」

【会計】

売上	100,000
仕入	40,000
交通費	30,000
減価償却費	20,000
利益	10,000
法人税	6,000
当期純利益	4,000

【法人税法】

売上	100,000
仕入	40,000
交通費	30,000
減価償却費	10,000
所得	20,000
法人税	6,000



殿丸：「この表ですか？」

佃煮：「P219には『会計の目的は、適正な利益を投資家に報告することです』と書いてるよなあ。それなら会計上の利益が10,000円なら税金は3,000円として報告しないとイケないんじゃないか」

殿丸：「なるほど、確かにそうですね。今までは実務中心でそこまで考えていませんでした。やっぱり社長は研究者ですね。」

佃煮：「今度、ユウカさんに聞いてみよう」



そして数日後

ユウカ：「佃煮さん、いいところに気づいたわね。税法では実際に納める金額を計算するんだけど、会計的にはおかしな計算になるわね。そこを調整するのが税効果会計よ。」

佃煮：「税効果会計？なんか難しそうだな」

ユウカ：「日商 2 級までなら簡単よ。法人税 6,000 円を 3,000 円に調整する仕訳をするだけなの」

佃煮：「どういうことだ」

ユウカ：「実際の支払いが 6,000 円、これはまぎれもない事実ね。」

佃煮：「そうだな」

ユウカ：「でも会計の目的を考えたら、費用としての税金は 3,000 円であるべきだ」

佃煮：「俺のいいたいところは、そこだ」

ユウカ：「これって税金を先払いしているわけよね」

佃煮：「????」

ユウカ：「本来 3,000 円でいいのに、6,000 円払っている
ので、先払いになるの」

佃煮：「よくわからないが、そんな感じだな」

ユウカ：「なので、会計的に正しい利益にするためには次の
ような仕訳をする必要があるの。『先払税金 3,000 / 法人
税 3,000』」

佃煮：「なるほど・・少しだけわかったような」

ユウカ：「でも法人税は確かに 6,000 円払っているので、
この仕訳すると法人税が 3,000 円になってしまうわね。
これもおかしい話ね」

佃煮：「そうだな」

ユウカ：「だから、少し科目をかえるの。繰延税金資産
3,000 / 法人税調整額 3,000。その結果で損益計算書を作
り直すわね」



【会計】

売上	100,000	
仕入	40,000	
交通費	30,000	
減価償却費	20,000	
利益	10,000	
法人税	6,000	} 会計上の法人税は 6,000 - 3,000 = 3,000
法人税調整額△	3,000	
当期純利益	7,000	

ユウカ：「こうすると、税引前利益 10,000 円の 30% がトータルの法人税になって、税引後利益が 7,000 円になるわ。法人税支払いの事実を捻じ曲げないで、会計上の利益も正しくすることができるわ。」

佃煮：「俺はネジを曲げるけどな！」

ユウカ：「????」



★税効果会計→本来の定義は難しいので、「会計上の利益」と「法人税法上の所得」のズレ（一時的なズレ：一時差異）を調整する処理、と考えておきましょう

※本来の定義は日商簿記1級や税理士試験の範囲です

佃煮：「一時的なズレ？意味がよくわからん」

ユウカ：「じゃあ佃煮さんが子会社を作った例で話すわね」

佃煮：「それはいいな」

<例>

佃煮タクシーでは180,000円で車両（残存価額0.法定耐用年数3年）を購入した。徹夜の仕事も辞さない覚悟で2年で乗りつぶす予定であった。

だがしかし、佃煮の愛車精神のおかげで酷使にもかかわらず3年間もったのである。ちなみに、売上は毎年100,000円だった。実効税率は30%である。

	1 期	2 期	3 期	合計
売上	100,000	100,000	100,000	300,000
減価償却費(会計)	90,000	90,000		180,000
税引前利益	10,000	10,000	100,000	120,000
税金	12,000	12,000	12,000	36,000
当期純利益	△2,000	△2,000	88,000	84,000
(参考)				
減価償却費(税法)	60,000	60,000	60,000	180,000
所得	40,000	40,000	40,000	120,000

佃煮タクシーでは2年で乗りつぶす予定だったので減価償却費は2年間で90,000円ずつ。でも税法は3年での償却をベースに計算しなければならなかった。最初の2年間は損金不算入額が各30,000円ずつあったわけだ。しかし3年目は逆に損金算入額は60,000円あるのでチャラですね。なので、合計をみると、税引前利益と税金の関係が30%になっていますね。でも各期の利益と法人税は対応していません。その対応関係を図るのが税効果会計です。具体的に仕訳を確認しましょう。



1 期・2 期は税金の前払いと考え次のような仕訳を考えます

繰延税金資産 9,000 / 法人税調整額 9,000

イメージは法人税をマイナス調整するので貸方に 9,000 円。相手科目は借方なので資産です。

これで税引き前利益 10,000 円に対する法人税は 3,000 円になり対応します。

3 期目はどうなりますか？

法人税調整額 18,000 / 繰延税金資産 18,000 ですね

今度は法人税をプラス調整するので借方に 18,000 円で。こんな感じです。表を作り直してみましよう。

	1 期	2 期	3 期	合計
売上	100,000	100,000	100,000	300,000
減価償却費(会計)	90,000	90,000		180,000
税引前利益	10,000	10,000	100,000	120,000
法人税	12,000	12,000	12,000	36,000
法人税調整額	△9,000	△9,000	18,000	0
当期純利益	7,000	7,000	70,000	84,000

佃煮：「そういうことか。でも試験対策としてはこんな表は作っておれん。要は減価償却超過や貸倒引当金超過などがあつたら、税金の前払いになるので『繰延税金資産／法人税調整額』、そして解消する年は逆仕訳になるということだな」

ユウカ：「そのイメージでいいと思うわ」

佃煮：「ところで、176 ページにこんな話を書いてあるぞ」

資産が 200 円増えるから、そのまま純資産が 200 円増えると考えていいのでしょうか。売れた場合を想定して 200 円資産が増える。これはいいでしょう。でも売れたら、税金かかる訳だから、例えば税率 30% なら 60 円は税金になります。そこで実際には下記のような仕訳になります。

その他有価証券 200／その他有価証券評価差額金 140
／未払税金 60

ユウカ：「すごい記憶力ね・・・その他有価証券の時価評価は損益計算書に載せないという話だったわね」

佃煮：「この時の本当の仕訳は、確かこうだったな」

その他有価証券 200／その他有価証券評価差額金 140
／繰延税金負債 60

ユウカ：「そうね。売却したという仮定で純資産を増やすけど、実際に売却して利益出たら税金が控除されるから、その分を先に考慮しておこうということね」

佃煮：「うーん、難しいな。何となくわかるけど・・・。このときは法人税調整額という科目はいらないのか？」

ユウカ：「仕訳を分解して考えてみましょうか」

<その他有価証券の評価替え・・・の仕訳>

その他有価証券 200 / その他有価証券評価差額金 200

※資産が増加→将来の利益が増加

その他有価証券評価差額金は純資産の科目です

<将来売却したら税金払うはず・・・の仕訳>

その他有価証券評価差額金 60 / 繰延税金負債 60

※将来の利益から将来の税金に振替

ユウカ：「本来はこういう仕訳になるの。P234の損益計算書に、この仕訳の結果は反映されるかしら？」

佃煮：「この仕訳は全部貸借対照表の科目だから、損益計算書には転記されないな。あっそうか、税引前利益と法人税の関係に影響しないんだな」

ユウカ：「そうね。だから損益計算書の法人税を調整する

必要がないの。」

佃煮：「なるほど、だから法人税調整額が出てこないんだな」

ユウカ：「でも、その他有価証券の評価替えは翌期首に洗い替えが必要だったので、この場合の翌期首の仕訳はこのようなになるわ」

その他有価証券評価差額金 140 / その他有価証券 200
繰延税金負債 60

佃煮：「なるほど、これで完璧だな」

リカ：「ごめん、遅くなったわ」

佃煮：「最近、忙しそうだな。俺は税効果会計を征服したぜ！」

リカ：「本当、どんな内容？」

佃煮：「かくかく、しかじかだ」

リカ：「すごいわね。じゃあ、私から質問よ。繰延税金資産と繰延税金負債は貸借対照表のどの分類になるかわかる？」

佃煮：「そんなの資産と負債に決まっているだろう。バカにするなよ」

リカ：「そうじゃなくて・・・資産や負債には分類があった
でしょう」

佃煮：「流動とか固定か？」

リカ：「そうそう」

佃煮：「そんな細かいことは気にしないのが俺の主義だ」

リカ：「いつもモノヅクリは細部にこだわるのが大事
だと言ってるのに」

佃煮：「うっ・・・」

ユウカ：「痛いところをつかれた時の佃煮さんの反応が
出たわね」

リカ：「そうそう、いつもこんな感じ」

佃煮：「ごちゃごちゃ言わずに答えをいえよ」

リカ：「最近会計基準がかわったので試験に出るかもよ。
繰延税金資産と繰延税金負債は相殺して表示するの。例
えば繰延税金資産が 1,000 で繰延税金負債が 600 だっ
たら繰延税金資産に 400 円として表示すればいいのよ。表
示する場所は、繰延税金資産の場合は投資その他の資産、
繰延税金負債は固定負債に表示するの。」

佃煮：「難しいな、表にしてくれよ」

リカ：「はいはい、こうよ」



Chapter2 の復習も兼ねます

貸借対照表 (B/S)

<p><資産の部></p> <p>流動資産</p> <p>固定資産</p> <p>有形固定資産</p> <p>無形固定資産</p> <p>投資その他の資産</p> <p>繰延税金資産</p> <p>繰延資産</p>	<p><負債の部></p> <p>流動負債</p> <p>固定負債</p> <p>繰延税金負債</p>
	<p><純資産の部></p> <p>株主資本</p> <p>資本金</p> <p>資本剰余金</p> <p>利益剰余金</p> <p>評価換算差額</p> <p>その他有価証券評価差額金</p>

決算整理前試算表抜粋

繰延税金資産 1,000	繰延税金負債 600
--------------	------------

の場合、B/Sでは繰延税金資産が 400 円となります。
 このとき、繰延税金負債は表示されません。
 もちろん、逆の場合もあります。

★本試験での問われ方

7月1日	機械装置（残存価額：ゼロ 200%定率法（償却率 0.400））¥2,000,000を購入し、ただちに使用を開始した。
------	---

上記の機械装置の会計上の耐用年数は5年であるが、税法上は8年（償却率 0.250）である。そのため、税効果会計を適用した場合に必要な仕訳を示しなさい。決算日は3月31日、法人税、住民税および事業税の実効税率は30%である。

科目	金額	科目	金額
繰延税金資産	67,500	法人税等調整額	67,500

<解説>

機械装置の帳簿価額 2,000,000

会計上の減価償却費

$$2,000,000 \times 0.4 \times 9 / 12 = 600,000$$

税法上の減価償却費

$$2,000,000 \times 0.25 \times 9 / 12 = 375,000$$

損金不算入

$$600,000 - 375,000 = 225,000$$

税効果の計算

$$225,000 \times 30\% = 67,500$$





●人生の転機

私の人生の最も大きな転機は、たぶん小学校4年の3学期。神戸市に生まれ育ち、勉強はできるが、運動神経最悪（だから交通事故に何度も遭遇する）。典型的ないじめの対象。「昔のいじめはカラッとしていた」という人がいるが「冗談ではない」といいたい。先生からも含めて、「笑いものにされている」感でいっぱいだった。運動会では決まってお腹が痛くなる。こんな私にめぐってきたチャンス。父親の独立による大阪への転校。

転校初日、子供心に「今回は絶対にいじめられたくない！」と決意。神戸出身の方はご存じだと思いますが、大阪弁とは微妙にイントネーションが違う。私の「何しよう」に、隣に座った子から「何やそれ！」の嘲笑。勇気を振り絞って、「何がおかしいねん！」と強く言うと、その子が「こわー」といって退いた。そして放課後、その子が家に遊びに来た。

子供にとっては、こんな事で自信が付くものです。でも相変わらず運動神経はダメだった。小学校6年で50mを10秒という男女合わせて、ほぼ最下位だった。でも、足が遅い理由は体重が後ろにかかっていただけと判明。少し前のめりにすると、一気に8秒台。子供心に「やれば出来る。運動は楽しい」と思いました。その後は中学では柔道、高校では甲子園めざして野球にあけくれました。人間は気持ちで変わるものです。今いろいろな苦勞をされている方に、ぜひわかってもらいたい事があります。他人からみれば「ささいな勇氣」でもそんな勇氣が貴方をかえるきっかけになります。

試験の結果でも良い、目の前の小さな仕事でも良い、何かで結果を出すことが自信につながり、それが人生を変える原動力になる事を私は信じています。

CHAPTER18 決算・帳簿の×切

佃煮製作所では、年度末を控え決算対策会議が行われていた。

佃煮：「トノ、最終的にはどれくらい利益が出そうだ」

殿丸：「社長、今年はトントンというところでしょうか」

佃煮：「そうか、色々あったからな。海外取引で儲かったが、取引先倒産や製品不良問題。でも株で一発大逆転」

殿丸：「そうですね。社長の人生を象徴しているような1年でしたね。」

佃煮：「トノ、話はわかるが、そろそろ簿記の試験なんだ。合格しないと結婚してあげない、とリカから言われているんだ。このままでは『結婚できない男』になってしまいうぞ」

殿丸：「そんなドラマありましたね。主役の人は社長に似ていましたよね」

※興味のある方はネットで検索してください

佃煮：「俺決算の問題弱いんだ。頼む教えてくれ」

殿丸：「わかりました。これでも昔簿記1級の勉強してましたから」

佃煮：「本当か、さすがだな」

殿丸：「どのあたりが不得意なんですか？」

佃煮：「そうだな、損益うんぬんとか、精算表の売上原価勘定を使ってとか何とかいうやつだ。あと英米か？みたいなのもあったな」

殿丸：「あー、あれですね。実務ではほとんど意味なさないんですけどね。試験ではよく問われるようですね。じゃあ今から説明しましょう」

① 英米式とは

帳簿の締切方法には英米式と大陸式があります。でも日商 2 級では英米式しかありませんから、問題文に指示があっても一切気にせず②以降の処理を実施してください。

佃煮：「俺も技術系の試験色々受けたけど、問題文の指示がわからないケースが多いんだ。問題つくっている人に日本語検定の講義をしてあげたいくらいだ」

殿丸：「確かにそうですね。でも、試験は別解が出ないように色々制限をつけた言い回しになるので、わかりにくくなるみたいですね。うちのマニュアルと同じですね」

佃煮：「うっ！」

と、いつもの反応の佃煮であった。

② 損益勘定は、「はかない勘定」

殿丸：「社長、では損益勘定からいきましょう」

佃煮：「OK、あれは強敵だな」

殿丸：「社長、個人商店の時のことを思い出してください」

佃煮は空を見上げた。社長室からは透明ガラスで空が見えるのだ。美しい空を見上げながら、佃煮は風雪の30年間を思い出した。



色々あった
な！

殿丸：「社長、感傷にふけらないでください。毎年年末に忘年会、年始に新年会はありませんでした

か」

佃煮：「そうだったな。組合の青年部のオジサン達は飲むのが好きだったな。俺は仕事の話ばかりして怒られたよ。でも、商売人の集まりで仕事の話をして怒られるのは納得できなかったから、その会もすぐにやめたな。正論いうな！とか言われたのを思い出すよ。正論がなぜだめなんだ！」

殿丸：「社長。思い出して興奮しないでください。でも社長と私が出会ったのも組合の忘年会でした。」

佃煮：「そうだったな。組合の預金を担当してたんだよな。」

殿丸は 30 年前を思い出した。そして空を見上げた。「よく頑張ってきた。なのに銀行は俺を見放した」とつぶやいた。

佃煮：「殿丸！お前も感傷にふけているじゃないか。やっぱり俺たちは似ているな」

深夜に星空の下で見つめあう 2 人だった。ああ、青春！

佃煮：「でもお前だけだったな。飲み会で俺の正論を真正面から受け止めてくれたのは」

殿丸：「そうです。毎年 12 月 29 日の恒例の忘年

会で、佃煮さん、今年の売上はどうでしたか？と聞いたものです」

佃煮：「俺はこう答えたよな。今年は頑張ったぜ。2,000万円の売り上げだ。」

殿丸：「でも面白いこともありましたね。その翌年の新年会で・・・」

佃煮：「ああ、あれか。確か1月10日の恒例の新年会で、お前が酔っぱらって、佃煮さん今年の売上はどうですか？と聞いてきた時だな。」

殿丸：「そうそう社長は2,010万だ！と大声で言ったんですよ」

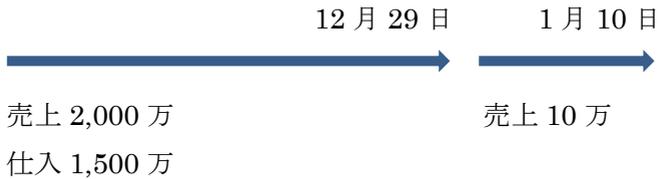
佃煮：「俺は技術屋だからな。去年の2,000万に今年の10万足しただけだったな。今考えたら恥ずかしい話だ。売上は決算終わったら1からスタートだからな」

殿丸は「これだ！」と思った。

殿丸：「社長、それですよ。損益勘定のカラクリが解けました」

佃煮：「トノ、でかした」

では説明しましょう



このイメージで説明します。

まず 1 年目です。

12 月 29 日は仕事納めでした。

帳簿を 0 にしておかないと、新年会で 2,010 万とってしまいます。帳簿を 0 にするためには仕訳をしないとイケませんね。

売上を 0 にするためには借方に売上、仕入を 0 にするためには仕入を貸方にしないとイケません。

売 上 20,000,000 / [] 20,000,000

[] 15,000,000 / 仕 入 15,000,000

問題は相手勘定です。現金や売掛金・買掛金というわけにはいきませんね。他社との取引ではなく、社内の処理ですからね。

この作業は、最終的な利益の計算と一致します。利益が出るとは限りません。損失の可能性もありますね。そこで損益勘定の登場です。こうなります。

売上 20,000,000 / 損益 20,000,000

損益 15,000,000 / 仕入 15,000,000

佃煮：「なるほど、こうすれば売上と仕入は0になるな。これだったら新年会で恥かかずに済んだ訳だ。うん？でも損益勘定の残高が残らないか？右側に5,000,000残るぞ」

殿丸：「社長いいところに気づきました。これが損益勘定が‘はかない勘定‘と呼ばれている所以です」

佃煮：「はかない勘定、なんか俺の人生みたいだな」と佃煮は星空をみあげた。

殿丸：「社長、感傷にふけらないでください。では説明を続けます」



損益勘定の元帳をみてみよう

損益			
12/31 仕入 15,000,000	12/31 売上 20,000,000		

仕入・売上というのは総勘定元帳の相手勘定欄です
どちらも決算時の処理なので日付は 12/31 です。

損益勘定は、売上と仕入を 0 にするための仮の勘定なので、すぐに消さなければなりません。

仮払金・仮受金・現金過不足・・・仮の勘定は 0 にする必要がありましたね。

ということは、仕訳が必要です。

損益 5,000,000 / [] 5,000,000

この中には何が入るのか？

佃煮：「もうけの 5,000,000 が何かに替わるんだな」

殿丸：「そうです。いいところに気づきました。答えは

…」

佃煮：「待て、俺に答えさせろ。俺は昔インベーダゲームにはまったことがある。パックマンの王様と呼ばれたこともあるんだ。会社経営の利益は勝負に勝ったのと同じことだな」

殿丸は思った。この社長は簿記のセンスがあるかもしれない。もしかしたら経営センスよりも簿記センスの方があるかも・・・でもこれは言うてはいけない・・・

佃煮：「わかったぞ！トノ」

殿丸：「何ですか」

佃煮：「勝負に勝つと次のステージにいくだろう。これって翌年度にかわるということじゃないのか。ということはエネルギーが増えて次のステージに繰越のと同じだ！わかったぞ、この決算書に載っている繰越利益剰余金だ！」

殿丸：「すごい！大正解です」

佃煮：「俺って経営センスより簿記センスの方があるかもしれんな」

殿丸：「確かに！」

殿丸はあわてて口を押えた。幸い佃煮には聞こえなかったようである。

筆者もビックリです。大正解！

損益 5,000,000 / 繰越利益剰余金 5,000,000

となります。これで損益勘定の残高は無事0になりました。

損益	
12/31 仕入 15,000,000	12/31 売上 20,000,000
12/31 繰越利益剰余金 5,000,000	

ちなみに試験で損益勘定の記入を求められたら、繰越利益剰余金欄を埋めさせられるケースがあります。当期純利益と書かないように注意してください。

③ 勘定のメ切り

これは簡単です。斜線の合計だけです。

		損益	
12/31	仕入 15,000,000	12/31	売上 20,000,000
12/31	繰越利益剰余金		
	<u>5,000,000</u>		
	<u>20,000,000</u>		
			<u>20,000,000</u>

売上勘定や仕入勘定も同様に締め切ります



④ 本試験での問われ方（精算表・財務諸表）

殿丸：「損益勘定と繰越利益剰余金の考え方はなかなか理解しにくいのですが、社長の発想力には驚きでした」

佃煮：「なに、お前もさっき言ったように、俺は経営センスはないが、簿記センスはあるようだ」

殿丸は真っ青になった。

佃煮：「ハハ、大丈夫だ。経営センスはなくても俺の直観は一流だ。そこに簿記センスが加われば大丈夫。そもそも経営センスってなんだ。俺はそんなものにこだわっちゃいない。俺は技術者なんだ」

と言いながらも、殿丸を見る目は少し冷たかった。

佃煮：「ところでトノ。試験になると精算表の書き方がうまくいかん。何とかならないか」

殿丸：「そういう方は多いですね。損益計算書や貸借対照表の問題なら解けるのに、精算表になると点数が伸びない方多いですよ。考え方ひとつだと思いますよ。ではコツを紹介します」

1. 貸対照表は決算時の残高を表す
売買目的有価証券の時価は 2,000 円
期末の实地棚卸高は 100,000 円

こんな感じですね。

精算表の一番右側に 2,000 や 100,000 と書くだけです。

貸借対照表の問題なら、回答欄にその数値を書くだけです。()で科目名を書くことがあるので、第2章の復習もしっかりしてください。



2. 損益計算書は1年間の集計結果をあらわす
売買目的有価証券の前 T/B（決算整理前残高試算
表のこと）は 1,500 円と書いてある。

（）欄に有価証券評価損と書き、500 を損益計算
書欄に記す

最近の傾向でよくあるパターンを紹介します。

★前 T/B：給料 800,000、水道光熱費 1,000,000
未払費用の残高は前期末の決算整理により計上さ
れたものであり、期首の再振替は行われていない。
期首の未払費用の内訳は給料 100,000 円、水道光
熱費 50,000 円であり、当期末の未払額は給料
60,000 円、水道光熱費 70,000 円であった。

この場合は、簡易計算で回答可能です。

未払の場合は、当期＋当期－前期でOK

∴給料→ $800,000 + 60,000 - 100,000 = 760,000$

水道光熱費→ $1,000,000 + 70,000 - 50,000$

$= 1,020,000$

これを損益計算書欄に書くだけです。

そして、貸借対照表の未払費用欄には 130,000 円。

これだけです。楽でしょう。前払費用の場合は、
前期前払+当期発生-当期前払になります。
ちなみに前期が前払、当期末が未払の場合ですが
どうなるのでしょうか？

佃煮：「前払は前期を加算、未払は当期を加算か。という
ことは前払+当期発生+当期末払だな」

殿丸：「ご名答！」

佃煮：「ほめるなよ。俺はリケダンだぜ」



3. 売上原価は単なる計算結果

佃煮：「なあ、トノ。こんな問題があるだろう。」と佃煮は殿村に模擬試験の問題集を示した。

「商品の期末棚卸高は次のとおりである。売上原価は売上原価の行で計算する」

佃煮：「なめているのか？売上原価は売上原価に決まっているじゃないか」

殿村：「社長興奮しないでください。これは試験問題の指示なんです。いつもの前期繰越+当期仕入高+当期末残高で計算した結果を売上原価の行に書いてくれという意味です」

佃煮：「それなら、そう書けばいいじゃないか。やはり俺が日本語教室を開かないといけないのか。じゃあ、ついでに聞くが、‘売上原価は仕入の行で計算する’は仕入の行に書けばいいんだな」

殿丸：「そうですね。でも社長これって Chapter5 でも 1 回説明しましたよ」

佃煮：「えっ、俺大丈夫か？」

殿丸：「最近忙しいですからね」

<メモ>

4. 合計欄は計算しない

殿丸：「社長、これは弥生カレッジの横山社長の話なんです
が・・・」

佃煮：「お前、まさか転職を考えているんじゃないだろう
な」

殿丸：「めっそもない。最近ニコ生をみているだけです
よ」

佃煮：「そうか、お前はうちにとっては大事な戦力だから
な」

殿丸：「社長！そんなに私のことを」

佃煮：「頼むから見つめないでくれ。それで、横山はなん
て言ってるんだ」

ついに、呼び捨てか・・・



殿丸：「精算表の合計欄は書かなくていい。せいぜい2点
の配点だから」

佃煮：「でも、その2点で68点になったらどうするんだ」

殿丸：「彼がいつてるのは、全部合わないと合計は合わな

い。また全部合っていても電卓ミスで合計があわないこともあるので合計はしない方がいいのではないかと、ということですよ」

佃煮：「でも、それでも2点もったいないじゃないか」

殿丸：「彼は、合わないことで、そこが気になり、他の簡単な問題に集中できないプレッシャーの方がまずい！とっています」

佃煮：「なるほど、それならワカルぞ。最後の最後に時間が余ったら計算してもいいんだな」

殿丸：「それは、モチロンOKです。」

佃煮：「OK！100点目指すぜ！」

A handwritten red '100' with a decorative flourish to its right. The '100' is underlined twice, and the flourish is a stylized, swirling red mark.

<メモ>

CHAPTER19 株主資本等変動計算書・製造業 会計

殿丸は4:30に目が覚めた、決算処理で何か忘れていたような気がしたのである。

殿丸：「そうだ、株主資本等変動計算書だ！」

隣で寝ていた妻の秋絵がびっくりして、「どうしたの」といった。

殿丸：「いや、仕事のことで思い出したことがある。今から会社に行ってくる。」

秋絵：「頑張ってね」

殿丸：「がんばるから、いつものやってくれ」

秋絵：「がんばるぞ、おー」

殿丸は幸せな気持ちになった。結婚以来20年、毎朝の儀式である。

殿丸：「おはようございます。社長、もうきていたんですか」

佃煮：「いや、泊まり込みだ。空飛ぶ車のシミュレーションに熱中しすぎた。それより、お前こそなんだ。決算のめどはたったんじゃないのか。」

殿丸：「いえ、すみません。一部だけ印刷を忘れていまし

た」

佃煮：「株主資本等変動計算書だろ。出しておいたよ。日商簿記 2 級を勉強しておいてよかったよ」

殿丸：「社長」

殿丸は、今日は見つめるのをやめた。また、突っ込まれそうだったからである。

佃煮：「殿丸、簿記の試験も近いんだ。株主資本等変動計算書の試験対策を教えてくれ」

殿丸：「わかりました。出力が終わったのなら、私の手はあきました。今からでいいですか。」

佃煮：「OKだ！」

殿丸：「株主資本等変動計算書は、平成 17 年成立の会社法で新たに加わった財務諸表なんです。①原則 1 回だった配当がいつでもできるようになった、②株主資本間の科目の振替の自由度が増した、③純資産項目が増えたことなどで、投資家（特に株主）に株主資本の増減明細を報告する必要ができたんです」

佃煮：「なるほど、そういう理由なんだな。ひとつ聞いていいか。株主資本の振替の自由度が増したって、どういうことだ」

殿丸：「さすが、社長。いいところに気づきました。私も

受け売りの知識なんです、例えば配当原資であるその他利益剰余金が足りないときに、本来配当できない利益準備金から配当財源である繰越利益剰余金へ振り替えることで投資家にゴマをすることができるので、その明細を株主が知りたがるということのようです。特に海外投資家への配慮のようなんですけどね」

佃煮：「なるほど、外圧ってわけだな。ペリーの黒船みたいなもんだな」

殿丸：「社長は幕末モノが好きですからね」

佃煮：「特に坂本龍馬だな。最近はその偉業を軽視する向きもあるが・・・」

殿丸：「社長、その話はもう 10 回以上聞いています・・・今日は勉強優先でいきましょう」

佃煮：「残念だな。じゃあ決算と試験が終わったら徹夜で語り明かそう」

殿丸：「(冗談じゃない・・・と心で思いながら) はい。で、さっきの株主資本の科目の振替のことを計数変動といい、その変動の明細も含めて株主資本の動きを株主資本等変動計算書に記すわけです」

という訳で株主資本等変動計算書に記載される内容を具体的に復習もかねて確認しよう。

<メモ>

① 新株の発行

P5 の復習をお願いします

② 剰余金の配当

P33 の復習をお願いします

③ 株主資本の計数変動

細かい理論は日商簿記1級学習者でも苦手な論点になります。でも、仕訳は簡単です。問題分の指示どおりに仕訳するだけなのです。

純資産科目は借方（左側）がマイナス、貸方（右側がプラス）ということが、しっかり頭に入っていれば大丈夫です。

<例1>

資本金 10,000 円を資本準備金とすることを株主総会で決議した。

資本金 10,000 / 資本準備金 10,000

<例 2>

利益準備金 5,000 円をを繰越利益剰余金とすることを株主総会で決議した。

利益準備金 5,000 / 繰越利益剰余金 5,000



やったわ！配当もらえるかも！

④ 当期純利益の計上

これはOKですね。最近したばかりです。P255 を参照してください。

⑤ 合併時の株主資本の変動

これは、「佃煮製作所－事業拡張編」で説明します。

では、株主資本等変動計算書を作成してみましょう。

注意点は 2 つだけです。

- ① 借方残高はマイナス記号（△）つけること
あくまでも問題の指示通りですが・・・
- ② 小計に注意

では、過去問での問われ方を確認しましょう。



<株主資本等変動計算書>

本試験での問われ方

株主資本変動計算書について（ ）に適切な金額を記入して完成させなさい。金額がマイナスになる場合は金額の前に△をつけること。なお会計期間は平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの 1 年間である。

[資料]

1. 平成 29 年 6 月 20 日定時株主総会を開催し、剰余金の配当および処分を次のように決定した。

①株主の配当金について、その他資本剰余金、繰越利益剰余金を財源としてそれぞれ¥700,000、¥1,800,000、合計 2,500,000 の配当を行う。

②上記の配当に関連して、会社法が定める金額を準備金として積み立てる。

③繰越利益剰余金を処分し、別途積立金¥170,000 を積み立てる。

2. 平成 29 年 9 月 1 日、新株を発行して増資を行い、払込金¥1,800,000 は当座預金とした。

なお、会社法が定める最低限度額を資本金とした。

3. 平成 3 月 31 日、決算にあたり、次の処理を行った。
- ① その他有価証券（前期末の時価は¥1,820,000、当期末の時価は¥2,120,000）について時価評価を行い、評価差額を全部資産直入法により純資産として計上した。なお、その他有価証券はすべて株式であり、当期にその他有価証券の売買取引は行われていない。
 - ③ 当期純利益 ¥860,000 を計上した。

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計
当 期 首 残 高	16,000	3,000	500	3,500
当 期 変 動 額				
剰余金の配当	()	()	()	()
別途積立金の積立て				
新株の発行	()	()		()
当期純利益				
株主資本以外の項目 当期変動額 (前額)				
当期変動額合計	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株 主 資 本				評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計	
	利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
	利 益 準 備 金	そ の 他 利 益 剰 余 金 別 途 積 立 金	利 益 剰 余 金 合 計					
当 期 首 残 高	800	200	4,000	5,000	24,500	120	120	24,620
当 期 変 動 額								
剰余金の配当	()		()	()	()			()
別途積立金の積立て		()	()	—	—			—
新株の発行					()			()
当期純利益			()	()	()			()
株主資本以外の項目 当期変動額 (前額)						()	()	()
当期変動額合計	()	()	()	()	()	()	()	()
当 期 末 残 高	()	()	()	()	()	()	()	()

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資 本 金	資 本 剰 余 金		
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計
当 期 首 残 高	16,000	3,000	1,000	4,000
当 期 変 動 額				
剰余金の配当		(56)	(△756)	(△700)
別途積立金の積立て				
新株の発行	(900)	(900)		(900)
当期純利益				
株主資本以外の項目 当期変動額（純額）				
当期変動額合計	(900)	(956)	(△756)	(200)
当 期 末 残 高	(16,900)	(3,956)	(244)	(4,200)

(下段へ続く)

(上段より続く)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等		純 資 産 合 計
	利 益 準 備 金	利 益 剰 余 金			株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
		そ の 他 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 合 計	利 益 剰 余 金 合 計				
当 期 首 残 高	800	200	4,000	5,000	25,000	120	120	25,120
当 期 変 動 額								
剰余金の配当	(144)		(△1,944)	(△1,800)	(△2,500)			(△2,500)
別途積立金の積立て		(170)	(△170)	—	—			—
新株の発行					(1,800)			(1,800)
当期純利益			(860)	(860)	(860)			(860)
株主資本以外の項目 当期変動額（純額）						(300)	(300)	(300)
当期変動額合計	(144)	(170)	(△1,254)	(△940)	(160)	(300)	(300)	(460)
当 期 末 残 高	(944)	(370)	(2,746)	(4,060)	(25,160)	(420)	(420)	(25,580)

<仕訳>

1.

勘定科目	金額	勘定科目	金額
その他資本剰余金	756,000	未払配当金	2,500,000
繰越利益剰余金	1,944,000	資本準備金	56,000
		利益準備金	144,000
繰越利益剰余金	170,000	別途積立金	170,000

2.

勘定科目	金額	勘定科目	金額
当座預金	1,800,000	資本金	900,000
		資本準備金	900,000

3.

勘定科目	金額	勘定科目	金額
その他有価証券評価差額金	120,000	その他有価証券	120,000
その他有価証券	420,000	その他有価証券評価差額金	420,000

4.

勘定科目	金額	勘定科目	金額
その他有価証券 評価差額金	120,000	その他有価証券	120,000
その他有価証券	420,000	その他有価証券 評価差額金	420,000

勘定科目	金額	勘定科目	金額
損益	860,000	繰越利益剰余金	860,000

<製造業会計>

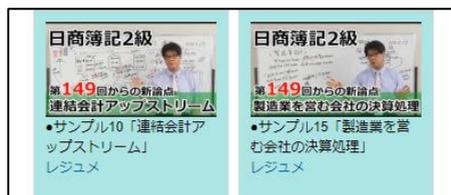
では、続いて製造業会計です。

製造業会計は、まず工業簿記の個別原価計算までの内容を学習してから解いてください。弥生カレッジCMCのフリーテキスト講座ですと、01（工業簿記の基礎）から06（個別原価計算）までです。もちろん、商業簿記の範囲なので出題されるとしたら第3問で総合問題形式になります。

受験される方は、日商のサンプル問題 15 を確認してください。当社のWEB講座受講生の方は、動画でサンプル問題 15 の解説をお聞きください。

サンプル問題は、「日商2級 サンプル問題」で検索し、日商のHPからダウンロードできます。

解説動画は「無料で学ぶ日商簿記2級」の工業簿記の直前にあります。



リカ：「商業簿記の第一部はこれで終了ね」

ユウカ：「みなさん、本当にお疲れ様でした。リカさんのドリームコンピュータの仕事をベースに簿記の学習を楽しもう！というコンセプトで私たちも出演させて頂いたけれど、4話あたりから横山社長の下町ロケットファンの意識が強くなりすぎて、佃煮さんとリカさんの青春篇、佃煮さんと殿丸さんの青春篇になりました。ドタバタのストーリーでしたが、お付き合い頂き本当にありがとうございました」

佃煮：「俺からもみんなにお礼をいいたい。みんな、こんな俺だけど、最後までついてきてくれてありがとう（涙）」

リカ：「また、泣く」

殿丸：「リカさんも泣いているじゃないですか」

ユウカ：「でも、まだ第一部よ。第二部では佃煮製作所のさらなる発展がまってるわよ。新支店の開設、協力会社の合併、子会社化など・・大国重工を巻き込んださらなる人間ドラマにご期待ください！」

リカ：「それと、あと1つ報告が・・」

ユウカ：「なにモジモジしているの・・えっ、あっわかった。もしかして佃煮さんと・・」

佃煮：「ここは俺にかっこよく決めさせてくれ！俺はリカと結婚するぞ！」

直前期に覚えた方が良いもの

★売上割戻引当金

★返品調整引当金

★連結会計（アップストリーム）

株主資本等変動計算書（有価証券も）

CHAPTER1 本支店会計

佃煮とリカの結婚式は盛大に行われた。佃煮は日商簿記の工業簿記のCVP計算の知識を駆使して結婚式で100万円の利益をあげたのだった。

佃煮：「でも、こんなこと工業簿記の勉強しなくても誰でも考えるだろう。要は、常に利益意識をもつかどうかだけだ」



そして、3年が過ぎた。佃煮家には待望の二世も誕生し、YUMEBUTAIプロジェクトも順調、順風満帆であった。ユウカを経理部長として迎え将来の上場に備え監査にも耐えうる体制をつくることにした。もちろん殿丸も頑張っている。彼はいまや財務担当取締役である。

佃煮：「リカ、殿丸、ユウカさん、今日から事業拡張編のスタートだ。佃煮家の人員拡張の勢いに負けないように、会社も慕進するぞ」

リカ：「わかっているわ。私も妻としてパートナーとして頑張るわ」

ユウカ：「私は、税務知識だけでなく公認会計士の勉強も

はじめるわ。」

殿丸：「私は、また社長と夜空を見上げながらロマンを語り合います」

リカ：「殿丸さん、社長と殿丸さんの時間は奪わないから安心してね」

殿丸：「いや、私は何も・・・」

佃煮：「殿丸、俺もお前と夜中に夜空を見上げながら将来の話をするのが好きなんだ。これからも一緒に頑張ろう」
このとき、殿丸の顔に苦渋の色が浮かんだのを誰も気づかなかった。

佃煮：「よし、まずは枚方支店の開設だ」



(1)支店独立会計制度

ユウカ：「全員同じ会社になっちゃったわね」

リカ：「そうね。でもまだ社長だけが日商簿記 2 級うかってないけどね」

殿丸：「奥さん、それは仕方ないです。社長は忙しいですから」

ユウカ：「それより、明日の新人研修の資料を作成しないとね」

殿丸：「そうですね。佃煮製作所の新人社員は日商簿記 2 級の資格だけは取らせようとの厳命ですからね」

ユウカ：「社員がもしも退職しても次の就職に有利になるように、って言ってたわね」

殿丸：「社長自身は、日商簿記 2 級を取得したら経理の仕事ができるなんて思ってないです。私も同じです。過去に何人も日商簿記 2 級の資格取得者を見してきましたけど、実務に適応できる人はほんの数人。でも、日商簿記資格を求人票に書いている会社は多いから、だから社長は新人社員の将来のために取らせるべきだといってるんですね」

リカ：「あの人、口は悪いけど結構優しいのよね」

殿丸：「そのためにも、明日からの研修の資料作成しない
とね」

という訳で資料作りがはじまった。

リカ：「ユウカさん、本店集中計算制度と支店独立会計制度ってどちらがうの？」

ユウカ：「支店独立会計制度は支店でも振替伝票で仕訳をし、元帳や試算表を作成することね。それに対して、本店集中計算制度は本店側だけで支店の取引も仕訳することね」

殿丸：「じゃあ、内の場合は東京支店の取引を全部本社で行っているの、本店集中計算制度を行っていた訳だな」

ユウカ：「そうね。東京支店は営業中心なので仕方ないけど、今度のヒラパー支店は最初から経理担当も配置するという話だから支店独立会計制度っていう訳ね」

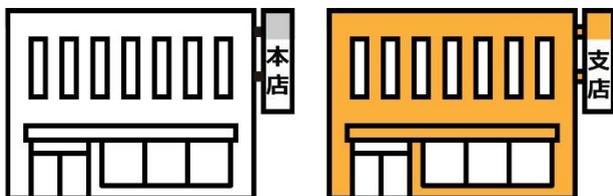
殿丸：「ヒラパー支店ではなく枚方支店ですけどね・・・でも大阪万博もあるから、きっと YUMEBUTAI プロジェクトは成功する。だから本店と支店が稼いだ利益を管理して、頑張った部門。頑張った社員にはしっかり還元するべきだという社長の考え方を実現するには、支店独立会計制度が必要だね」



<参考>

実務では、部門別の業績管理は損益計算書の部門別計算で処理するパターンがほとんどです。筆者は 2,500 社以上の会社でパソコン会計の運用支援を行ってきましたが、本支店会計に遭遇したのは 1 社だけでした。特にインターネット（正確にはインターネットVPN）で本店・支店・営業所がつながっている現在では、本支店会計を採用する余地はさらに低くなっています。

殿丸：「よし、では枚方支店を立ち上げるストーリーを先取りして支店をまきこんだ決算までの処理をレジюмеでまとめよう」



(2)本支店間の取引

本支店会計の仕訳処理は実は非常に簡単な作業です。相手科目が限定されるので、労力が 1/2 になるんですね。確認してみましょう。

相手科目が限定されるとは？

○本店側にて支店との取引を行う場合は、支店との取引であることを明らかにするために「支店勘定」を使う

○支店側にて本店との取引を行う場合は、本店との取引であることを明らかにするために「本店勘定」を使う

① <支店開設>

本店は枚方支店に簿価 300,000 円の机・パソコン（備品勘定で処理）を送り、現金 200,000 円を送金した。

[本店側]

支店 500,000 / 備品 300,000
現金 200,000

[支店側]

備品 300,000 / 本店 500,000
現金 200,000

お気づきだと思いますが、本店側の支店勘定と支店側の本店勘定は必ず一致します



② <債権・債務の処理>

★支店は本店の売掛金を 100,000 円現金で回収した
(考え方) 本店側の売掛金が減り、支店側の現金が増える

[本店側]

支店 100,000 / 売掛金 100,000

[支店側]

現金 100,000 / 本店 100,000

★本店は支店の買掛金を 200,000 円支払った
(考え方) 本店側の現金が減り、支店側の買掛金も減る

[本店側]

支店 200,000 / 現金 200,000

[支店側]

買掛金 200,000 / 本店 200,000

③ <商品送付の処理>

本店は支店に商品 100,000 円分を送付した

(考え方) 本店の試算表をイメージしよう。期中に外部から購入した商品は仕入勘定で処理されています。それが支店に移動するのだから、本店側の仕入が減り、支店側の仕入が増えるだけです

[本店側]

支店 100,000 / 仕入 100,000

[支店側]

仕入 100,000 / 本店 100,000



④ <経費の振替>

本店は支払った広告費 100,000 円の 20%を支店分として振り替えた

(考え方) 先の仕入と同じ考え方です。本店側の広告費が減り、支店側の広告費が増えるだけです

[本店側]

支店 20,000 / 広告費 20,000

[支店側]

広告費 20,000 / 本店 20,000

⑤ <立替払>

支店は本店の消耗品費代金 10,000 円を現金で支払った
(考え方) 支店側の現金が減り、本店側の消耗品費が増える

[本店側]

消耗品費 10,000 / 支店 10,000

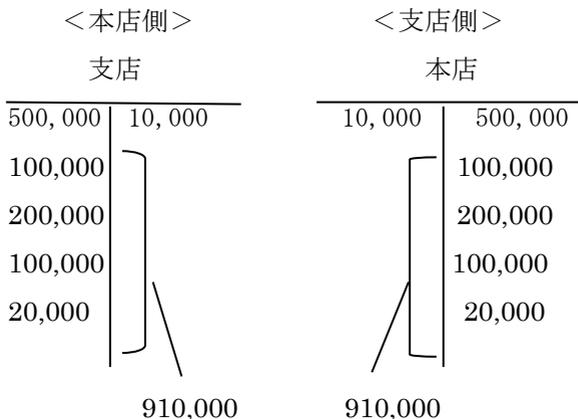
[支店側]

本店 10,000 / 現金 10,000



本当だ。相手科目が限定されると仕訳はこんなに簡単なんだ

ここまでの本店勘定と支店勘定の動きを確認してみましょう



本店と支店は必ず貸借逆で一致します！！

仕訳のミス（特に借方貸方のミス）があった場合にはここでチェックができるので、ケアレスミスも防止できます

<ここがポイント>支店開設の仕訳を考えてください。これって本店が出資して支店という会社を設立したと考えると。本店側の支店勘定は子会社株式という資産勘定、支店側の本店勘定は資本金という純資産勘定とイメージできます。この考え方をイメージしておく、後々役に立ちます

(3)本支店合併財務諸表の作成

では、130 回代に頻出していた本支店合併財務諸表の作成方法を確認しましょう。

<本試験での問われ方>

以下の資料に基づいて、解答用紙の本支店合併損益計算書・貸借対照表を作成しなさい。

[資料①]決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表

借 方	本 店	支 店	貸 方	本 店	支 店
現 金	50,000	30,000	買 掛 金	80,000	—
当座預金	100,000	—	借 入 金	62,000	—
売 掛 金	150,000	70,000	貸倒引当金	2,000	1,000
繰越商品	55,000	25,000	減価償却累計額	64,000	20,000
備 品	100,000	50,000	本 店	—	80,000
支 店	80,000	—	資 本 金	100,000	—
仕 入	300,000	180,000	繰越利益剰余金	4,000	—
販 管 費	77,000	30,000	売 上	600,000	284,000
	912,000	385,000		841,000	385,000

[資料②]特に指定がない場合は、問題文の指示は本店・支店に対して同じ指示と考えること。

1. 商品の期末棚卸高は次のとおりである
本店：60,000 支店：31,000
2. 売上債権の期末残高に対し2%の貸倒引当金を設定する
3. 固定資産に対して減価償却を行う
定率法（償却率20%）
4. 販売管理費に関しては次のとおりである
本店未払分：3,000円、支店前払分：2,000円
5. 利息の未払分が本店に500円あった
6. 法人税・住民税・事業税を80,000円計上する

本支店合併損益計算書

費 用	金 額	収 益	金 額
期首商品棚卸高	(80,000)	売 上 高	(884,000)
期首商品仕入高	(480,000)	期末商品棚卸高	(91,000)
貸倒引当金繰入	(1,400)		
減価償却費	(13,200)		
販売管理費	(108,000)		
支払利息	500		
法人税・住民税 ・ 事業 税	(80,000)		
当期純利益	(211,900)		
	(975,000)		(975,000)

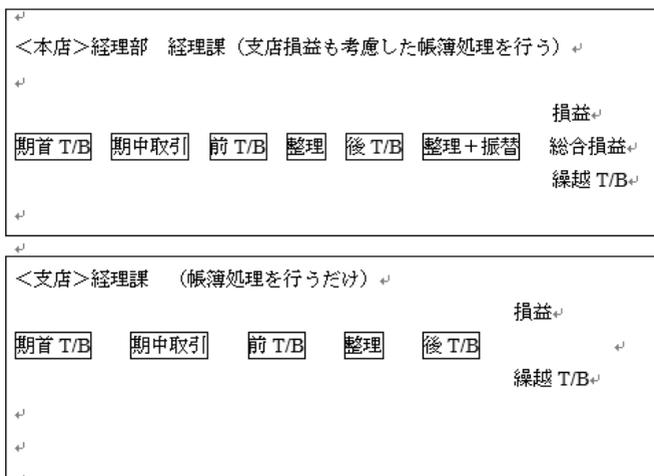
本支店合併貸借対照表

費 用	金 額	収 益	金 額
現金預金	(180,000)	買 掛 金	(80,000)
売 掛 金	(220,000)	借 入 金	(62,000)
貸倒引当金	(4,400) (215,600)	未 払 費	(3,500)
商 品	(91,000)	未払法人税等	(80,000)
前 払 費	(2,000)	資 本 金	(100,000)
備 品	(150,000)	繰越利益剰余金	(215,900)
減価償却累計額	(97,200) (52,800)		
	(541,400)		(541,400)

※合併財務諸表では、本店勘定・支店勘定は登場しません（社内での集計に必要なので外部への報告時には記載しません）

(4)本支店の帳簿締切の処理

以下の流れで処理します



損益勘定の処理までは、通常の処理と変わりません。問題は「支店の利益」をどのように本店の帳簿に反映させるかがテーマとなります。

以下の流れで行います

① 本店・支店とも P L 科目を損益勘定に集約する

<本店側>損益	
仕入 1,000	売上 3,000
経費 1,500	

<支店側>損益	
仕入 600	売上 1,000
経費 200	

※支店側の損益勘定が問われたら、上記の内容は以下のようになります。

<支店側>損益	
仕入 600	売上 1,000
経費 200	
本店 200	

※借方の最終行の相手科目に注意してください

(P21 参照)

- ② 本店側に「総合損益」勘定を設置する。この勘定がトータル利益を管理する勘定であり、最終的に繰越利益剰余金へ振替えることになりる。

※総合損益を使用せず、本店側の損益勘定で処理するケースもありま

- ③ 支店の損益を本店勘定に振替る

<支店側>

損益 200 / 本店 200

※本店勘定は純資産でイメージという話を先に示しました (P12)。損益の振替先は純資産 (エネルギー) でしたね。そのイメージをお願いします。本支店会計の場合は、本店勘定と支店勘定は必ず一致します。従って、上記の本店勘定 200 円に対応する仕訳を実施します。

<本店側>

支店 200 / 総合損益 200

これで、総合損益に支店の利益が入りました

- ④ 本店の損益を総合損益に振替える
 <本店側>
 損益 500 / 総合損益 500



- ⑤ 法人税 200 円を支払った

この段階での総合損益勘定を確認しましょう。

<本店側>総合損益	
法人税 200	支店 200 (支店の利益)
500	損益 500 (本店の利益)

この 500 円が法人としての繰越すべき利益です

- ⑥ 本店側の総合損益を繰越利益剰余金に振替える
 総合損益 500 / 繰越利益剰余金 500

<本店で総合損益勘定を設置しない場合>
前記の③以降の処理が以下ようになります。

① 支店の損益を本店勘定に振替る

<支店側>

損益 200 / 本店 200

<本店側>

支店 200 / 損益 200

これで、本店の損益勘定に支店の利益が入りました

② 法人税 200 円を支払った

この段階での損益勘定を確認しましょう。

<本店側> 損益

仕入 1,000	売上 3,000
経費 1,500	支店 200
法人税 200	
500 {	

この 500 円が法人としての繰越すべき利益です

- ③ 本店側の損益を繰越利益剰余金に振替える
損益 500 / 繰越利益剰余金 500

★本店の損益勘定を問われたら、次のようになります

<本店側> 損益

仕入	1,000	売上	3,000
経費	1,500	支店	200
法人税	200		
繰越利益剰余金	500		

※最終行の借方に注意

<注目>

149回の本試験では、このように問われました。
実際には、損益勘定の元帳なので科目の左に日付（決算日）の記載が必要になります。この場合は、元帳なので科目の順序に規則はありませんので、順序は気にする必要はありません。

<仕訳問題での問われ方>

京橋商事株式会社の本店は、岡山支店が広島支店の
広告宣伝費¥102,000 を立替払いしたとの報告を受
け、この報告にもとづき処理を行った。なお、同社は
本店集中制度を採用している。

科目	金額	科目	金額
広島支店	102,000	岡山支店	102,000

※支店勘定は、「子会社株式のようなもの」と考えれば資
産勘定ですね。従って資産が減少した側の岡山支店勘定
を貸方に書けば楽に仕訳できます。

(参考)

この時広島支店、岡山支店では以下のような仕訳を行っ
ています（支払は現金とする）。

<広島支店>

広告宣伝費 102,000／本店 102,000

<岡山支店>

本店 102,000／現金 102,000

<支店分散計算制度>

ちなみに、支店分散計算制度を採用している場合は以下
のようになります。

<広島支店>

広告宣伝費 102,000／岡山支店 102,000

<岡山支店>

広島支店 102,000／現金 102,000

<本店>

仕訳なし

<本店集中計算制度>

本店には各支店勘定をもうけるが、各支店では本店勘定し
かもうけない制度

支店間の取引は、すべて本店を経由すると考える

<支店分散計算制度>

各支店でも本店勘定と他の支店勘定をもうける制度

支店間の取引は、相手科目を各支店勘定で処理する

決算にあたり、本店は支店より「当期純利益 ¥568,000 を計上した」との連絡を受けた。なお、当社は支店独立会計制度を導入しているが、支店独立会計制度を導入しているが、支店側の仕訳は答えなくてよい。

科目	金額	科目	金額
支店	568,000	損益	568,000

※これは大丈夫ですね



CHAPTER2 合併

佃煮：「トノ、YUMEBUTAI プロジェクトが最終段階に入った。空飛ぶ車はスピード以上に安全性が大事だ。ただ安全性に関しては、うちの技術だけじゃ納期に間に合わない。セーフティツール社の技術が絶対に必要だ。セーフティツールの坂本社長とは昔からの知り合いだ。色々話し合ってきたが、坂本社長の株を当社が買い取って、合併することにした。そこで・・・」

殿丸：「資金が必要なんですね。でも当社には、余裕資金はありません。いくらぐらい必要なんですか」

佃煮：「ざっと、1億円は必要だろう」

殿丸：「現金で1億は無理です。でもうちの株を発行すれば何とかなると思います」

佃煮：「今うちの株価は1株2,000円だな。50,000株を発行して坂本に渡せばいいのか」

殿丸：「そうなります。でも少し懸念材料があります」

佃煮：「持ち株比率だな。今は俺の持ち株が 100,000 株、
大国重工が 10,000 株、従業員持ち株会が 40,000 株か」

殿丸：「坂本さんが 25%の大株主になります」

佃煮：「奴の性格は俺が知っている。大丈夫だろう」

殿丸：「では、早速セーフティツールの査定を行います」

佃煮：「頼む」



という訳で殿丸は、セーフティツール社の査定をM&A
 専門会社に頼んだ。財務面はもちろん、税務リスク・法
 務リスク・人事リスクなどの査定も行ったのである（デ
 ユーデリジェンスといいます）。

そして、殿丸はセーフティツール社の資産・負債の時価
 評価を終えました。

合併時の貸借対照表と時価は以下のとおりである

現金 10,000,000	借入金 10,000,000
売掛金 20,000,000	買掛金 10,000,000
土地 50,000,000	資本金 50,000,000
特許権 10,000,000	資本剰余金 10,000,000
	利益剰余金 10,000,000

売掛金の時価 18,000,000 円（2,000,000 円は回収見込み
 なし）

土地の時価 80,000,000

セーフティツール社という会社を購入するわけだから、
 時価評価が必要です。合併にあたって試算表の純資産に
 特に意味はありません。

時価で作り直しましょう

現金 10,000,000	借入金 10,000,000
売掛金 18,000,000	買掛金 10,000,000
土地 80,000,000	
特許権 10,000,000	

} 98,000,000 円の価値

最近の中小企業の M&A 事情では、時価純資産（上記の場合 98,000,000 円）に 3~5 年の経常利益を加えた額で落ち着くケースが多いようです。セーフティツール社のここ 3 年の経常利益は 12,000,000 円です。

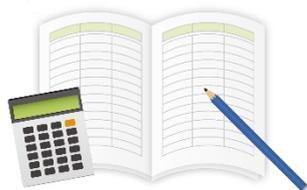
話し合いの末、1 億 1 千万分の株を坂本社長に発行することになりました。

時価評価以上に支払う訳ですね。これは佃煮製作所がそこまで支払ってでも、合併をすすめることで利益が見込めると判断しているわけです。これを ‘のれん’ といって被合併会社の超過収益力やブランド価値をあらわしています。では仕訳といきましょう。

<考え方>

さきほども述べましたが、合併というのは他の会社を購入するわけです。従って、時価で購入します（当然ですね。簿価で購入する人はいませんね）。資産・負債はOKですね。支払対価は株式です。もちろん時価で計算します。坂本社長は証券会社に依頼すれば時価で売れるのだから当然ですね。株式を発行した場合は佃煮製作所の株主資本が増加します。これは合併契約なので会社法の制約はありません。資本金と準備金などの内訳は契約により決められます。試験では指示通りに処理してください。今回は60%を資本金、30%を資本準備金、残りをその他資本剰余金とします。

では、仕訳を確認しましょう。



現金	10,000,000	／	借入金	10,000,000
売掛金	18,000,000	／	買掛金	10,000,000
土地	80,000,000	／	資本金	66,000,000
特許権	10,000,000	／	資本準備金	33,000,000
のれん	12,000,000	／	その他資本剰余金	11,000,000
合計	130,000,000			130,000,000

「のれん」は超過収益力を示すので資産になります。ただ、形はないので無形固定資産となります。

のれんについては、取得後 20 年以内に定額法によって償却することが決められています。

決算において、のれんを償却する。なお、償却期間は 10 年である。

のれん償却 1,200,000／のれん 1,200,000

では、本試験での問われ方を確認しましょう。

九州に拠点を築くために福岡商事株式会社を吸収合併し、新たに当社の株式 8,000 株（合併時点の時価@ ¥6,000）を発行し、これを福岡商事の株主に交付した。その時の福岡商事の諸資産（時価）は¥95,000,000、諸負債（時価）は¥45,500,000 であった。また、合併にあたっては、取得の対価のうち 50%を資本金として計上することとした。

科目	金額	科目	金額
諸資産	95,000,000	諸負債	45,500,000
		資本金	24,000,000
		資本準備金	24,000,000
		負ののれん 発生益	1,500,000

時価純資産よりも安く購入できた場合は、「負ののれん発生益」として特別利益に計上します。



直前期に覚えた方が良いもの

★売上割戻引当金

得意先に対して 2,000 円の割戻しを適用した。このうち 600 円は前期の売上に対するものであり、残額は当期の売上に対するものである。なお割戻額は売掛金と相殺した。また、売上割戻引当金の残額は 1,000 円である。

科目	金額	科目	金額
売上割戻引当金	600	売掛金	2,000
売上	1,400		

★返品調整引当金

仕入	売上	仕入	売上
7,000	10,000	7,000	7,000
10,000	10,000	10,000	10,000
7,000	7,000	7,000	10,000
7,000	10,000	7,000	10,000

返品調整引当金
 当期返品
 仕入 7,000 / 売上 7,000
 仕入 10,000 / 売上 10,000
 仕入 7,000 / 売上 7,000
 仕入 7,000 / 売上 10,000
 返引 3,000 / 返引 3,000

①決算日に、売掛金残高¥100,000 に対して、翌期の返品率を 10% と見積もり、その額に売上総利益率 (30%) を乗じた金額を返品調整引当金として計上した。

科目	金額	科目	金額
返品調整引当金 繰入	3,000	返品調整引当 金	3,000

(返品可能性の利益を取り消している)

②前期に掛け売上した先の商品について、¥2,000 の返品があったので、売掛金と相殺した。なお、その商品の原価率は 70%であり、前期末に設定した返品調整引当金が¥1,000 ある。

科目	金額	科目	金額
返品調整引当金	600	売掛金	2,000
仕入	1,400		

(返品で利益 600 円と原価 1,400 円が戻ってくる)

(但し、利益は前期に取消の引当済み)

3,000	返品で失う利益→返品調整引当金繰入
7,000	

返品時に戻ってくる原価部分 (再仕入)

★連結会計（アップストリーム）

CMC 株式会社は、佃煮株式会社の株式 60%を取得し、実質的に支配している。佃煮株式会社は CMC 株式会社に対し原価に 25%の利益を加算して商品を販売しており、当期末における CMC 株式会社の商品棚卸高に含まれる佃煮株式会社からの仕入分は 150,000 円であった。当期の連結財務諸表を作成するために必要な連結修正仕訳をしなさい。

科目	金額	科目	金額
売上原価	30,000	商品	30,000
非支配株主持分 当期変動額	12,000	非支配株主に 帰属する 当期純損益	12,000

★売上原価対立法

工業簿記学習済であれば簡単ですね。

札幌商店では商品売買に関して、商品を仕入れたとき商品勘定に記入し、販売したときそのつど売上原価を売上原価勘定に振り替える方法で記帳している。

- 1、札幌商店は、仙台商店より商品 A ¥100,000 (@ ¥400×250 個) を仕入れ、代金は掛けとした。

科目	金額	科目	金額
商品	100,000	買掛金	100,000

- 2、札幌商店は、青森商店に商品 A90 個 (原価@ ¥400、売価@ ¥520) を売り上げ、代金は掛けとした。

科目	金額	科目	金額
売掛金	46,800	売上	46,800
売上原価	36,000	商品	36,000

売上原価対立法で返品や値引きの問題が問われたら要注意です。



上記の問題で、

- ①10個の返品があった場合（商品戻ってくる）
- ②10個分の値引きがあった場合（商品戻ってこない）

①

科目	金額	科目	金額
売上	5,200	売掛金	5,200
商品	4,000	売上原価	4,000

②

科目	金額	科目	金額
売上	5,200	売掛金	5,200

★売上の計上基準

費用収益対応原則・・・一定期間に発生した費用のうち、実現主義（商品を引渡し現金同等物を受け取ったときに収益を認識する考え方）によって計上された収益に対応する金額を、費用としてP Lに計上する原則

では、商品の引渡しをどのタイミングで認識するのか？という点が重要になります。これに関しては3つの考え方があります。第3問の未処理事項の指示で出題されず。

① 引渡基準（コンビニ）

商品を相手に引き渡したときに売上の計上を行う

② 出荷基準（一般的にはこれが多い）

商品を出荷した日に売上の計上を行うという

③ 検収基準

納品した商品の内容（数量等）を相手が確認し（これを検収という）、確認の通知を受けた日（一般的には受領書ベース）に売上の計上を行う

★株主資本等変動計算書（有価証券も）

株主資本等変動計算書に関しては、過去問ゼミで確認をしてください。有価証券の税効果がかからなかった場合は要注意なので、抜粋して説明します。

<CMC 模擬試験より抜粋>

有価証券のうち 4,000 株は平成 8 年 4 月 1 日に取引先から依頼され長期的に保有する目的で取得した株式である。なお、取得時の株式の時価は@1,000 であり、平成 9 年 3 月末には@1,100 となっていた。平成 10 年 3 月 31 日の解答用紙の株主資本等変動計算書（抜粋）の、実効税率 35%で税効果会計を適用した場合のその他有価証券評価差額金の部分を埋めなさい。なお、平成 10 年 3 月 31 日におけるその他有価証券の時価は 1,300 円である。
(当社の決算は 3 月 31 日である)

<解き方>

8.4.1	9.3.31	10.3.31
4,000,000	4,400,000	5,200,000



+400,000	+800,000
+260,000	+520,000

	評価・換算差額等	
	その他有価証券評価差額金	評価換算差額合計
当期首残高	(260,000)	(260,000)
当期変動額		
新株の発行		
剰余金の配当等		

株主資本等以外の当期変動額（純額）	(520,000)	(520,000)
当期変動額合計	(520,000)	(520,000)
当期末残高	(780,000)	(780,000)

■著者・監修者紹介

横山隆志（よこやまたかし）

有限会社ケースメソッド（弥生カレッジ CMC）代表取締役。

中小企業診断士・ITコーディネーター・日商簿記1級・簿記論・財務諸表論など会計・IT関連の多数の資格を保持。立命館大学法学部卒業。現場主義を貫き、弥生シリーズをはじめとしたインストラクター養成講座・簿記講座などの講師、営業、商品開発、ネットワーク設定等なんでもこなすマルチプレーヤー。

職業訓練の実績16年、訓練生・簿記受講生など2,000名の経理担当者を輩出してきた。

また、弥生会計・弥生販売をはじめとする業務システム2,500社以上を導入した経験から、様々なノウハウを習得した実績をもつ。

坂本龍馬を尊敬し、幕末研究をライフワークとする。現在は石川遼選手の成績に一喜一憂中。

表紙デザイン 横山隆志

制作 横山隆志・松坂優花・水音零

印刷 弥生カレッジ CMC 出版

ユウカと学ぼう！日商簿記2級

令和元年7月12日 初版 第1刷発行

令和元年12月11日 改訂

著者 横山隆志、松坂優花

発行／発売

有限会社ケースメソッド（弥生カレッジ CMC 出版）

〒534-0025 大阪市都島区片町2-2-40 大発ビル216

電話 06-4800-6803

URL <http://www.kaikei-soft.net/>

本書に関するお問い合わせは、以下の連絡先までお願いします。

<内容に関するお問い合わせ>

有限会社ケースメソッド 電話：06-4800-6803

ご注意

①本書の内容の一部、又は全部を無断転載することは禁止されています。

②本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、当社にご連絡下さい。

※乱丁・落丁はおとりかえします。

©2019 Takashi Yokoyama Printed in Japan